

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人 福陽会

特別養護老人ホーム サンシャインビラ

短期入所生活介護 (ショートステイ)

目 次

1、基本目標・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2、基本方針・長期目標・・・・・・・・	1
3、職員構成・・・・・・・・	3
4、会議・懇談会・委員会開催状況報告・・・・・・・・	4
5、職員健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理・・・・・・・・	4
6、利用者外出・外泊・面会・保険者別入退所状況・・・・・・・・	5
7、看護・・・・・・・・	6
8、生活相談員・・・・・・・・	8
9、介護支援専門員・・・・・・・・	9
10、1階・2階・3階フロア・・・・・・・・	10
11、リハビリ・・・・・・・・	13
12、栄養・・・・・・・・	15
13、職員外部研修参加状況・内部研修・・・・・・・・	16
14、苦情・事故・排泄・委員会報告・・・・・・・・	16
15、忘年会・職員旅行報告・・・・・・・・	19
16、クラブ活動・・・・・・・・	19
17、防災・・・・・・・・	22
18、使用物品等・シーツ等リネン類の発注管理・・・・・・・・	23
19、年間行事の実施状況・・・・・・・・	24
20、ボランティア・実習生・研修生受け入れ・・・・・・・・	25
21、地域交流参加等の状況・・・・・・・・	25
令和3年度短期入所生活介護事業報告・・・・・・・・	26

令和3年度事業報告(総括)

1. 基本目標

基本理念である「その方がその方らしく生活できる環境づくり」をモットーとし、本年度の合言葉である「新しい生活様式をつくろう！」目指して全職員一丸となり一年間の取り組みを行いました。新型コロナウイルスの感染症は今現在も落ち着くことはなく不安と心配が続いている状態の中での一年間でしたが、生活の環境を工夫するとともに利用者様も職員も健康管理に重点を置き、コロナ感染症の発生もまん延もなく、利用者様も職員も笑顔多く過ごすことができました。運営面においては感染防止策を強化することにより例年よりも稼働が安定しにくかったことや、感染予防用品への支出が多くなったというマイナス面がありました。

福陽会基本理念

① 利用者様の心身共に健康な生活を保持する

感染症の予防策を実施する中での施設生活でしたが、毎日の健康管理と日常業務の中での関わりにおいてストレスの軽減を図り、心身共に穏やかな一年になりました。

② 利用者様の個性を尊重した生活を配慮する

利用者様の声に耳を傾け、その方らしさを大切に支援しました。

③ 生活に希望と生き甲斐を持てるよう環境の整備と季節感ある行事を行なう

「新しい生活様式をつくろう！」という取り組みの中で、感染予防を実行しつつ行った季節感のある行事は、職員皆で知恵を出し合い、工夫を凝らすことで利用者様に楽しい時間を過ごしていただくことが出来ました。

各月の利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2956	3059	3000	3100	3076	2973	3058	2982	3102	3019	2753	3107	36185

1年間の延利用者数は36,185人で、1日平均99,14人の利用者様にケアを提供させていただいた結果となりました。

令和3年3月31日時点での要介護度については、要介護度3の方が20名・要介護4の方が31名・要介護5の方が49名ということで、要介護5の方が約半数を占めていることにより利用者様の重度化が進みました。

ターミナルケアの希望も多く、17名の方を看取らせていただきました。

感染症の予防とともに、医療ニーズは今年度も高い状況で、施設顧問医師への依存度が大きくありました。ターミナルケアにより看取らせていただいた利用者様のご家族様等からは、感謝の言葉や満足の言葉を沢山いただき、職員一同の励みとなりました。

2. 基本方針

基本方針である「明るい笑顔の絶えない大きな家庭づくり」を目標に地域社会との交流を大切にしました。

- ・職員一人ひとりが利用者様の意向を把握し、尊重するケア提供を行いました。
利用者様、ご家族様に満足していただくことで職員のモチベーションアップになりました。
- ・各行事は、それぞれのフロア単位として行い、フロア特性と利用者様の状態に合わせて実施することが出来ました。
- ・尊厳の保持、自立の支援が実現できるように職員の内部研修と OJT を強化し、職員の資質の向上が図れました。

また、今年度は4月に新卒者の入職があり、1年間をかけてエルダーメンター制度で新人の育成を行い、立派に成長してもらうことが出来て、現在活躍中です。

- ・地域との交流は、コロナ禍ということもあり拡大することは出来ませんでした。
地域のボランティアさんから作品をいただいたり施設内の行事に協力していただいたり、保育園の園児さんからの作品や手紙などを届けていただいたりということが、3年度の主な交流内容となりました。

3. 長期目標

- (1) 法人理念の実現に向け、副理事長を中心として、法人内の各事業所同志が連携を深めました。
- (2) 地域との交流を大切に、福祉ニーズに応えるべく努めて緊急入所等に対応する体制を維持できるように努めました。

また、施設と地域の方々との交流については地域住民によるボランティア活動ということでは施設内に施設外の方が入ることは出来ない状況ではあるものの、ご自宅で作った作品等を施設に届けてくださったりという交流がありました。

- (3) 職場内研修を充実することより、職員一人ひとりの意識向上が図れました。
職場内研修時に、職員が講師を務めることで職員のやる気の向上と知識の向上につながり、そのうえ講師を務める職員の自信にもなりました。

職 員 構 成

令和4年3月31日現在

担 当 職	職 名		職 員	非 常 勤
運 営 管 理	設 顧 問 医		—	1
	産 業 医		—	1（外部委託）
	施 設 長		1	—
	副 施 設 長		1	—
経 理	事 務 主 任		1	—
	事 務 員		—	2
保 守 管 理	介 助 員		—	2
介 護	生 活 相 談 員		1 1（兼務）	1（兼務）
	ケアマネージャー		1（兼務）	1（兼務）
	1 F	サブリーダー	2	1 2
		担 当 者	1 0	
	2 F	リーダー	1	1 3
		サブリーダー	1	
		担 当 者	1 1	
	3 F	リーダー	1	1 4
		サブリーダー	1	
		担 当 者	1 2	
医 務	医 師		—	1（施設顧問医） 2（外部委託）
	看 護 リーダー		1	—
	看 護 師		3	—
	准 看 護 師		—	2
調 理	管 理 栄 養 士		1	—
	調 理 員 リーダー		1	2
	調 理 員		3	
機 能 訓 練	柔 道 整 復 師		1	—
	理 学 療 法 士		—	1

主な会議・委員会等開催状況報告書

介護保険法とその他法令や条例等を理解し、利用者様の安心で安全な生活支援を行うために職員間で共通の認識を持つために各種会議と委員会を行いました。

○運営会議	12 回	○拘束廃止委員会	13 回
○衛生会議	12 回	○褥そう防止委員会	13 回
○感染症対策会議	16 回	○厨房委員会	12 回
○衛生委員会	12 回	○口腔衛生管理委員会	2 回
○全体会議	12 回	○排せつ委員会	4 回
○入所判定会議	17 回	○利用者懇談会	6 回
○事故防止会議	46 回	○利用者懇談会	6 回
○看取り介護会議	87 回	○リーダー会議	3 回
○虐待防止会議	12 回	○レク委員会	4 回
○苦情対策会議	12 回	○サービスマナー委員会	8 回
○栄養会議	41 回	○看護と介護の連携委員会	4 回
○防災会議	12 回	○業務継続委員会	12 回
○行事計画会議	12 回	○科学的介護推進委員会	12 回
○ケアプラン会議	74 回		

職員の健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理

(1) 定期健康診断の実施

従前より、対象となる全職員に対し、労働安全衛生法上の定期健康診断を行っています。

令和3年度は、5月に68名、11月に夜勤業務を行う職員等34名が受診しました。

(2) 定期健康診断後の面接と結果に基づく保健指導等

定期健康診断の結果が明らかになる時期に、日本医師会認定産業医 高妻雅和医師により 有所見者を対象に面接を行い、個別に健康教育・保健指導等が実施されました。

(3) 衛生会議の実施

月に一度、施設顧問医師の指導・助言により、衛生管理者が有所見の改善に向けた食生活等に関するものや感染症の防止に関する情報・食中毒やストレスに関する情報等のプリントを配布し、健康管理に関する情報の提供を継続的に実施していただいています。

(4) 館内の労働環境整備

① 年間を通じて空調整備を行い、新型コロナウイルス等の感染症対策・利用者及び職員の体調管理の為に、温湿度管理やカビ対策を行っています。感染症が発生した場合は、蔓延防止の為に指針やマニュアルを踏まえ各職員が「即」行動できるように取り組みました。

職員コロナワクチン3回目施設での接種を34名行い、その他の職員は各自接種の予約を取り接種会場で行いました。

インフルエンザ予防接種はアレルギー等で接種の出来ないもの以外、65名行いました。

② 労働災害について対策を立て、職員全員で努力を継続しており、職員に危険が及ぶ状態にあると思われる備品・設備は、早めの報告により事故発生の防止に努めています。職員の事故防止の為に設備備品の点検を行い不備や不具合の改善にできる限り迅速に対応しました。

また、施設内の巡視を定期的に行いました。

(5) メンタルヘルスについて

外部委託により、対象となる職員全員にストレスチェックを実施し、結果を集計しました。

今後も産業医からの指導を全職員に周知する為の努力をはじめとし、職員一人一人が施設内の変化を拾い上げる視野で状態を把握し、先見性を持った対応による労働環境改善ができるよう、実践的な労働衛生管理計画の作成をしていきます。

ストレスチェックは65名実施しました。

利用者外出・外泊・面会状況

	外 出		外 泊		面 会		
	人 数	延回数	人 数	延日数	対利用者	延人数	1 日平均
4	4	1	0	0	7	11	0, 4
5	1	1	0	0	15	26	0, 8
6	0	0	0	0	7	13	0, 4
7	0	0	0	0	19	30	1, 0
8	1	1	0	0	7	17	0, 5
9	18	2	0	0	6	14	0, 6
10	0	0	0	0	8	18	0, 6
11	0	0	0	0	6	10	0, 3
12	0	0	0	0	7	11	0, 4
1	0	0	0	0	8	19	0, 6
2	0	0	0	0	7	11	0, 4
3	22	1	0	0	8	12	0, 4
合 計	46	6	0	0	105	192	

保険者別入退所状況

市区町村	入 所		退 所（含死亡）		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
昭島市	0	1	1	4	1	5
あきる野市	0	2	0	0	2	0
成田市	0	1	0	0	1	0
瑞穂町	0	1	0	0	1	0
立川市	0	1	1	0	1	1
羽村市	0	0	0	1	0	1
小金井市	0	0	0	1	0	1
稲城市	0	0	0	1	0	1
葛飾区	0	0	0	1	0	1
福生市	1	11	1	6	12	7
西東京市	0	1	0	0	1	0
世田谷区	0	2	0	0	2	0
合計	1	20	3	14	21	17

看 護

1、医務診察 定期的な医務診察時、医師の診療を補助し健康管理・内服管理・処置等を迅速かつ適正に処理しました。

- ① 内科 金曜日 青山美穂医師 内科（施設顧問医師） 木曜日 宗岡雅子医師 内科
- ② 精神科 月曜日 高妻雅和医師 精神科
- ③ 歯科 火・金曜日 若林偵子歯科医師 歯科

2、利用者の健康管理

- ① 月 1 回は医師の診察を受け、バイタルサインを測定し、経過報告をしました。
- ② 年一回の利用者健康診断を 98 名の利用者様が受けました。
- ③ 新入所の利用者様には入所時健診を、ご家族様等に説明し同意のもとで受けていただきました。
健康診断の結果は施設顧問医師がご家族等へ説明していただきました。
また、入所時にご家族様等は「緊急時・看取り介護時の医療行為等に関する意思確認書」「看取り介護についての同意書」の説明を施設顧問医師から受け、同意の書類を作成しました。
- ④ 外部の医療機関受診や入院等は、ご家族様等の意向を尊重し相談しながら進めました。
- ⑤ 利用者様・ご家族等の希望を確認し、インフルエンザ予防接種を実施しました。（98 名）

⑥利用者様・ご家族様の希望を確認委し、新型コロナウイルス予防接種 を実施しました。

(1回目 98名、2回目 98名、3回目 95名)

⑦ 利用者様の薬の管理と内服薬の服薬介助を行い、ナース不在時の朝薬等の服薬介助は介護職員に指導し、 依頼しています。

⑧ 職員3名に新型コロナウイルスの陽性がありました。

職員一同緊張感を持ち公私ともに感染予防に努め、施設内での利用者様の感染はありませんでした。

3、口腔ケアの実施 利用者様の健康を保持増進するため、歯科医師・歯科衛生士と連携を図りました。

歯科医師・歯科衛生士・看護師・看護職員・管理栄養士・ケアマネ・生活相談員・介護職員等多職種協働での実施により誤嚥の 防止に役立ちました。

新型コロナウイルスの防止対策の実施によりアイデンタルでの口腔ケアについては その時々で状況を見ながら相談しながら進めました。

4、職員定期健康診断

① 職員は健康診断を受けました。健診結果は安全衛生会議で施設顧問医師の青山美穂医師より全体指導があるとともに、異常所見に対しては、あきる台病院に委託している産業医の高妻雅和医師から個人面談指導がありました。

② 職員のインフルエンザ予防接種は体質的に接種が出来ない者以外は接種しました。

5、感染症対策

① 施設顧問医師の指導助言のもと、感染症に対する内部研修の実施とマニュアルの厳守により、全職員の意識を高め確実な対応実施と自己管理の強化に努めました。

② 感染症を持ち込まないという意識をもち、全職員が感染対策の基本をしっかりと行っていました。

今後においても標準感染予防策の徹底と意識の向上に努めていきます。

6、看取り介護の充実

① 手厚い看取り介護の実施が出来ました。

② 医師の診断のもと宣言にて利用者様・ご家族様等の希望により看取り介護を行いました。

令和3年度は17名の方を施設で看取らせていただきました。

利用者様及びご家族等の意向を尊重し多職種で連携して日々変化する様子をご家族様等へ密に連絡し、記録しました。

③ 看取り介護の終了後には、多職種で振り返りを行い、利用者様を偲ぶとともに、職員の精神的負担の 軽減につながりました。ご家族様等からは、多くの感謝の言葉をいただきました。

7、褥そう予防

① 施設での褥そう発生がありました(1名対象利用者様は継続処置しています)

② プレーデンスケールによりアセスメントし、計画的に対策を実施しました。

③ 急な状態の変化と繰り返しの方があり、来年度の課題として状態を予測して早期に対策を立て予防するようにします。

8、その他

① 利用者様の心変化時等にご家族等に連絡し、その内容等は生活相談員が同席し記録に残しました。

② 長谷川式簡易スケールを用いて認知症を確認して、医師に報告し概ね3ヶ月毎に確認しました。

③ 医療ニーズの高い利用者様も施設顧問医師を中心とする連携により生活していただくことが出来ました。

④ バイタルサインや日々の状態変化は個人記録に入力して各部署との連携を強化しました。

生活相談員

令和３年度、私たち生活相談員も施設の全体目標「新しい生活様式を作ろう」の実現に向けて、日々の業務に取り組んできました。

前年度、感染予防の取り組みの中で、利用者様の生活は大きく変化していました。

大人数で集まっていた行事は縮小され、講師やボランティアさんに頼っていたクラブ活動は回数を減らさざるを得ませんでした。前年度の終わりに新型コロナウイルス感染症の施設内感染が起こり、感染の収束を迎えた直後に令和３年度が始まりました。感染予防は長期に渡って最優先の課題でした。

利用者様は、理解を示し、協力して下さっていましたが不自由さや閉塞感を感じておられたと思います。令和３年度は、全体目標に沿って、新たな形で利用者様に楽しみを提供できるように、生活相談員として取り組みました。

三人行事である「観桜会」「納涼祭」「文化祭」は、フロアーごとに開催しましたが、使用するホールやデイルームを華やかに飾りつけ、出し物等も工夫しました。

利用者様は日常と違う特別な時間を味わっていただくことができたと思います。

他にも、「端午の節句喫茶」「ゲーム大会」「敬老会」「クリスマス会」「餅つき大会」「新年式典」「節分祭」「ひな祭り」を行いました。いずれも、「三密」を避けるためにいろいろ工夫しながら、利用者様に楽しんでいただきました。また、イベントの際、利用者様の写真を撮影し、それをご家族にお渡しして喜ばれました。クラブ活動は、それぞれのフロアーに道具を運び、デイルームで少人数の方を入れ替えながら行いました。春や秋の時期には、近くの公園等へ散歩にお連れすることができました。

面会は、「オンライン面会」と「窓越しでの面会」の二つの方法で行いました。

新規感染者数が減少した時期には「パーテーション越し面会」も行うことができました。玄関ホールのそばにパーテーションで仕切った空間を設け、アクリル板を立てたテーブルを挟んで面会していただきました。ターミナル期の場合、二人部屋を個室として使い、感染予防具を身に付け入っていただくこともありました。利用者様とご家族の大切な時を過ごしていただけたと思います。

入所に関する業務は、問い合わせや入所相談に始まり、入所申込書の受付、入所判定会議、ご家族や病院・施設・事業所との相談や情報交換、入所時面接・契約と続きます。入所後も生活相談員として利用者様の生活を見守りました。

令和３年度、新たに入所された方は 21 名でした。病院から 8 名、老人保健施設から 6 名、在宅からは 3 名、ショートステイから 3 名、他 1 名でした。

また、退所された方は 19 名、その内施設で亡くなった方は 17 名、在宅復帰 1 名、病院に長期入院されその後退所された方は 1 名でした。

入所されると、一定期間個室(2 人部屋を使用)で過ごしていただくため、居室管理が難しく、ショートステイ利用人数を抑えざるを得ませんでしたが、特養の稼働率を維持できるよう努めました。

さらに、生活相談員として日々の相談援助に力を入れました。

利用者様一人一人を十分に知り、状態の変化も捉え、連携を図ってチームケアを行うことができました。

介護支援専門員

本年度の合言葉である「新しい生活様式をつくろう！」という事を念頭に置きをケアプランの作成に反映できるよう意識しました。

利用者様のお話を傾聴する姿勢を崩さずにそのうえ感染予防にも配慮して会話時には必ずフェイスシールドを着用しました。

- ・コロナ禍でしたが、多職種で協力しその方らしい生活を重点に考えてプランを作成しました。
- ・三ヶ月毎の見直しは漏れなく行えました。状態変化に伴う変更も随時実施しました。
- ・コロナの感染状況が落ち着く始めたころより、区分変更申請を行い調査員の方に手指の消毒と体温測定と全身の健康状態の聞き取り等を行い、認定調査をしていただきました。
- ・ターミナルケア（看取りケア）、褥瘡ケア、適宜プラン作成が行えました。
ターミナルケアの振り返りは、ひとつひとつのケースにつき検討が必要であり、今後とも取り組んでいきたいと思います。（ターミナル対象者 31 名、看取り 17 名）
- ・褥瘡ケアについては、モニタリング指標を用い、生活の様子も鑑み、褥瘡を作らない事を前提に予防対策を設定し実施しました。
万が一出来てしまった褥瘡については創部改善に各部署連携して取り組むというプランを作成します。
- ・ショートステイの受け入れについても、可能な限り、柔軟に対応が行えたと思います。
しかし、利用開始からの一定期間において制限のある生活で感染予防をしなければならないことで利用していただく方にとっては、マイナス面になり稼働率の低下につながりました。
ショートステイ利用期間中のプランを居宅のケアプランに沿い作成しました。
- ・介護保険の更新申請と認定調査への立ち合いもコロナ禍での感染予防に配慮して調査に立ち合いました。近隣での感染拡大時には窓越しで利用者様に会っていただく等工夫して実施しました。
- ・ケアプラン会議へのご家族様等の参加は、感染予防のため実施せずご意見やご要望は事前に聞き取り、プラン作成後には電話で説明し、書類は郵送でのやり取りになりました。

令和 3 年度 計画書作成件数

月	定期	見直し	看取り	入所	ショート	退院	振り返り	合計
4	16	12	14	3	—	—	1	46
5	11	14	13	3	—	2	—	43
6	13	15	18	—	1	—	—	47
7	15	16	9	—	1	—	—	41
8	14	11	13	1	1	—	2	42
9	19	12	14	3	1	—	1	50
10	19	13	7	3	—	1	2	45
11	16	12	12	1	—	3	—	44
12	11	21	13	1	3	—	2	51
1	10	16	10	4	1	—	3	44
2	19	13	8	3	1	3	1	48
3	15	11	7	—	—	1	1	35
総数	178	166	138	22	9	10	13	536

1 階 フ ロ ア

利用者様の生活支援にあたり「安心・安全」を軸として令和3年度は「新しい生活様式を作ろう」という言葉を合言葉として職員協力し合って取り組みました。

コロナ禍ではありましたが、各行事についても工夫しながらすすめました。

①職員一人ひとりの基本的感染対策

「三密の回避」「マスクと必要時のフェイスシールド着用」「手洗い等の標準かんせ予防策の実行」「換気」「手の触れるところの消毒」「毎日の体温測定」「体調管理」「職員の自己管理」「清掃」「マニュアル遵守」「新人職員への感染予防策の伝達」等により職員自身が感染症を施設に持ち込むことなく、利用者様も職員も罹患することはありませんでした。

②活動等による取り組み

三人行事とその他の小行事については工夫しながら、楽しんでいただけて、良い気分転換になりました。しかし、毎日の生活の中での活動はどうであったかと振り返るとフロアーレクや小集団での活動や散歩等の機会をほとんど持つことが出来ませんでした。

介護動作の一つ一つの声掛けの際や、隙間時間での会話等で生活の充実を図りました。

③介護力の向上、モチベーションアップ

新入職員にはエルダーメンター制度で育成を図り仕事を覚えてもらいました。

新人もベテランもともに内部研修に参加して学びました。

④褥瘡予防

各職種の職員で連携して褥瘡予防に取り組みましたが発生があり、看護、介護、リハ、栄養、相談員ケアマネ等の協働により改善に取り組みました。

⑤事故防止

ヒヤリハット事例は、その都度多職種で検証を行い事故防止に役立てました。

看護と介護の連携により、経管栄養の方にも安全に生活していただけました。

⑥非常災害のための準備

年間を振り返ると何度か地震がありましたが利用者様も職員も慌てることなく怪我等もなく生活が継続できています。

非常災害時の準備品については9月と3月に確認をしました。

⑦看取りケアについて

一人ひとりの尊厳を最期まで守り手厚い介護を実践いたしました。ご家族様等からの感謝の言葉に職員の精神的負担が軽減できました。

2 階 フ ロ ア

「新しい生活様式を作ろう」という言葉を目標として、職員皆で協力し合い一年間の取り組みを行いました。コロナ禍という状況下での1年間でしたが無事に過ごすことが出来ました。

・感染症の予防

いつにも増し利用者様の体調変化に注意を払い、医務との連携を図りました。発熱があった場合には必ずナースに連絡し連携をとり、介護者側は即座に感染防止の対応とまん延防止の対応を行いました。また、レッドゾーンを想定してのシミュレーション訓練も行い予防策の周知徹底と業務ごとに細かく分かれたマニュアルを作成しマニュアルに沿った対応を行い大きな問題もなくスムーズに出来ました。会話や介護動作を行う際は必ずフェイスシールドを着用していたが、時間の経過とともに感染予防の

ために使用する物品等への意識が薄らいでいくような傾向があったので、定期的に繰り返し確認をしながら進めました。

コロナウイルスをはじめとする様々な感染症に対しての予防策は標準感染予防策の徹底であると再確認周知徹底を図りました。

職員も自身やご家族が体調不良時には出勤前に施設に連絡し、医療機関に受診して勤務は医師の指示に従いました。

この一年間で職員一人ひとりの感染症に対する意識がとて高くなり、施設内に感染症を持ち込むことなく2階利用者様へのコロナ感染を予防する事が出来ました。

・自立と尊厳の保持（その方らしさを大切に）

利用者様の希望や要望については職員皆で聞き取る意識と関わる時間を持ち、その内容を個人記録に入力し、アセスメントに役立ちました。ケアプラン会議等にて検討して支援につなげました。

2階には認知機能面での低下があったとしてもご自分の意思を他者に伝えることが出来たり、ご自分の意思で行動することが出来るような利用者様が多く生活されています。

生活支援の場面ではその方の意思を尊重し「その方らしい生活」が送れることが大切と考えます。サービスマナー、プライバシーの保護、個人情報の取り扱い等に留意しながら支援を行いました。

・職員の資質の向上

内部研修に参加することにより、知識と意識を高めることが出来ました。

新型コロナウイルスについての対応も気を引き締めて施設内にウイルスを持ち込まないように決められたことをしっかり実行し予防に努めました。

・レクリエーションの充実

コロナ禍ということもあり、日常的に充実していたとは言えず、今後も課題と考えます。

回想法については職員に正しい知識を伝えレクリエーションの中に取り入れました。昔の思い出を振り返り懐かしむ利用者様や大変だった頃を思い出したりてしまわれた利用者様等、感情は様々でしたが担当に付いた職員が上手くサポートすることにより高まった気持ちをクールダウンすることも出来ました。

三人行事も小行事もフロアで行い、フロア職員と利用者様が共同で準備をすすめると利用者様からの提案もあり和やかな雰囲気準備、当日、片付けと楽しむことが出来ました。

年間を通して利用者様と職員が一緒に行う機会を増やして利用者様と職員のより深い関係が構築出来ました。

感染予防から外出の期間が減りましたが桜の季節には散歩を楽しむことが出来ました。

・定型業務

利用者様の心身の状態や職員の人員に応じて随時業務を見直し、改善に努めました。

・居室担当の役割

空き時間を有効に活用して日々の生活の記録を入力し、情報を発信するということが全体的に少なく感じました。担当者として責任を持ち環境整備や情報の発信をするということを今後の課題として取り組んでいきます。

個人記録をもとにアセスメントし、施設サービス計画書の策定時にケアマネに提出し支援内容に反映出来たと思います。

居室担当者は、今後も担当利用者の生活に責任を持ちます。

・事故防止

利用者様の精神面や身体面の変化に応じて、多職種で連携しプランの見直しや変更を行い事故予防に努めました。

ヒヤリハット事例に対してはカンファレンスを迅速に行い、事故の原因を検討して再発防止の対策を立てて、次に大きな事故が起こらないように取り組みました。

また、安全面を重視するあまりに利用者様の行動が制限されてしまわぬように配慮し、そのうえリスクも回避し、その方の想いやその方らしさに配慮した支援が出来るよう、職員間で情報を共有しました。

後期になり、特に内出血等のヒヤリハット事例が目立ったため介助方法を学び合うとともにいままで以上に丁寧な介助動作を行うように周知徹底を図りました。その結果、内出血等は減少しました。

令和3年度骨折事故は0件でした。

・褥瘡の予防について

褥瘡リスクをアセスメントして、ケアプラン会議で話し合い、早期の対応検討を行って予防に努めました。心身の状況に変化があった場合には、褥瘡チェックリストを用いて見直し、多職種間で検討して体位交換や褥瘡予防具の使用を開始するという早期対応をすすめました。

コロナ感染症対策として密を避け、自室で過ごす時間が長くなる傾向にありましたが、離臥床表を作成して離床時間を確保することにより褥瘡予防と心身機能の低下防止に役立ちました。

・非常災害時に備えて

基本的なことを実行し、もしもの時に備えるという心構えを持ちました。

今年度に初めて体験した水害に対する避難の時のことを、今後の災害対策に役立てます。

防災訓練を定期的に行う事により災害への意識が年間を通し高く持ちながら取り組みました。

人命救助を第1と考えて行動することが身についたと思います。

・看取り介護

フロアーで看取る事もあり、最期をどのようにし支援したら幸せに迎えられるかということを皆で考えて手厚い関わりで安心していただけたと思います。整容・食事や水分等の大切さを改めて考えることによりフロアーとしても大きく成長できたと思います。

職員の精神的な負担の軽減に対してもしっかりと考えて行きます。今できるケアをしっかりと多職種間で共有していきます。

3 階 フ ロ ア

今だから出来る介護支援を考えアイデアを出し合い新しい生活様式を作ろうと取り組んできました。一年の中で二か月近いコロナを経験し利用者も長い間居室での生活が続いていたため精神的に閉塞感や、身体的には機能低下、廃用症候群につながる諸症状が出現した。そのため元の状態に徐々に戻しながら、新しい生活様式を作っていった。

・感染症対策

コロナ感染解除後では一挙に緩めるのではなく特に①空気の換気②手指消毒の徹底③使い捨てエプロンの使用④排泄時でのシャワーボトルの使用⑤排泄介助毎にビニール袋の使用等継続を行った⑥途中福生市の感染対応の専門看護師からの指導を受け、対策の見直しを行った。

特に食事介助時の手袋使用をアルコール消毒に変更するなど行った。

定時における手すり・PC キーボード、ドアノブの消毒を実施。また、職員の職場を離れたプライ

ベートでも注意するよう呼びかけた。出勤前の検温や、家族の健康状態管理・対応等にも協力を求めた。

・安全で快適な暮らし

ディールーム使用の際は、感染リスクを考慮し多目的に使用空間として使用。順次人数制限を変更しながら利用者を入れ替える等実施した。

年間行事をフロアで行う際はディールームをメインに使用し楽しんで頂けるようにした。また、ユーチューブでの音楽、踊り、DVDの映画鑑賞も実施した。居室内でもできるレクを考案し一部実施した。

・居室担当者としての今後役割

居室での生活になってしまった場合でも、楽しんで頂ける空間を作ることに努力した。

読書・TV鑑賞の他、床頭台を中心に家族とのつながりの持てる写真装飾や、職員からのメッセージ性のあるものなどの演出。

- ・行動量の少ない状況下では、利用者の日々の変化に気づきを持てるように特に観察を重視した。
- ・軽度の褥瘡が何度か出来てしまったが、観察による早期発見で短期間に抑えることが出来た。

・口腔ケア

- ・使用する道具は全て個別に行い感染リスクを抑えた。
- ・歯科医からの助言や個別のデータから、フロア職員が情報を共有して取りんだ。

・認知症支援者としての理解と実践

- ・認知症に関わる実践の情報誌として紹介にあった記事の紹介を行いながら、フロア内の事例に学んだ。

・事故防止・リスクマネジメント

- ・ヒヤリハットはその場ですぐに確認・検証した。対策も医務・リハビリ・相談員等が加わりその場で決定し、実施していけるように行った。

職員の共有については、連絡ノート・PC確認し、重要性の高いものについては、フロア職員を集め徹底を図った。

・常に整理整頓

物品の管理についてはフロアリーダーが行い日直・正夜勤者が責任を持つ。

書類の管理、日常使用する物についても、明確化し、簡素化し職員がすっきり業務に打ち込めるようにした。

・身体拘束

認知症フロアであることから、特にスピーチロック、不適切な言葉がなくなるように、都度注意し合うようにしたが、行き届かない所もあった。

・非常災害時の為の準備と体制

防災用品・防災グッズの点検を実施する。

火災訓練の実施。自然災害の訓練・コロナ感染の訓練を実施し、職員の非常時における意識を高める啓発が出来た。

リハビリ

- ・訓練開始前に利用者様の検温を記録、お互いの手指消毒、グローブ着用。

終了後も同様に手指消毒を行った。また、使用物品も消毒を行った。

- ・フロア移動時は手指消毒を行い感染予防ができた。
- ・私生活の中でも感染リスクのある外出は避けることが出来ている。
- ・機能訓練の実施記録、利用者様の状態、様子などはパソコンに入力し、状態が明らかに変化のある方は医務、日直に報告するなど情報共有が出来た。
- ・コロナ感染予防の観点からケアプラン会議は一つの部屋に集まらず、記録、多職種から情報収集をし個別機能訓練計画書を作成し利用者様に説明をし、ご家族様には書類をお送りし、同意を得た。
- ・理学療法中、会話中に聞かれた要望を出来る限り個別訓練計画に反映した。
- ・急変者、皮膚トラブルのある利用者様、状態の変化が見られる利用者様は情報共有し必要な時に個別機能訓練の変更を行った。
- ・新入所者、状態の変化のある利用者様は車椅子、クッションを多職種で検討しその方にあった物を使用して頂けた。
- ・褥瘡発生時は速やかに福祉用具の変更をし、早期回復につなげた。褥瘡者「0」は未達成。
理学療法の訓練はコロナ感染予防のため基本的に一日1フロア、又は午前午後でフロアを分ける一人一人の手指消毒の徹底、リハビリ器具の消毒、理学療法の訓練の実施場所の見直しを行った。
一日の訓練数20人は未達成。
- ・リハビリ室での理学療法の訓練は一人一人実施し、終了毎にリハビリ室の消毒を行った。
- ・大きな変化が見られたのは以下の通りです。

(機能向上が見られた方) 6 名 (機能維持が見られた方) 82 名
(機能の低下が見られた方) 11 名

- ・職員の介助方法を定期的に確認し間違いがあれば訂正、変更のあった場合は説明後正しく出来ているか確認をするように心掛け、リスクマネジメントを行った。
- ・フロア単位での行事にすることで3密を避け、利用者様が楽しんでいただけるような内容を考え実施した。
- ・感染症、事故防止、虐待防止等の会議、カンファレンスを実施し、深く考察を行った。
- ・備品は定期的では無く通年を通して点検を行い、故障等があればその都度修理を実施した。

(福祉用具一覧表)

車椅子	109 台
歩行器 (シルバーカー含む)	17 台
杖 (T字杖、多点杖)	13 本
ポータブルトイレ	6 台
体圧分散マット (ジェルマット含む)	12 台
エアマット (自動体交機能付き含む)	20 台
施設内のベッド数	
電動ベッド	107 台

栄 養

- ・今年度の全体目標である「新しい生活様式を作ろう！」を実現できるよう厨房職員は利用者様を想いながら旬の食材を取り入れた季節感のあるメニューや家庭的で温かみのある食事内容・環境作り衛生面等に配慮し安心安全な食事を提供することを目標に令和3年度は業務に臨んできました。

次年度も引き続き季節の食材を使用した献立、利用者様からの聞き取りで得られたご意見や要望に沿える献立の作成を行っていきます。調理方法や食材の硬さ、食べやすい大きさ等の情報を職員間でしっかりと共有し、器や盛り付け等、見た目からも「おいしそう」「食べたい」と思ってもらえるような食事提供を目標に業務に取り組んでいきます。また、調理の際は必ず2人以上で味見を行い、味付けや硬さ等の確認を行っています。

- ・食事を楽しんで召し上がって頂く為に、選択食や誕生日食・ラーメン(中華丼)の日の実施。
- ・季節に応じたおやつを提供、極細・ペースト食を召し上がる利用者様へ飲み込みがしやすく見た目が良いソフト食の提供も継続していきます。

■選択食等通常メニューと異なる食事提供の実施結果

選択食（ラーメン炒飯の選択も含む）	：月2回以上
誕生日食	：月1回
変わりご飯（丼・混ぜご飯）	：月2回以上
パン・麺の日	：月2回以上

■予算管理

- ・給食食材費の予算内運営を目標に、在庫管理の徹底や使用食材の見直しを行いました。
- ・次年度も食材ロスや使用頻度が多い食材の価格変動等に注意し予算内運営を目指します。

■利用者様の健康管理

- ・月に1度の体重測定結果や年に1度の健康診断時アルブミン値・血液データの管理、食事摂取量の把握で利用者様の栄養状態を確認しました。栄養状態に問題がある場合は、ケア会議や医務診察の際に提起し医師や多職種で話し合いを行い状態改善や維持・向上に努めました。必要量を召し上がることが困難な利用者様に対し補食の提供を行い、負担を減らすことで経口摂取の維持ができていますと考えます。

■感染症の予防

- ・手洗い・うがいの徹底、次亜塩素酸によるトイレの消毒、厨房内の衛生管理、厨房器具の消毒、体調チェックを行い、感染症予防に努め、厨房からの感染拡大に注意し取り組みました。また厨房内に感染症を持ち込ませないためにも、調理員は基本的に厨房から出ず、感染症予防に努めました。
 - ・利用者様の感染症が疑われる発熱の際には、使い捨ての弁当箱を使用し、厨房内に感染症を持ち込ませないよう努めました。また、フロア内のレッドゾーン対応の際には、フロア内の利用者様のお食事を使い捨てのお弁当箱を使用し、感染症を厨房内に持ち込ませないよう努めました。
- その結果、ノロウイルス等の感染症・食中毒の発症はありませんでした。

■ヒヤリハット件数

- ・前年度のヒヤリハット件数は合計で3件でした。内容は、配膳ミス：1件、その他：2件(異物混入・配膳車移動時のミス)、今年度のヒヤリハット件数は配膳ミス：1件、その他：2件(異物混入・果実種混入)の合計3件となりました。
- ・次年度も配膳ミスや怪我のないよう、お互いに声かけを行いながら、引き続き利用者様に安心安全な食事の提供ができるよう努力していきます。

職員外部研修参加状況

○外部研修への参加は、向上に役立ちますが、コロナ禍で外部への参加が少なかったです。

6月14日	福生市感染対策ネットワーク会議	1名参加
6月22日	モルテン勉強会	1名参加
7月7日	福生市感染対策ネットワーク会議	2名参加
7月20日	第3サンシャインビラ医務室勉強会	2名参加
7月21日	第2サンシャインビラ医務室勉強会	2名参加
7月28日	第2サンシャインビラ医務室勉強会	2名参加
8月2日	介護施設における安全対策担当者養成研修	1名参加
8月26日	科学的介護推進体制加算について	1名参加
8月27日	社会福祉事業従事者人権研修	2名参加
9月16日	社会福祉事業従事者人権研修	1名参加
10月5日	機能訓練指導員研修委員会	1名参加
11月10日	安全運転管理者講習会	1名参加
12月18日	第3サンシャインビラ管理栄養士勉強会	1名参加
1月31日	介護報酬請求事務に関する研修会（応用編）	1名参加
2月16日	A I時代に求められるケアマネジメント	1名参加
2月23日	介護報酬請求事務に関する研修会（応用編）	1名参加

新卒職員はサンシャインビラ介護学院で学び初任者研修の資格を取得しました。

内 部 研 修

職員としての心構え・基本理念・基本方針を正しく理解し、全職員の資質の向上に取り組みました。

・内部研修の開催実績

4月	「法人理念・ハラスメント対策」4/21	「感染症」4/23
5月	「事故防止」5/19	「身体拘束」5/28
6月	「看取り介護」6/9	「褥瘡・寝たきり防止」6/25
7月	「守秘義務」7/21	「褥瘡」7/21
	「虐待防止」7/21	「認知症の基礎知識」7/30
8月	「レクリエーション」8/18	「感染症」8/23
	「排泄状態改善」8/27	
9月	「サービスマナー」9/15	「腔衛生管理」9/24
10月	「感染症」10/20	「虐待防止」10/20
	「排泄事例検討」10/22	
11月	「虐待・拘束」11/17	「法人理念・職業倫理」11/26
12月	「認知症事例検討」12/15	「看取り介護」12/24
1月	「褥瘡・廃用症候群」1/19	「守秘義務・個人情報」1/28
2月	「虐待防止」2/16	「身体的拘束」2/16
	「褥瘡防止」2/16	「事故防止事例検討」2/16
	「介護課程」2/25	
3月	「サービスマナー」3/16	「レクリエーション」3/25

令和3年度の内部研修は、正職員・非常勤職員ともに多くを学び合いました。

学んだ知識と技術を仕事に活かせるように取り組み、質の高いサービス提供が出来たと思います。

新入職員には入職時のオリエンテーションを行い、エルダーメンター制度により指導担当者による指導と業務内で行うOJTの強化により、介護技術の習得が出来ました。

指導にあたる側の先輩も指導を受ける側の後輩も、共に学び合うことで職員間の良好な人間関係が構築されました。

・新入職時のオリエンテーション内容

「新入職員オリエンテーション」「介護職員の人材育成・人材育成新入職員」

「福祉の仕事と職業倫理」「看取り介護に関する指針・看取りのマニュアル」

「事故発生の防止及び発生時対応の指針」「身体的拘束適正化のための指針」

「褥瘡対策の指針」「感染症及び食中毒の予防及びまん延防止の指針」

「高齢者虐待防止に関する指針」「サービスマナーの指針」

「職場内の携帯電話の使用について」

・その他

4月に入職した新卒者は、初任者研修を受講して初任者研修の資格を取得しました。

苦 情 報 告

令和3年度も前年に続き、新型コロナウイルス感染症により利用者様の生活は大きな影響を受けました。

利用者様に感染症(新型コロナウイルス感染症に限らず)の可能性がある症状が生じた場合、感染対応を行いません。

職員や職員の家族に感染の可能性が生じた場合、その職員が所属するフロアを感染拡大防止のための制限区域としました。その期間、利用者様にはなるべく居室で過ごしていただきました。入浴が清拭になり食器の形態も変わるなどいつもと違う状況に戸惑われた方もいたと思います。

また、外部の病院へ通院された後は一定期間個室(二人部屋を使用)で過ごしていただきました。

感染防止のためのやむを得ない処置でしたが、それに対して不満を感じる方も多く、苦情やご意見として寄せられました。

苦情担当者である生活相談員や利用者様と直接かかわることの多い介護職員はもちろん、看護職員、介護支援専門員、機能訓練指導員、管理栄養士も利用者様と接する時に様々な思いを引き出すよう努めました。

利用者様の苦情や要望では、「入浴ができない時の清拭対応について」「ご家族に会いたい」といったものが多く、また、閉塞感からか他利用者様への不満等も例年に比べ、多く聞かれました。

利用者様の生活に関する不満等に対しては、丁寧に説明し理解を得るようにしました。

職員に対する苦情に関しては、事実確認を行って謝罪をし、信頼回復に努めました。

苦情や要望、意見のうち、主なものを月1回開かれる「苦情対策会議」で取り上げました。

苦情の内容とそれに対する対応を検討し、ケア上の問題点や今後改善すべき点を考察し、それによって、施設全体のケアの向上につなげることが出来ました。

【苦情対策会議で取り上げた主な苦情・要望・意見】

- (1) 利用者様より
 - 職員の態度や言葉使いに対する苦情・不満・・・3件
 - 職員の業務・介助に対する苦情・不満・・・15件
 - 他利用者への苦情・不満・・・6件
 - 環境や食事等に対する不満・・・4件
 - 要望・・・11件
- (2) ご家族様より
 - 利用者様の生活に関する苦情・不満・・・1件
 - 氏名の間違いに関する苦情・・・1件
 - 評価・感謝・・・1件
- (3) 職員より
 - 職員会費に関する質問・・・1件

事 故 防 止

事故及びヒヤリハット事例が起きますと、発見者は当日の日直もしくは夜勤者に報告し、日勤帯であればナース、リハビリ、生活相談員等に連絡し、多職種で検証を行い、施設長に報告するという体制が来ています。

速やかに報告書を作成し、対応策もなるべく早く立てました。その後事例を振り返り、次の事故防止のための対策を検討しました。

本年度のヒヤリハット事例は218件でした。内訳は転倒・転落38件、怪我（傷・内出血他）44件、危険行為・徘徊・トラブル7件、誤嚥・誤食・誤薬8件、その他121件でした。行政に報告書を提出した事故は1件で、転倒による骨折で入院されましたが、現在は退院され以前の生活に戻っています。

事故防止会議は、施設顧問医師の指導により、毎週金曜日に開催しました。

施設内で起こった事故及びヒヤリハット事例を検証し、原因や問題点、対策も検討しました。

本年度は計43回開催しました。

事故及びヒヤリハット事例の中で、特に施設全体で検証すべき事例や、防止策の実施状況等は毎月開催される事故防止委員会で取り扱いました。

排 泄

排泄面の向上を目指し、プライバシーへの配慮と正しい排泄介助方法を学び合い、介護者としての心構えと、技術の習得に取り組みました。

業者の講師による排泄の勉強会は、実践に役立つ内容で排泄介助方法と排せつ用品や物品の選択に役立ちました。

委 員 会 報 告

「新しい生活様式をつくろう！」と、利用者サービスの質の向上を図り各会議を開催しました。

研修委員会

人材育成とサービスの質の向上に取り組みました。

エルダーメンター制度により、新人職員の指導にあたり、OJTを強化しました。
一般職員に対しては、毎月の全体会の時間と運営会議の時間を利用して内部研修を実施しました。
正職員も非常勤職員も介護職以外の職員も全員で内部研修に参加するように努め、参加出来ない職員へは参加した職員から資料等により説明して共通の認識を持てるように取り組みました。

褥瘡防止委員会

毎月委員会を行い、全職員に注意喚起できるように取り組みました。各部署の協力体制が出来て、皮膚の状態に心配がある利用者様に対して早期対応に努めました。

身体拘束廃止委員会

拘束は長期にわたり「0」です。拘束を行なうことの弊害を職員全員が理解して介護サービスを提供しています。今後も意識を高く持ち、拘束「0」の状態を維持して行きます。

排泄委員会

排泄の向上に取り組みました。利用者様に合わせた物品を使用するためにアセスメントするとともに、排泄用品の使用状況を確認もしてコスト意識を持ち、排泄の改善に取り組みました。

サービスマナー委員会

一人ひとりがサービスマナーの重要性を理解して施設全体のサービスマナーが向上するために活動しました。委員会メンバーで話し合い「標語」を作成し、週報に記入してもらい実践しました。

厨房委員会

利用者様の「食」に対する、希望を少しでも実現に近づけることが出来るように、各部署で協力し、検討や相談をすすめました。利用者様の声を献立に反映しました。

また、利用者様にとっての不都合の改善策と職員にとっての不都合の改善策を委員会の中で検討と確認をして、実行に結び付けるようにしました。

活動責任者委員会

今年度は委員会としての活動はありませんでした。本来は年度初めに引継ぎの会議を行なうべきでした。

忘年会活動報告書

新型コロナウイルス感染症の影響で福陽会合同忘年会は中止となりました。全職員が感染症の予防策に一丸となり取り組むという関係性の中でチームワークが醸成され親睦も深まりました。

職員旅行活動報告書

忘年会同様、コロナの影響で職員旅行も中止となりました。

職員は私生活においても外出や会食を自粛して感染所の予防に努めました。その結果、施設内にコロナ等の感染症を持ち込むことを防げたと思います。

ク ラ ブ 活 動

コロナ禍のため感染予防を重視して行いました。「密を避け、小集団で」の実施のため参加希望の強い方や、心身の状況において気分転換が必要な方などが優先的に参加した形になりました。
その分内容の濃い活動になったように思います。

茶 道

活動回数	2 回	参加延人数	6 6 名
活動報告	茶道クラブにとって、一番大きな活動の場である「文化祭」には、たくさんお茶をたてることが出来ました。お菓子が売り切れるほど盛況でした。お点前は職員が行いました。		

華 道

活動回数	1 回	参加延人数	8 名
活動報告	コロナの影響で講師の先生が来園できなかったもので、活動が出来ませんでした。しかし文化祭の前日には、1 日かけ、講師の先生からリモートで指導をいただきながら、お花を活けることが出来ました。皆さんたいへんに意欲的に取り組みました。講師の先生はリモートでの指導という形で大変にご苦勞をおかけいただきましたが、色とりどりのお花で文化祭の会場が華やかになりました。活けた利用者様も、ご自分の作品に大満足の様子でした。		

書 道

活動回数	1 0 回	参加延人数	6 6 名
活動報告	コロナ禍のため、ボランティアさんの来園は無く、職員が準備から片付けまでの期間と活動中の見守りをしながら利用者様に書いていただくようにして活動を行いました。専門的な指導者はありませんでしたが、皆さん楽しく書道をされていました。毎回の作品は展示し、それを眺めて、うれしそうでした。文化祭には利用者様の作品とともに職員の作品も展示もしました。		

紙 芝 居

活動回数	8 回	参加延人数	9 6 名
活動報告	2 階の利用者様を中心に物語の読み聞かせを行いました。毎回、好評でした。フェイスシールドを付けて感染予防しながら読みました。		

カ ラ オ ケ ♪

活動報告	年間を通してコロナ感染症の影響が大きくありました。感染予防の観点から「歌うこと」を控えました。そのためカラオケの機械を使い、各フロアで利用者様からのリクエストのある曲を流してみんなで「聴く」ことを楽しみました。入浴日を活動日として、1 週間に 2 回実施しました。		
------	--	--	--

手 作 り お や つ

活動回数	11 回	参加延人数	8 6 2 名
活動報告	利用者様に食べやすいおやつを手作りするという事を考えながら「何を作ろうか」と利用者様とも相談しながら実施しました。 4 月（フレンチトースト） 5 月（パンナコッタ） 6 月（パンケーキ） 7 月（素麺） 8 月（フルーツパフェ） 9 月（レアチーズケーキ） 10 月（サンドイッチ） 11 月（芋煮） 12 月（お汁粉） 1 月（中止） 2 月（チョコレートパフェ） 3 月（豆腐ドーナツ） 普段召し上がっている食事形態とは違う形態の物であってもゆっくりと余裕を持って介助させていただくことにより、希望する方には皆様に召し上がっていただくことが出来ました。 誤嚥事故の防止に努めました。感染予防で各フロアでの飲食といたしました。		

音 楽 療 法 ♪

活動報告	年間を通して、コロナ感染症の予防のために講師の先生は来園できませんでした。専門的な知識がない職員だけで音楽療法の実施は困難ですので、活動がありませんでした。 活動を楽しみにしている利用者様には申し訳ない状況でした。
------	---

ラ ジ オ 体 操

利用者様の健康維持を目的とし活動を計画しましたが、コロナ禍ということもあり、実施には至りませんでした。しかし、ラジオ体操は利用者様になじみがある動きであったり、聞きなれたリズムであったりするので実施方法を工夫して行うべきでした。活動を行っていれば、利用者様の心身の活性化に役立っていたと思うとともに、コロナ禍での活動性の低下防止につながったと思います。活動できなかったことは残念です。

外 出 の 日

活動報告	近隣地域でのコロナ感染症感染拡大があり、中々施設外に出かけることは困難な状況でした。 季節や天候をみながら施設周辺の散歩や施設ベランダや施設内の庭での日光浴等で気分転換を図りました。 令和3年4月 2日 桜の散歩 4月 3日 桜の散歩 5月 1日 中央公園散歩 9月22日 中央公園散歩 9月29日 中央公園散歩 令和4年3月31日 桜の於散歩
------	--

製 作

活動回数	1 4 回	参加人数	8 9 名
活動報告	密にならないように座席の配置を考えてマスクをして参加していただきました。 季節に合わせて身の周りの装飾品や季節感を感じられるような置物などの制作に取り組みました。納涼祭の前にはうちわの制作を行い、自分自身のためにオリジナル作品が出来上がりました。 製作は出来上がる楽しさと満足感と達成感により、心身の状況には良い影響があったと思います。 皆様、真剣に取り組まれていました。		

園 芸

活動回数	4 回	参加延人数	2 1 名
活動報告	コロナ感染症等の感染予防により活動に制限がありました。 季節にあわせて草花を植え、花が咲くのを楽しみました。 夏には「ゴーヤ」「ナス」「ピーマン」「西瓜」などの作物の育成を楽しみ、その後の 収穫時期には、みんなで味見をするなど視覚と味覚の両方に働きかけることが出来ました。		

防 災

「突然大きな地震に襲われる」「火災が発生する」「不審者が侵入する」「感染症のクラスターが発生してしまった」等々を想定して、訓練を行いました。

どのような状況であっても利用者様へのサービス提供を行うという私たちの使命を職員一人ひとりが自覚しながら職務にあたるように取り組みを行いました。

訓練の記録

- 5 月 1 9 日（水） 地震想定（日勤帯）にて実施し、消火訓練、通報訓練、避難訓練を行う。
地震が収まり、被害状況を確認する。
厨房より出火あり通報するとともに、消火器にて初期消火し鎮火する。
利用者様を1号室からデールームまでの所に避難誘導したと仮定して避難訓練。
- 6 月 9 日（水） 水害想定（日勤帯）多摩川氾濫したと想定し、1階と2階の利用者様の避難誘導を想定しての避難訓練。
- 6 月 2 4 日（木） 台風による水害で厨房が水浸しになり調理が出来ない状態を想定して、2階の厨房システムと備蓄品により昼食準備を行い、昼食を提供する炊き出し訓練。
- 9 月 1 日（水） 防災用品の一斉点検訓練
各部署の避難用品と防災用品の内容を点検する。
- 1 0 月 2 2 日（金） 福生消防種による訓練に参加（自衛消防隊員）予定であったが
DVD鑑賞により自主訓練を行う。

- 1 1月15日（月） 地震想定炊き出し訓練 防災用品「まかないくん」を使う。
地震により施設全体に被害があった。特に厨房の被害が大きく食事の準備が出来ないため「まかないくん」を使い施設の庭で豚汁を作り利用者様と職員の昼食とした。
- 1 2月 4日（土） 感染症の蔓延防止策としてのシミュレーション訓練
2階フロアをレッドゾーンとしての介護の進め方等を、実践的にシミュレーションして訓練を行う。
- 1月 1日（土） 多摩川で火災が発生し職員3名が消火活動に参加。
消火器を持ち、駆け付けて地域住民と協力して消火活動を行った。
使用した消火器3本は、後日福生市にて薬剤を詰め替えていただきました。
（自衛消防訓練通知書による消防署への届け出し）
- 2月16日（水） 地震想定（夜勤帯）にて実施し、消火器による初期消火を行い鎮火した。
頭部のけが人に対し、応急処置を行った。
- 3月11日（金） 地震想定（日勤帯）火災無しけが人なし。
3月11日を忘れることなく、常に備えることが出来るようにという心構えの訓練を行った。
火災の発生無し、ケガ人無し。

使用物品等

日常的に使う使用物品の在庫が少なくなると事務所に連絡をして事務所で発注しました。
納品された物品は、介助員が所定の場所に片づけて管理をしました。
物品を持ち出したときに、物品を持ち出した職員が持ち出した記録を記入しました。

シーツ等リネン類の発注管理

シーツ交換は、業者に委託しています。
リネン類の在庫等の数量管理も委託先の業者が行っています。
定期的なシーツ交換以外のシーツ交換は、介護職員が行い、利用者様の寝具類を心地よい状態に保っています。
環境整備・感染症予防・褥瘡予防・安眠・事故防止等に配慮して清潔保持を支援しました。
新型コロナウイルスの感染防止のために、リネン類の配送の業者さんが施設に入らずに玄関先で納品していただき、職員が片付けるという方法を継続しました。

おむつ等管理

紙おむつ類の使用については、職員全員がコスト意識を持ち、使用しています。コスト意識は、排せつ委員の働きかけで、それぞれの職員の意識も高まっています。無駄な使い方をしないように注意し合って、排せつ介助を行っています。
在庫の管理をしながら発注して、過不足なく使用する事が出来ました。

年間行事の実施状況

行 事	実 施	内 訳	金 額	小 計
観桜会	4月16日（日）	模擬店食材 飲み物	22,726 5,161	27,887
端午の節句	5月2日（日）	ケーキ	13,799	13,799
ゲーム大会	6月20日（日）	飲み物 アンパン ゲーム用品	4,577 12,000 2,492	19,069
納涼祭	7月25日（日） 8月1日（日）	模擬店食材 容器 飲み物 衣洗濯代	17,451 6,270 11,166 12,566	47,453
敬老会	9月19日（日）	花代 ケーキ 化粧品 備品	33,317 28,792 330 8,790	71,229
文化祭	10月17日（日）	模擬店食材 雑貨 茶道菓子等 デザート、飲み物	16,428 10,882 7,556 11,761	46,627
クリスマス	12月19日（日）	クリスマス用装飾品 プレゼント代	2,204 27,991	30,195
餅つき	12月28日（火）	もち米と もち取り粉	3,880	3,880
新年式典	令和4年 1月1日（土）	門松 お飾り等 花 獅子舞お礼	42,900 18,935 12,500 10,000	84,335
節分祭	2月3日（木）	鬼打ち豆 その他	2,143 4,226	6,369
ひな祭り	2月27日（日）	花代 雛菓子	4,950 556	5,506

合計 356,349円

ボランティア受入状況

例年たくさんのボランティアさんに活動していただいていたましたが、コロナ禍のために感染予防により、施設内での活動に制限がありました。

ボランティアさんは、地域の方が多く、利用者様の地域交流の機会になっていたので残念でした。ボランティアさんに施設内にお入りいただくことは出来ませんでしたが、ご自宅で作った作品を届けて下さったりという個人ボランティアさんもありました。

福生市社会福祉協議会、福生市ボランティア協議会、地域の幼稚園、保育園、高等学校、町会、NPO法人、zoomやオンライン配信等と個人ボランティアさん5名

実習生・研修生受入記録

コロナ感染症等の感染予防対策の一環として、令和3年度は外部からの受け入れを中止しました。

地域交流参加等の状況

地域交流は重要なこととの認識のもと交流の機会を検討しましたが感染予防を優先し交流の機会を持つことが出来ない結果となりました。

令和 3 年度短期入所生活介護事業報告

1. 基本方針

福陽会の理念である「その方が、その方らしく生活できる環境づくり」をモットーに、利用者様が健康で笑顔あふれる日常を過ごせるよう目標を定める。

- ・利用者様の心身共に健康な生活を保持する。
- ・利用者様の個性を尊重した生活を配慮する。
- ・生活に希望と生きがいを持てるよう環境の整備と季節感のある行事を行う。

(1) 月別利用者延人利用日数

4 月	0 日	5 月	0 日	6 月	2 7 日
7 月	3 0 日	8 月	3 1 日	9 月	2 6 日
1 0 月	0 日	1 1 月	0 日	1 2 月	5 日
1 月	3 1 日	2 月	1 3 日	3 月	0 日

1 年間に、延べ人数で合計 1 6 3 日利用していただきその結果、稼働率は 22, 33% でした。従来型多床室で個室がありませんので、コロナ感染症の感染防止策により、2 床のベッドの二人部屋に 1 名の方が利用するという状況があり稼働率を上げることは困難でした。

その様な状況でも、緊急利用の利用者様の受け入れを積極的に行い、施設を利用していただくことが出来ました。

(2) 協力病院・地域の医療機関等と連携を図り、ご家族様とも協力し合い、健康管理を行いました。

2. 重点目標

職員一同力を合わせて感染予防策の徹底とサービスの質の向上に取り組みました。

- (1) 緊急な入れを行いました。
- (2) 重度要介護者の受け入れも行いました。
- (3) 内部研修と OJT を強化しました。
- (4) 各部署のチームワークで感染症の予防と拡大の防止を図りました。

生活の場として安全であるように環境を整えて、その方のご利用期間を安心して安全に過ごしていただき、安心して居宅へ戻っていただけますようにと考えて、支援いたしました。

2021 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第2サンシャインビル
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

1. 事業報告（総括）

統括施設長指示のもと、「その人らしく生活できる環境づくり」の追求を深めて行く事により、利用者個々の充実した生活が送れるよう支援する事が出来た。新型コロナウイルスの影響により面会制限や活動自粛等をせざるを得ない状況が続いたが、コミュニケーションの増加やフロア毎の諸活動の企画及び実施により、日常生活を楽しんでもらう事が出来た。しかし前年度の新型コロナ感染等による退所者のリハビリに時間を費やす事になり稼働率状況に影響が出てしまった。年度後半には状況も安定傾向が見られるようになり、次年度に繋げる事ができたよう思われる。

地域交流については、家族介護者教室の開催にて地域の家族介護者への支援を11月に、地元加美町会や福生市との合同防災訓練を3月後半に実施。又、前年度は実施できなかった民生委員との懇談会を11月に実施し参加者からは好評の声が聞かれた。その他については前年度同様新型コロナの影響により交流する機会も大きく減少した。

面会についてはオンライン及び特定の部屋を使用し窓越しの面会を実施。利用者様やご家族様から喜びの声やたくさんの笑顔を見る事ができた。

研修関係についても、施設開設以来変わる事の無い理事長・統括施設長・顧問医師・副理事長の福陽会の理念を職員個々に十分に理解・浸透させる事ができた。今年度も内部研修を中心に、研修委員等の熱意や創意工夫により定期研修会と合わせ、フロア毎の内部研修の継続。特に外部講師を招いての研修会は参加者も多く、専門性のある講義内容にてスキルアップに繋げる事ができたように思える。

利用者の健康管理については、平均介護度4.1と重度化が継続している中、顧問医師の指導による日々の健康チェックと日常観察等を介護・看護職員が連動して行い、病気の早期発見・早期治療を実施する事ができ、コロナ感染を発症させる事もなく精度の高い感染症対策や看取り介護の実践が継続できた。同時に顧問医師を中心に例年以上に感染症対策委員会を開催し、感染症に対する知識を深める事が出来た。

一方では、開設から26年が経過し、各設備の消耗や老朽化が更に進んでおり、消防設備の入れ替え、エアコン修理、スプリンクラー修理等の施設備品に加え、福生市から委託を受け地域包括支援センターを立ち上げる為の経費も加わった。修繕等については今後も消耗状況による各設備の入替え等、続いていく可能性が非常に高い為、施設全体の経費の見直し・削減を進めていき、効率的な施設運営を目指すと共に、利用者並びに施設職員が明るくそして幸福感や満足感を常に感じてもらえるような活気ある施設作りを強化並びに継続して行きたい。

介護報酬等収入等実績：684,040,198円

【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、年度後半のコロナ感染症発症があったものの冒頭のとおりの成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

2. 職 員 構 成 3 月 31 日現在

担当職	職 名	職員	非常勤
統括施設長		1	
顧問医師			1
副理事長		1	
産業医			1
施 設 長		1	
事 務 長		1	
事 務 員		1	2
生活相談員	主任生活相談員	0	
	生活相談員	4(3)	1
	介護長	0	
介護支援専門員		(3)	
介護職員		40	25
医 務	医 師		3
	看護主任	1	
	看護職員	5	2
	事務		0
機能訓練指導員	機能訓練指導員	2	
	P T		2
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	9	0
保守管理・宿直	介助員	1	9

* 兼務職員は主たる職務に記載し、
兼務している職務では（ ）内に
記載

* 清掃・洗濯の
一部はシルバー人材より派遣

人件費実績
： 447, 985, 823 円

福利厚生費実績
： 1, 725, 295 円

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	回数 合計
相談員会議	8	13	10	8	12	9	14	11	9	13	23	10	12
栄養会議	8	13	10	8	12	9	14	11	9	13	10	10	12
行事計画委員会	13	11	8	13	10	14	12	9	14	11	15	8	12
苦情処理委員会				27				23			22		3
事故対策委員会		25								25			2
虐待・拘束廃止委員会			22			28			28			22	4
個人情報保護推進委員会	27				24								2
実習研修推進委員会	19	17	26	19	16	20	25	15	20	17	21	21	12
厨房会議	7		30					3			2		4
ケース会議	13	11	8	13	10	14	12	9	14	11	15	8	24
	27	25	22	27	24	28	26	23	28	25	22	22	
リーダー会議	8	13	10	8	12	9	14	11	9	13	23	10	12
広報委員会		13		14		8		10		12		9	6
施設内レクリエーション委員会	19	17	26	19	16	20	25	15	20	17	21	21	12
褥瘡予防委員会	13	11	8	13	10	14	13	9	14	11	22	8	12
衛生委員会	26	31	28	26	30	27	25	22	27	31	28	28	12
感染症対策委員会	27	25	22	27	24	28		23	28	12・ 19・ 25	22	22	13
全体会議	14	12	2	14	25	15	13	10	8	12	9	9	12
利用者懇談会													
給食懇談会	5	3	5			6	4	1	6			7	8
法人合同会議	26	26	24	22	26	27	25	25	22	31	24	24	12
防火管理委員会		5											
その他会議				8	12・ 17・ 24	30						21	6

会議費実績：30,888 円

4. 市区町村別入退所状況

	入 所		退 所		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
葛 飾	1	2	0	2	3	2
国 立	1	0	0	0	1	0
江 東	0	1	0	0	1	0
杉 並	0	1	0	1	1	1
世田谷	0	0	1	4	0	5
立 川	2	4	1	1	6	2
福 生	4	12	2	18	16	20
文 京	0	0	2	1	0	3
目 黒	0	0	0	1	0	1
その他	6	17	3	4	23	7
合計	14	37	9	32	51	41

5. 利用者外出・外泊・面会状況

	外出		外泊		面会		
	人数	延回数	人数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4					169	9	0.3
5					169	27	0.9
6					169	21	0.7
7					169	32	1.0
8					169	35	1.1
9					169	39	1.3
10					180	59	1.9
11					180	110	3.7
12					180	97	3.1
1					180	23	0.7
2					180	20	0.7
3					180	19	0.6
合 計	0	0	0	0	2094	491	1.3

6. 処 遇 報 告

1) 2F 事業報告・活動報告

【フローア目標】認知症の方の行動・症状を理解しその方に合った接し方、ケア、本人の尊厳を大事にして、出来ることをいかした生活が送れるよう支援していきます。

(1) 年間を通じて

前期目標を達成する為、利用者様の生活環境を整え、利用者様の体調を整え、体調の変化に気を配り、年間行事への参加や外出支援、フロア活動としての季節ごとに企画したレクリエーションを行う事が出来た。

後期目標に関しては、利用者様の体調管理に介護職員と医務との連携にて利用者様の体調の変化の早期発見とその後の対応を迅速に行えた。また、嘔吐処理などの感染対応のフロア研修日を設定し、フロア職員参加のもと周知し備えることができた。

感染症対策時期には外出支援ができないため、クリスマス、お正月、節分祭、ひな祭りなどを盛大にフロアレクリエーション充実したものにできた。

(2) 安全対策

夜間帯、センサー15機設置し最大約20名の利用者様（1機につき2名の利用者様対象のケースもあり）のベッドから転落、ベッドからの歩きだしからの転倒、トイレ使用時の介助、見守りを行い事故防止に努める。

(3) フロア活動報告

【利用者ショッピング】

新型コロナ感染症対策のため中止。

【フロア外出支援】

新型コロナ感染症対策のため中止

【フロアレクリエーション】

コロナ感染対策の為、外出、又外部からの慰問等も出来ない状況の中で、季節を感じられるレクリエーションを、利用者様と職員と一緒に楽しみ、職員の演芸会（和太鼓・ジャグリング・ピアノウクレレ・仮装）などは多くの利用者様の笑顔がみられとても楽しまれた。

全ての行事に多くの利用者様が参加して頂ける内容を考え取り組むことが出来た。

フローア内に、普段とは違う表情の笑顔の写真を多く撮ることが出来、フローア内に多くの写真を飾る事が出来た。

【フロア研修会】研修委員主催

事故報告が出た場合、なるべく早くミーティングをするように心掛け、改善、再発防止に努め、フロア全体が把握、周知できるように取り組むことが出来た

2) 3F 事業報告・活動報告

① 利用者の個別ケアについて

ケアプランに基づいた個別ケアについて居室担当が発信し、情報共有、フロア全体での実践・検証が定着している。情報共有についても昼のミーティングで当日の利用者の状況についての報告、確認を行い皆で把握することでその後のケアに活かせるような体制ができています。また、少しの状態変化も察知し易くなり、医務やリハビリへの相談や連携も以前より迅速に行われるようになった。今後もより適切で根拠のある個別ケアが実施されるよう継続していく。

ヒヤリハットの報告も前年より増えており、些細な事でも報告し共有することが定着した。危機意識が高まり、迅速な対策が行われるようになったことがベッド転落やずり落ちなどの大幅な減少につながったとも言える。内出血はもちろんほかの事故についても当日必ずミーティング、状況により医務にも入ってもらいながら、より精度の高い効果的な改善案の作成や実施、一定期間経過後の評価を継続し、同様の事故を減少できるように努力していく。

新型コロナウイルスについては、引き続き緊張感をもって感染予防に努めた。

利用者の体調観察や迅速なゾーニング。各職員についても社内はもちろん帰宅後も各自が体調や行動の管理、消毒の徹底などフロア一丸となって取り組み、今年度も何とか発症を抑えることが出来た。今後もスタンダードプリコーションを基本として徹底し、気を緩めることなく更なる感染症の理解と技術の向上を目指し、医務とも連携しながら感染予防に努めていく。

② フロアレクについて

レク委員を中心に季節ごとの飾りつけや誕生日の装飾、ベランダの草花など継続し、自粛ムードでも利用者の方に季節を感じていただけるよう努めた。特にコロナ禍での利用者の楽しみとして飾り付けを一緒に行う取り組みを行い、貼り絵や塗り絵、干支の人形や桜の花びらづくりで生き生きとした利用者の笑顔を見ることができた。更にハロウィンのお菓子つかみ取りやフロアクリスマスでは職員も一緒に楽しみ盛大な盛り上がりを見せた。カラオケ、そして陽気の良い日には外気浴を実施するなど引き続きコロナ禍で制約の多い利用者に少しでも楽しんで頂くよう努力した。

③ 個人の尊厳・認知症ケア

「尊厳」というものの意味を理解し、利用者一人ひとりと真摯に向き合い、個別のケアや利用者特性、認知症の理解については職員指導や研修会の参加などで理解を深めてきた。今後も利用者・家族が安心して施設での生活を送っていただけるよう努めていきます。

④ ターミナルケア

終末期、居室を思い出の写真で飾り付けしたり、音楽を流すなど少しでも安楽に過ごして頂くような環境づくりに努めた。また、コロナ禍でも、ご家族に感染対応をご理解頂いた上で面会を実施することができた。更に振り返りシートを用い、その利用者を思い浮かべながらできたこと、やりたかったが出来なかったことなどを書き出すことで更により良い看取り介護を目指していきたい。

。排泄委員会（感染症委員会）

- ・利用者の状態変化に合わせた排泄材料の検討や褥瘡予防策の提案・実施。
- ・感染物品の管理や安全な排泄介助方法、ガウンテクニックの指導。

美化委員会

- ・感染予防の為の口腔ケアや整容などの物品管理や身の回り品等の整備。
- ・安全や清潔に配慮したフロア環境整備。

レク委員会

- ・季節感のあるフロア内外の装飾。
- ・感染予防に配慮した上でのフロアレクの企画・実行。

研修委員会

- ・より質の高い職員の育成につなげる研修の実施や資料作成等。

3) 4F 事業報告・活動報告

年間目標

常に尊敬の念を持ち、利用者一人一人と真摯に向きあうことで、『その人らしい生活感のある暮らし』『心身ともに健康な生活』『笑顔の絶えない楽しい生活』が送れるよう支援をしていきます。

重点項目

① 感染症対策

新型コロナウイルス感染症等の染症対策において、前前年度のクラスターの経験から学んだ知識を源に、感染予防対策の習慣化だけでなく、さまざまな感染症に対する感染症予防対策の根拠を追求し、日々の利用者ケアの見直しを図ったことで日常的な感染予防対策としてのレベルアップに繋がった。また、流行し続けている新型コロナ感染症には特に細心の注意を払い、職員個々が体調管理、プライバシーでの行動制限を心掛けた。あいにく家族間での感染は間逃れなかったが、早期に疑い出勤を控えたことで施設への持ち込みもなく、今期の4Fフロア含む当施設の新型コロナ感染利用者はゼロとなっている。

② 利用者個別ケア

利用者一人一人のケアプランをケース会議毎に、チェック方式で職員に周知することで、フロア職員皆が利用者一人一人の想いやニーズを把握し、統一したケアを実施することが出来た。また、それに答えるかのように、車椅子から歩行器、オムツからトイレ誘導へと利用者の生活の質が向上した実績も得られている。職員、利用者間の良好な交流が継続している中で、利用者同士の交流も以前に比べて深まっており、外出や面会がままならない状況下でもフロア内で生き生きとした利用者社会が確立している。

③ 認知症ケア

フロア内での情報共有をもとに、認知症であっても「その人がその人らしく」生活できるよう、「その人そのもの」を理解しつつ、周辺症状、中核症状へのアプローチを個別に工夫することで、利用者、職員共にゆとりを持ち、穏やかな関係性を築くことが出来ている。

また、やむを得ず医師より抗精神薬の処方となった利用者にたいして、投薬後の副作用を考える等の意識も高まっている。

④ 看取り介護（ターミナルケア）

コロナ過ではあるが、感染症対策にご協力頂きながら、ご家族との面会を安全に実施することが出来た。ご家族の写真や大切な物、自慢な物、好きな歌等、「その人らしさ」を尊重した環境を整えるだけでなく、ご家族が支援の手（マッサージ、食事介助、散髪等）を差し伸べられる機会を提供することが出来、利用者、ご家族からの満足度が実感できた。

看取りケア実施中にも、関わった職員の気付きを専用の用紙に記入し、看取りケアの質を深める努力を継続している。

また、看取り後には、故人のご家族に向けた、「思い出のアルバム」を心込めて作成し、数々の嬉しいコメントを頂けている。

⑤ リスクマネジメント

ヒヤリハット、内出血に関しては、昨年度以上に発見、報告の意識付けと職員全体の目配り気配り等の意識を高めることが出来た為、昨年よりも些細なことも含めた件数が増える結果となったが、このことにより職員間の情報共有に役立つことが出来た。

また、低床ベッドの活用、足元マットの設置や、センサーの有効利用により、ベッドからの転落、は減少していたが、歩行器、車椅子自乗の方が増加、出来る限り自由に生活して頂けるよう配慮した結果、尻もち、転倒、車椅子や椅子からの転落は前年度を上回る結果となってしまった。

骨折に関しては1件発生する結果となった。

⑥ 生活支援

天候の良い日は外気浴やミカン狩り、ドライブ（車内からの景色観賞）、室内ではお汁粉作り、寿司の出前、フルーチェ作り、お誕生日会のケーキ、銭湯レク等、嗜好品や環境装飾等のレクリエーションを企画し、外出できないコロナ過でもストレス少なく、楽しみをもって過ごして頂けるよう努めた。

日常に於いても、利用者同士のオセロや麻雀を楽しむ姿や、職員と交わりながら楽しそうに笑っている利用者が多く見られていた。

また、利用者個人の趣味や生活歴等に応じた個別の動画鑑賞の提供も、利用者が楽しむ場面に有効であった。

⑦ 個人の尊厳

今期 8 月～12 月まで、1 名の利用者に対してやむを得ない理由にて「身体拘束」を開始する事となり、今回は初の事例となった。利用者の苦痛や思い、苦痛の中でのその人にとっての喜び、家族の思い、私達に出来ること…等を必然的に考察し、医務、リハビリを含むチーム一丸となって一人の利用者に寄り添い考えさせられる、想い入れ深い経験値を上げることが出来た。

4) 月間定例行事実施状況

行事 月	喫茶室	おやつ バイキング	ラーメン の日 冷し中華	うどん	希望食 の日	誕生日 会	理髪の 日	移 動 美容室	ひまわ り美容 室
4	20	6	7	21	14	28	37	21	10
5	11	18	5	19	12	26	30	16	9
6	15	1	2	16	9	30	39	24	10
7	-	6	7	21	14	28	27	20	8
8	17	3	4	18	11	25	30	28	12
9	21	7	1	22	8	29	31	17	7
10	-	5	6	20	13	27	30	27	15
11	16	-	3	17	10	24	33	15	8
12	21	7	1	15	8	22	31	29	14
1	25	18	5	1 9	12	26	32	11	8
2	15	1	2	16	9	23	36	28	15
3	15	1	23	16	9	30	40	16	10

5) 地域行事参加状況一覧表

年月日	行事名	人数
	新型コロナウイルスの影響にて	
	地域行事への参加は無し	

6) 施設見学者一覧表

年月日	見学者名	人数	時間帯	適応
4月14日	次年度新卒者	1	13:00～15:00	施設見学、質疑応答
4月19日	新卒選考会参加者	1	15:00～17:00	施設見学、採用選考
4月22日	マイナビ取材担当者	3	9:30～11:30	施設見学、取材
5月20日	関係業者	2	16:00～17:00	施設見学、打ち合わせ
6月10日	首都医校教員	1	13:30～14:30	〃
7月21日	首都医校教員	2	14:00～15:30	〃
11月24日	関係業者	2	14:00～15:00	〃
1月21日	福生市職員	1	10:00～11:00	〃
2月1日	次年度新卒者	1	10:30～11:30	〃
3月7日	第三者評価業者	3	9:30～15:00	利用者調査、見学
3月16日	再来年度新卒者	1	14:00～16:00	施設見学、採用選考

※その他施設入所希望のご家族等 多数見学あり

7) 日用品費・介護用品費・被服費購入等事業費報告

○給食費 34,774,347 円 ○介護用品費 15,608,805 円 ○医薬品費 5,281,582 円
 ○保健衛生費 2,321,662 円 ○被服費 5,483,381 円 ○日用品費 1,953,593 円
 ○水道光熱費等 33,092,446 円 ○消耗器具備品費 2,348,666 円
 ○車両費 335,100 円

7. 厨房事業報告

(1) 実施内容「お好み焼き」 実施日 R4.01.23 (日)

目的

コロナ禍で年間行事が少ない中で普段とは違う気分を味わっていただきたいと思います。計画しました。

結果

普通・きざみ食、極細・ペースト食の方共に喜んでいただくことができました。ボリュームもあり満足頂けた様子でした。

◎代替食実施状況

○青魚禁→白身魚で対応

2F 0名 3F 3名 4F 2名

○牛乳・乳製品禁→ジュース、果物等で対応

2F 0名 3F 2名 4F 6名

○うなぎ禁→丼物等中心で対応(牛丼等)

2F 0名 3F 2名 4F 5名

○麺類禁→主食を御飯・粥として副食をプラスし対応

2F 2名 3F 4名 4F 4名

○その他禁 カレー、納豆、長芋、卵(温泉卵)、えび、かに、揚げ物、ブロッコリー、オクラ、バナナ、キウイ、マンゴー等→他の食材もしくは調理法で対応

◎行事食等について

月	日		月	日		月	日	
4	7	ラーメンの日	9	1	冷やし中華		31	年越し
	28	誕生会		12	敬老の日	1	1	元旦祝膳
5	5	ラーメンの日		29	誕生会		5	ラーメン
	26	誕生会	10	6	ラーメンの日		7	七草粥
6	2	冷やし中華		19	文化祭(内部)		11	鏡開き
	30	誕生会		27	誕生会		26	誕生会
7	7	冷やし中華	11	3	ラーメンの日	2	2	ラーメンの日
	20	盆踊り大会(内部)		24	誕生会		23	誕生会
	28	誕生会	12	1	ラーメンの日	3	2	ひな祭り
8	4	冷やし中華		18	クリスマス会		23	ラーメンの日
	25	誕生会		22	誕生会		30	誕生会

うどん、そばの日 月1回

希望食の日 月1回 10月～6月は刺身 7月～9月はうなぎ蒲焼

◎給食懇談会実施状況

月	日	階	人数	議題	内容等
4	5	2F	4	食事について 感想、希望等	苦手な料理がある方もいたが 皆さんよく召し上がっている様子だった
5	3	2F	4	〃	詳しい嗜好について伺えない方もいたが 概ねよく召し上がっている様子
7	5	4F	5	〃	食事でお出しする郷土料理について 地元の方がおり食べていたとのお話伺えた
9	6	4F	5	〃	甘味を好まれる方多くいた 食事も概ねよく召し上がっている様子
10	4	4F	5	〃	禁忌の食材ある方はいらっしゃらず 食事はよく召し上がっている様子
11	1	4F	5	〃	嗜好について比較的具体的な名称を あげて話していただくことができた
12	6	3F	5	行事食について等	12・1月の行事食についてお知らせした お汁粉が楽しみとの声多くあり
3	7	3F	5	食事について 感想、希望等	食事は美味しいとのこと ひな祭りのちらし寿司好評であった

※毎月1回第1月曜日 PM2:30～3:00 までの短い時間ではありますが各階の利用者様が参加され、調理の現場からの出席もあり食事の感想や希望を伺い個人個人の嗜好を把握し、ADL や食事形態の変化を直接認識して、それを献立作成や実際の調理に反映させるための貴重な時間となっています。

8. 医務室利用者健康管理報告

1 利用者の安全で快適な生活を維持するための看護・医療面での一次・二次予防の推進 実施内容と方法

- ① 年一回の利用者健康診断を実施（胸部レントゲン・心電図・採血・尿検査）
- ② 新規入所者は入所の際にフルコース検査を実施（胸部レントゲン・頭部 CT・採血・尿検査・心電図・必要に応じて胸部 CT・心エコー・腹部エコー等）
- ③ 利用者健康診断及び新入所者のフルコース検査結果を速やかに医師に報告し、必要に応じて追加検査・投薬などの指示を仰ぎ健康管理に努めた。
- ④ 週に3回の医務診察を行い、健康維持に向けた管理を実施。
- ⑤ 医師による指示及び看護師の医療的な判断により、定期的にバイタルサイン測定を実施（体温・血圧・脈拍・SPO2 など）
- ⑥ 医務診察にて処方された内服・外用薬の管理
- ⑦ 毎月1回定期的に体重測定を実施し、栄養状態の指標として他部署との情報共有に努める。
- ⑧ 健康状態に変化が見られた場合、速やかに医師や御家族へ報告し必要に応じて他医療機関の受診を行う。
- ⑨ 加齢による変化や慢性疾患の進行などによる全身状態の悪化が見られる際は、医師より御家族へ説明をして頂き看取り介護開始の検討を行う。
- ⑩ 看取り介護実施の際は、利用者及び御家族の多様なニーズに対応出来る様多種職種との情報共有に努める。
- ⑪ 夜間オンコール体制の基、利用者の急変時等は介護職員との連携を図り対応を行う。

年間目標1に対して2021年度の取り組み①～⑪により、多くの疾病を抱える利用者の安定的な健康管理に繋がった。

今年度は42名の総退所者（死亡退所者：40名 通常退所：2名）がおり、入院先での死亡者9名、急変等により死亡された方9名、ターミナル対応の末に亡くなった方22名であった。

亡くなられた方の半数以上が入院先と看取り介護（ターミナル）の実施が可能となったのは、異常の早期発見に努め医師との間で速やかに情報共有が出来たからと思われる。看取り介護を実施するにあたり、御家族へ医師より病状や今後の展開についての説明がなされる事で、家族の死に対する心の整理をつける事にも繋がった。

今後も他職種間との連携の強化に努め、利用者ならびに御家族の多様なニーズに対応出来る様努めることと前年比より多くの死亡退所者が出たことの考察も必要である。

感染症時期以外の夏場や季節の変わり目での感冒症状から状態が悪化することがあり、感染症に対して委員会の開催や研修を行い、対策を強化した。

2 感染症の発生及び蔓延防止（新型コロナウイルスも含む） 実施内容と方法

- ① 年2回以上の感染症予防及び発生時の対応方法について施設内とフロアでの職員研修を実施。
- ② 全体朝礼や申し送り等を活用し感染症に関する発生状況等の説明・報告を行い注意喚起に努める。
- ③ 通年を通し感染症予防の為、職員に出勤時の体温測定・マスクの着用を徹底。
- ④ 職員の手洗い、アルコール消毒施行の徹底。
- ⑤ 11月より3月末までの感染症が発生しやすい時期に合わせてフロア・居室内に加湿器（大型加湿器は各フロア1台）を設置し湿度調整を図る。
- ⑥ 利用者の食事摂取前に手指消毒を実施。
- ⑦ 対面面会を中止し窓越しやリモート面会を実施し感染症を持ち込まないよう徹底した取り組みを行った。
- ⑧ 体調の変化がある利用者には注意深い観察を行い、早期に医師へ報告し対応を検討する。
- ⑨ 職員及び利用者に対しインフルエンザの予防接種を実施。
- ⑩ 各部署連携し月に一度の感染症委員会を実施。
- ⑪ 新型コロナウイルスについて
 - ・毎月の感染症対策委員会と青山顧問医師をもとに臨時の感染症委員会を実施
 - ・厚労省や東京都からの通達や感染状況を踏まえ、面会制限や委託業者の中止・制限、また新規入所や短期や入所に対し個室隔離を実施し、外部からのウイルスの持ち込みを防止する
 - ・職員の更衣、昼食の場所など配慮し各部署やフロア毎に濃厚接触者にならないように努める
 - ・その他感染状況に応じて感染対策の強化や緩和を適宜行う

また感染症の発生予防に努めたことによりインフルエンザ0名・ノロウイルス0名であった。

突発的な下痢や嘔吐、発熱などが見られる利用者に対しては一貫した対応を行うと同時に、速やかに医師へ報告し適切な治療を早期に実施することができた。

次年度も新型コロナウイルスや他の感染症における感染対策について、令和2年度にお亡くなりになった利用者様の分まで今回の教訓や経験、また風化しないよう意識を保てるように、感染症の予防及び蔓延防止の為の知識・技術の向上を図り繋いで行く。

3 褥瘡を含む皮膚トラブルの予防

実施と内容

- ① 入所時より定期的に利用者のADL・栄養状態などを分析、評価し褥瘡形成リスクをアセスメントする。
- ② 褥瘡形成リスクが高い場合は、個別予防計画を立案し実施する。
- ③ オムツ着用に伴う皮膚の糜爛が見られる方へは、介護職員との連携を図りオムツ交換回数・時間・方法を検討する。
- ④ 保湿クリームや安定的な食事・水分摂取に努め、皮膚のバリア機能を維持する。
- ⑤ 介護職員が褥瘡予防に対して一貫した対応が図れる様、マニュアルを作成し指導にあたる。
- ⑥ 褥瘡形成が確認された場合、毎月開催される褥瘡予防委員会にて発生理由・箇所・今後の対応方法などについて報告・相談する。
- ⑦ 褥瘡予防や対応方法について外部講師を交えての研修会を実施し知識と技術の向上に努める。

実施内容①から⑦の結果年間褥瘡保有率は0.43%、褥瘡新規発症者1名、入所時褥瘡持ち込み1名（3か月で治癒）、発生率は0.05%となった。

次年度以降も褥瘡発生率0%を目標に施設内において、一貫した予防策を展開していくことが必要。

2022年3月31日現在の医療処置対応者

胃瘻による経管栄養施行者7名

在宅酸素使用者2名

褥瘡処置者0名

血糖測定者0名

経口摂取困難による点滴施行者1名（ターミナル者2名）

9. リハビリテーション報告

(1)総括

令和3年度リハビリテーションにおいて、利用者の身体・精神面の特性・変化を把握し、看護・介護・リハビリテーションの各セクションが一体となり、個々に合った安全で無理のない訓練を施行する事に重点を置いた。慢性疾患や障害を持つ利用者に対しても運動機能を正しく評価し、その体力や残存能力から生活の場で発揮できる能力の予測とともに日常生活への適応にも努めた。

また、スタッフの主観や経験から判断することなく、利用者が訴えている言葉・動作・行為のひとつひとつを注意深く観察し、精神的高揚につながるようアプローチも合わせて行った。

(2)実施事項

- ① 理学療法士による評価・プログラム作成
- ② 関節可動域訓練・マッサージ
- ③ 温熱療法
- ④ 筋力増強、起居・移乗・移動動作訓練
- ⑤ 廃用性の機能低下防止

(3)結果

- | | |
|--------------------|-----|
| ・関節可動域の維持拡大、姿勢調整 | 27名 |
| ・起居・移乗・移動動作能力の維持向上 | 23名 |
| ・疼痛の軽減 | 9名 |

以上の結果が得られた。関節可動域制限の維持・拡大を主とした利用者の増加によりベットサイドでの訓練が多くを占めた。車椅子・歩行器使用者で日々の起居・移乗・移動動作能力の維持・向上を目標とした利用者の訓練の施行。また、体調不良により訓練中止となった利用者においても他部署との連携により早期再開を進め、廃用性の機能低下防止にも努めた。例として、車椅子使用の利用者で機能面においては支持物にて起立・足踏み程度まで可能なレベルにあり、移乗・トイレ動作に介助を要していた利用者においては下肢の関節可動域拡大、筋力強化、立位バランスを中心とした訓練を施行した結果、

自己にて移乗・トイレ動作が可能となり、機能回復から生活の質の向上に繋がった利用者。
 また、アルツハイマー型認知症進行により四肢・体幹の関節可動域制限、筋緊張の高い症状のある利用者に関しては、入浴・排泄・更衣介助の中で非常に難しいレベルにあり車椅子座位も姿勢不良が目立っていたが、継続した関節可動域訓練、姿勢調整を施行した結果、排泄・更衣介助の介助量が軽減した利用者もあり大きな成果が得られた。その他、利用者個々の身体状況に合った車椅子・リハビリテーション機器の選定及び整備とともに、個々に合った生活リハビリ、日常生活に適応した動作訓練を取り入れるなど、残存能力の活用とともに潜在的能力の開発にも努めた。
 令和3年1月から3月における感染症によるフローア閉鎖により活動制限から多くの利用者に廃用性の機能低下がみられた。離床時間の減少から関節可動域制限進行により座位姿勢の不良、排泄介助への影響、筋力低下から起居・移乗・移動動作能力の低下など様々な日常生活動作能力の低下が認められた。その問題に対し早急に全ての利用者に対しての評価、問題点の把握に努め理学療法、生活リハビリを施行した結果、四肢・体幹の関節可動域の維持・拡大、起居・移乗・移動動作能力の回復など、概ね機能回復に繋げることが出来たと思われる。

(4) 反省点

- ① 車椅子座位の姿勢不良により、仙骨部剥離、関節可動域制限進行に繋がる問題において、各フロアへ事例とともに説明を行うが同様のケースが再発するため、各フロアを含めケアカンファレンス、施設内研修会、褥瘡予防会議等にも周知徹底し再発防止に努める。

リハビリ実施報告表

R. O. Mマッサージ			温熱療法			起立・バランス・歩行			理学療法士による評価		
月	実施 日数	対象 者数	実 施 人数	実施 日数	対象 者数	実施 人数	月	実施 日数	対象 者数	実施人 数	実施評 価人数
4	26	18	321	26	0	0	4	26	27	255	11
5	26	20	270	26	0	0	5	26	21	212	15
6	26	23	252	26	0	0	6	26	22	205	13
7	27	23	326	27	0	0	7	27	22	238	15
8	26	23	232	26	0	0	8	26	21	166	15
9	26	22	281	26	0	0	9	26	22	219	13
10	24	21	215	24	0	0	10	24	21	170	15
11	26	21	280	26	0	0	11	26	21	218	14
12	27	22	279	27	0	0	12	27	23	258	15
1	24	23	251	24	0	0	1	24	23	237	15
2	24	22	252	24	0	0	2	24	23	228	13
3	27	22	290	27	1	6	3	27	23	261	13
計	309	262	3249	309	1	6	計	309	269	2667	167

10. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

『法人の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を柱とし、ご家族および 他職種との連携により、利用者一人一人が健康で生きがいを持って過ごしていただけるように支援します。』を柱として下記の通り努めました。

I. 利用者の生活支援

- ・新規入所に当たっては、入所前の情報収集・事前面接等により利用者の状態像の把握に努め、入所判定会議に諮ります。入所判定会議については、基本的に毎週1回の定期開催とし、顧問医師である青山医師に同席いただき、関係各部署と情報の共有を図るとともに、受入れの可否及び受け入れにあたっての注意事項などの情報共有に努めています。前年度と同様に、コロナ禍の影響により、事前面接が制限される中で電話での情報収集を積極的に行い、また、事前にご家族とも相談を重ね、入所される利用者が、環境の変化に戸惑うことなく施設での生活に移行できるように支援に努めています。
- ・入所後の利用者の生活支援にあたっては、利用者一人一人に適した施設サービス計画書（ケアプラン）の作成と、ケアの提供、モニタリングを繰り返し、各部署からの専門的な意見を重ね、より充実した生活を送っていただけるよう努めています。加齢や様々な疾患により、ADLに変化がみられる場合は、医師をはじめ各部署からの意見をまとめ、ご家族とも情報を共有し、改めて計画書を作成し、状態に合わせたケアの提供に努めています。
- ・ご家族と綿密なコミュニケーションを心がけ情報共有を図ることで、利用者の支援を一緒に行っていくよ

う努めています。またご家族の意見要望に対して真摯に向き合い、利用者ケアの質の向上につなげられるよう努力しています。

- ・看取り介護（終末期ケア）においては、利用者本人及びご家族の意向を尊重し、また不安や悲しみに寄り添い、最期まで安心して過ごしていただけるよう努力しています。ご家族の方から、心のこもった感謝のお言葉を頂戴し、また今後のケアに活かしていけるようにと考えています。

Ⅱ. ベッド稼働率

- ・各部署との連携を強化し入所利用者の体調管理に努め、ベッド稼働の安定に努めました。
- ・早期の情報収集・事前面接・入所判定等により、新規利用者のスムーズな入所に努めました。
- ・2021年度は、自施設での新型コロナ発生なく経過すること出来ましたが、新型コロナの第4波（5月ピーク）・第5波（8月ピーク）・第6波（2月ピーク）と3度のピークがあったことから稼働率の回復に時間がかかった部分は否めないものの、年度後半から回復傾向となり、2022年度は100%の稼働率でスタートすることが出来ました。

11. クラブ活動実績報告

① クラブ活動について

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、クラブ活動の自粛から、講師の先生方の引退などもあり、今年度は、年度当初から全てのクラブ活動を中止している。しかしながら、利用者の生活感や生きがいを見つけ出して行く為にも、クラブ活動の継続は必要であるとする。今後、新型コロナウイルス感染症の流行収束に合わせて、新しいクラブ活動の体制づくりに努めていく事で、利用者の健康や笑顔を引き出せるよう努めていく。

⑤ 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	講師及びボランティア名		
茶 道	井上先生	書 道	石井先生
華 道	佐野先生	陶 芸	川口先生
水彩画	職員 室賀		
手 芸	未定		

茶道クラブ活動報告

活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人員	0 名	担当：筒井 幸子
【活動報告】						
1) 新型コロナウイルス感染予防の為クラブ活動中止。						
2) 新型コロナウイルス収束後再び皆さんで楽しんでいただける様準備していきます。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4 月	コロナウイルス感染予防の為中止			10 月	コロナウイルス感染予防の為中止	
5 月	〃			11 月	〃	
6 月	〃			12 月	〃	
7 月	〃			1 月	〃	
8 月	〃			2 月	〃	
9 月	〃			3 月	〃	

手芸クラブ活動報告

活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人員	0 名	担当：酒井みどり
【活動報告】						
1) 前年度2月後半から新型コロナ感染症の流行により、クラブ活動が中止となっていました。また、今年度途中で講師の先生から引退される。活動中止となる。						

書道クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人員	0 名	担当：奥平幸子
【活動報告】						
1. 新型コロナウイルス感染症流行の為、書道クラブ活動は1年を通し休止されました。 感染症が早く収束し、皆様とまた書道の練習に励めますよう心から祈っております。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4 月	活動中止			10 月	活動中止	
5 月	活動中止			11 月	活動中止	
6 月	活動中止			12 月	活動中止	
7 月	活動中止			1 月	活動中止	
8 月	活動中止			2 月	活動中止	
9 月	活動中止			3 月	活動中止	

華道クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人員	0 名	担当：大柄 さとみ
【活動報告】						
1) 第2・4木曜日に活動だが、新型コロナウイルス感染症の予防対応でクラブ中止						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止。			10 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	
5 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			11 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	
6 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			12 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止	
7 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			1 月	新型コロナ対応でクラブ中止	
8 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			2 月	新型コロナ対応でクラブ中止	
9 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止			3 月	新型コロナ予防対応でクラブ中止。	

水彩画クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人員	0 名	担当：室賀 こずえ
【活動報告】						
新型コロナウイルスの影響により活動中止とした。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4 月				10 月		
5 月				11 月		
6 月				12 月		
7 月				1 月		
8 月				2 月		
9 月				3 月		

陶芸クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人員	0 名	講師：川口 由美子
【活動報告】						
新型コロナの影響により活動中止。						

12. 年間行事実施報告

月日	行事名	内容
4月 日	観桜会	新型コロナウイルスの関係で中止。
5月 日	日帰りドライブ	新型コロナウイルスの関係で中止。
7月20日	納涼盆踊り大会	5階ホールにて模擬店及び職員の踊りを楽しむ。
9月12日	敬老会	午前福生市長来園にて表彰。各フロアにて祝い膳を楽しむ。
10月19日	文化祭	5階にて模擬店及び職員余興を楽しむ。
11月2日	焼き芋大会	各フロアにて焼き芋を楽しむ。
12月18日	クリスマス会	昼食行事食。午後は各フロアにてケーキを楽しむ
1月1日	元旦祝膳	昼食は各フロアにて祝膳を楽しむ。午後は熊川神社へ初詣。
2月1日	節分祭	各フロアにて豆まきを実施。
3月3日	ひな祭り	昼食各フロアにて祝膳を楽しむ。余興はフロア毎に実施。

行事等教養娯楽費実績：1,775,954円

13. 事務費・固定資産物品報告

事務費報告

○事務消耗品費 9,738,306円 ○印刷製本費 1,124,345円 ○修繕費 4,015,759円
 ○通信運搬費 1,570,754円 ○広報費 2,229,073円 ○業務委託費 12,972,873円
 ○手数料 4,842,048円 ○保険料 551,520円 ○賃借料 11,602,940円
 ○租税公課 145,547円 ○保守料 4,160,974円 ○渉外費 313,687円
 ○諸会費 282,050円 ○雑費 1,079,297円

固定資産

ファンコイル交換 385,000円 送迎車両購入 2,999,700円 循環ポンプ入替 242,000円
 浴槽ポンプ交換 513,405円 ナースコール入替 6,850,800円 タイムレコーダー 258,500円

14. 事故報告. ヒヤリ・ハット報告

2階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折		1		1		2			1	1		1	7
転倒		1		2	2	1	2	4	3	4	1	1	21
転落(ベッド)	2	2	2	1				2	3	2			14
転落(車椅子・椅子)	3	3		1			3		2	1	1	1	15
ずり落ち(移乗失敗)													0
剥離・裂傷	2			2	1		2	1			1	2	11
内出血	5	12	9	10	4	12	8	13	8	2	7	7	97
誤嚥													0
異食(誤食)	2		1		4	2	2				1		12
尻もち				1	1	1							3
徘徊(施設外発見)													0
徘徊(施設内発見)													0
服薬ミス		1						1		2	1		5
その他	1					1	1	1		1	1		6
合計	13	18	12	17	12	19	16	22	17	13	13	11	189
2 階	ヒヤリハット						112件						

3階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折		1											1
転倒				1		2							3
転落(ベッド)					1					2			3
転落(車椅子・椅子)					1				1		4		6
ずり落ち(移乗失敗)		1					1			1			3
剥離・裂傷		1	3	1	1	1		1	1				9
内出血	5	8	6	13	14	4	4	4	5	3		1	67
誤嚥													0
異食(誤食)											1		1
尻もち		4	1	5		1	1	1			1		14
徘徊(施設外発見)													0
徘徊(施設内発見)													0
服薬ミス				1	1	2	1	1					6
その他	3	2	1	2	1	2	1				1		13
合計	8	17	11	23	19	12	8	7	7	6	7	1	126
3 階	ヒヤリハット						115 件						

4 階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折										1			1
転倒	3	4	4	4	3	2	2	3	1			2	28
転落(ベッド)				1	3	1							5
転落(車椅子・椅子)	1	1		1	2	1	1	1	1	2		2	13
ずり落ち(移乗失敗)		3	2		1		1						7
剥離・裂傷		1	2	1	1								5
内出血	1		1	5	4	5	4	9	3	6	7	7	52
誤嚥	1	1					1						3
異食(誤食)			1							2	1		4
尻もち	3	1	3	2	2	2	1	1	2	2	3	1	23
徘徊(施設外発見)													0
徘徊(施設内発見)							1						1
服薬ミス			1	3									4
その他	1	5	4	1	1	3	1	2	1	4		2	25
合計	9	16	17	13	13	9	9	7	5	12	4	7	171
4 階	ヒヤリハット						283件						

15. 職員研修報告

【外部研修】

月	日	研修・出張内容	主催者	参加者
6	4	安全運転管理者講習	東京都公安委員会	古谷 康司
6	16	排泄ケアの取り組み事例の共有	リブドゥコーポレーション	井梅 直紀
11	10	安全運転管理者講習	東京都公安委員会	古谷 康司
11	19	東京都キャラバン・メイト養成研修	東京都	勝田幸恵
12	3	認知症サポーター講師研修	東京都	佐々木和仁

【内部研修】

回	月 日	内 容	人数	講師	主 催
1	4 月 14 日	新型コロナワクチン接種について	23	青山医師	衛生委員会
2	4 月 19 日	介護保険改定 / 看取りガイドライン	19	居宅 下田	実習研修推進委員会
3	5 月 17 日	レクリエーション	12	各フロアレク委員	実習研修推進委員会
5	6 月 2 日	変異ウイルスとワクチン/夏バテ	18	青山医師	衛生委員会
6	6 月 20 日	ガウンテクニック	15	4F 感染委員(フロア研修)	4F 研修委員
7	6 月 26 日	バーセルインデックス	16	加藤範子 PT	実習研修推進委員会
8	6 月 26 日	皮膚トラブル(褥瘡・プライバシー)	20	2F 研修委員(フロア研修)	2F 研修委員
9	6 月 28 日	正しい言葉遣い	10	デイ 添ノ澤	デイサービス
10	7 月 13 日	コロナ禍で気を付けたい食中毒	21	青山医師	衛生委員会
11	7 月 19 日	身体拘束/虐待/倫理	11	研修委員	実習研修推進委員会
12	7 月 19 日	皮膚トラブル予防	8	2F 研修委員(フロア研修)	2F 研修委員
13	7 月 23 日	皮膚トラブル予防	9	2F 研修委員(フロア研修)	3F 研修委員
14	7 月 26 日	コロナ感染予防対策の見直し	17	福生病院 小美濃氏	実習研修推進委員
15	8 月 25 日	コロナワクチンの効果実証/脳梗塞	21	青山医師	衛生委員会
16	8 月 31 日	コロナ感染初動対応 シミュレーション	90	井上相談員	実習研修推進委員会
17	9 月 10 日	新型コロナ感染症 (時間外研修)	34	相談員・看護・介護各代表	実習研修推進委員会
18	9 月 15 日	ワクチン接種後のブレイクスルー	14	青山医師	衛生委員会
19	9 月 20 日	誤嚥事故防止	9	加藤範子 PT	実習研修推進委員会
20	10 月 13 日	生活習慣 / インフルエンザ	20	青山医師	衛生委員会
21	10 月 25 日	ヒヤリハット 振り返り	13	サブリーダー	実習研修推進委員会
22	11 月 10 日	コロナ、インフルエンザ ワクチン	20	青山医師	衛生委員会
23	11 月 15 日	排泄ケア(褥瘡)	12	リブドゥコーポレーション	実習研修推進委員会
24	11 月 18 日	嘔吐物処理	11	3 感染委員(フロア研修)	実習研修推進委員会
25	12 月 1 日	高齢者の睡眠と就寝薬について	7	2 研修委委員(フロア研修)	2F 研修委員
26	12 月 8 日	オミクロン株 / 年末の過ごし方	24	青山医師	衛生委員会
27	12 月 26 日	嘔吐物処理	13	3 感染委員(フロア研修)	実習研修推進委員会
28	1 月 13 日	メンタルヘルスケア / オミクロン株	20	青山医師	衛生委員会
29	1 月 17 日	福祉用具 靴の選び方	15	徳武産業(株)	実習研修推進委員会
30	1 月 20 日	看取り介護を振り返る	12	4F 研修委員	実習研修推進委員会
31	2 月 17 日	高齢者の睡眠と就寝薬について	17	2F 研修委員	実習研修推進委員会
32	3 月 9 日	オミクロン株と花粉症 / 歯周病	12	青山医師	衛生委員会
33	3 月 21 日	応急救護 AED の使い方	25	福生消防署	実習研修推進委員会

新型コロナウイルス感染症の新しい情報を衛生委員会と協力しあいながら、迅速に取り入れることにより、職員や外部講師が交わる研修会に於いても、状況に応じた感染予防対策を整備し、安全に実施することが出来た。また、地域住民参加型研修も、感染予防対応を掲げ安心して参加していただいている。

必要に応じた感染症に於ける研修を重ね、新型コロナ感染時に於ける初動対応のシュミレーション、ノロウイルス疑い時に於ける嘔吐物処理のシュミレーションを、それぞれのマニュアルに沿って実施したことで、感染根拠を踏まえた学びの確認、及び感染発生時の冷静な判断、迅速な対応、チームワークへの自信に繋がった。

また、感染症ばかりにとらわれず、フロア毎に現状の利用者ケアを見つめ、課題に沿った研修を実施することが出来た。

フロア独自で実施した研修を内部研修に拡大し、全体からの高評価も得られており、施設の理念に基づいた意識は更に高まったと考えられる。

旅費・研修費実績：10,760 円

16. ボランティア受入の状況

※ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染予防策として受け入れ中止。

月	日	曜日	行事名	人数	業務内容	依頼先	

17. 慰問受入状況

※ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染予防策として受け入れ中止。

月 日	慰問者名	人数	行事名等	内 容

18. 実習生及び職場体験生徒受入状況

※ 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、感染予防策として受け入れ中止。

月	期 間	実習依頼先	人 数	実習内容及び目的

受入研修費収入額： 0 円

19. 消防訓練実施結果

令和3年度は、新型コロナの影響によって訓練実施が厳しい状況であった。
しかし福生市との協定による避難訓練が継続的に実施できた事は良かったと思われる。
そうしたことで、施設全体に防災の意識付けが出来た。

令和3年度訓練内容

日 時	訓練種別	内 容
4 月	新型コロナ の為中止	
5 月 5 日	防火管理 委員会	避難確保計画についての説明及び協議。
6 月	新型コロナ の為中止	
7 月	消防審査会 説明会	新型コロナの為中止
8 月	消防審査会 参加訓練	新型コロナの為中止
9 月	新型コロナ の為中止	
10 月 18 日	総合訓練	自衛消防訓練効果確認。
11 月	新型コロナ の為中止	
12 月	新型コロナ の為中止	
1 月	新型コロナ の為中止	
2 月	新型コロナ の為中止	
3 月 21 日	総合訓練	加美町会との合同訓練として、消防署署員に来園並びに指導して頂き AED 実施体験訓練を行う。
3 月 24 日	避難訓練	首都直下地震が発生した想定で福生市との協定により当施設が福祉避難所に指定されている為、福生市と第2サンシャインビラ合同でパーテーション及び段ボールベットの設置訓練を実施しました。

20. ショートステイ事業報告

令和3年度は稼働率85%（13.6名/日）という目標を立てて運営努力した。

この目標に対し、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、年間稼働実績は29.2%（4.7名/日）という結果であった。令和4年1月からは、利用者数が順調に回復してきており、利用者獲得に向けさらに努力していきたい。

令和4年度も引き続き、稼働率85.0%、13.6名/日の目標設定をし、稼働率の安定と向上に努めたい。

介護報酬収入等年間実績 20,815,148 円

人件費・直接介護支出・一般管理支出・施設管理費用は併設特養と按分しています。

【令和3年度ショートステイ事業活動実績報告】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	Total
利用者数	6	5	5	6	14	16	8	4	7	8	9	11	99
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
要介護度2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
要介護度3	4	4	4	4	6	9	5	2	1	2	4	4	49
要介護度4	1	0	0	1	5	5	2	0	2	3	3	3	25
要介護度5	0	0	0	0	2	1	0	1	3	2	1	2	12
延利用日数	119	112	39	76	263	240	90	30	78	193	193	274	1,707
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	16	16
要介護度2	3	3	4	8	4	3	2	9	8	10	0	10	64
要介護度3	93	109	35	59	126	144	60	15	23	50	81	121	916
要介護度4	23	0	0	9	104	83	28	0	7	80	84	93	511
要介護度5	0	0	0	0	29	10	0	6	40	53	28	34	200
平均ベッド稼働数	3.97	3.61	1.30	2.45	8.48	8	2.9	1.00	2.52	6.23	6.89	8.84	年平均 4.68

【ショートステイ利用日数状況調査（年間）】

	1日～2日	3日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	合計
4月	0	2	0	1	1	3	7
5月	0	1	0	0	1	3	5
6月	2	1	0	0	2	0	5
7月	0	8	1	1	0	1	11
8月	1	8	0	1	0	8	18
9月	0	5	4	2	3	4	18
10月	1	2	0	4	0	1	8
11月	0	4	1	0	0	0	5
12月	2	3	1	0	0	2	8
1月	0	2	0	0	2	5	9
2月	0	2	2	0	0	6	10
3月	0	3	0	0	1	8	12
合計	6	41	9	9	10	41	116
	5.2%	35.3%	7.8%	7.8%	8.6%	35.3%	100.0%

*前月から引き続いて入所されている場合は、入所月にカウントしています。

2021 年度

通所介護事業

(併設型通所介護事業)

(総合事業通所介護事業)

(高齢者生きがい活動支援デイサービス)

事業報告書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅サービスセンター加美

・通所事業（併設型通所介護事業・総合事業）

事業報告

今年度は感染症対策を徹底する事で、感染者を出す事なく事業を継続する事が出来た。それにより利用者数において、4月から12月までの間は、前年に比べ1日平均2名増加程で推移する事が出来たが、年明け以降は、入所等への移行者が増えた事により大幅な減少に転じる事になった。また介護報酬改定の年でもあったため加算の見直しを図った。7月からは個別機能訓練加算Ⅰ（イ）、10月からは中重度者ケア体制加算を新たに算定。地域区分が6から5級地に変更となった事もあり、1日1人当たりの単価が最大で523円のアップを図る事が出来た。4月16日からは、利用者家族との連絡帳をシステム化する事で業務の効率化を図り、同時に一部のパート職員の勤務時間を業務都合に合わせ1日5時間や6時間勤務等で対応する事で、ピンポイントの人員配置を実現し、利益確保に努めてきた。

一方、利用者サービスにおいては、コロナ禍における運動不足解消を念頭に体操やレクエーションの種類を充実させ、11月からは書道と水彩画を再開し利用者の作品を壁に掲示する等、華やかさを演出。また利用者家族と連絡帳システムを活用する事で、看護師を中心に日常の様子等から利用者の健康状態を把握する事で、利用者の健康維持に努め、利用者満足度を高めてきた。

通所介護・総合事業実績：78,834,870円

【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。また職員シフトの効率化やIT化の推進による業務効率化を図る事が出来、目標の平均利用者数には届かなかったが、新たな加算を算定する等で介護報酬収入の向上に努める事が出来た。

・職員配置（3月31日現在）

併設型通所介護 総合事業

	常勤		非常勤	
職種	人数	専任・兼務状況	人数	専任・兼務状況
管理者	1人	他事業を兼務		
生活相談員	1人		2人	介護職を兼務
介護職員	1人		12人	内2人は生活相談員兼務
看護職員	3人	機能訓練指導員を兼務 内2人は他事業を兼務	2人	機能訓練指導員を兼務
機能訓練指導員	1人	看護職員を兼務	2人	看護職員を兼務
調理員	必要数			
運転手			必要数	全利用日送迎時間帯に勤務
事務職員	1人	他事業を兼務		

人件費実績 : 61,070,550 円

福利厚生費実績 : 362,750 円

併設型通所介護事業 月別延べ利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	534	537	633	643	606	604	632	647	647	186	0	0	5,669
今年度	584	628	642	699	676	670	694	702	725	615	589	673	7,897
要介護1	244	252	254	274	255	267	288	266	270	253	244	264	3,131
要介護2	143	150	158	186	181	178	176	179	174	123	110	150	1,908
要介護3	150	149	153	157	159	137	133	159	170	160	159	166	1,852
要介護4	39	52	56	59	60	54	58	59	62	40	34	47	620
要介護5	8	25	21	23	21	34	39	39	49	39	42	466	806
今年度-前年度	50	91	9	56	70	66	62	55	78	429	589	673	2,228

併設型通所介護 一日平均利用者数

単位：
人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数 ① ÷ ②	22.46	24.15	24.69	25.89	26.00	25.77	26.69	27.00	26.85	25.63	24.54	24.93	25.39
延べ利用者数 ①	584	628	642	699	676	670	694	702	725	615	589	673	7,897
開所日数 ②	26	26	26	27	26	26	26	26	27	24	24	27	311

日常生活支援総合事業 月別延べ利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	57	55	57	61	59	59	52	47	44	7	0	0	498
今年度	54	53	53	61	63	61	61	62	55	45	40	40	594
要支援 1	9	8	9	9	8	10	8	8	8	2	0	2	72
要支援 2	45	45	44	52	55	51	53	54	47	43	40	38	522
今年度-前年度	△3	△2	△4	0	4	2	9	15	11	38	40	40	96

日常生活支援総合事業 一日平均利用者数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数 ① ÷ ②	2.08	2.04	2.04	2.26	2.42	2.35	2.35	2.38	2.04	1.88	1.67	1.48	2.08
延べ利用者数 ①	54	53	53	61	63	61	61	62	55	45	40	40	648
開所日数 ③	26	26	26	27	26	26	26	26	27	24	24	27	311

給食費実績：4,232,011円

車両費実績：1,738,867円

教養娯楽費実績：282,473円

介護用品費実績：33,584円

医薬品費実績：319,792円

保健衛生費実績：85,566円

被服費実績：0円

日用品費実績：168,936円

消耗器具備品費実績：70,843円

水道光熱費等実績：3,876,864円

研修報告

東京都社会福祉協議会開催の研修、施設内研修等の参加を推進し介護職員のスキル向上を目指した。

研修実施記録については第2サンシャインビラ事業報告書を参照のこと。

【施設設備改善及び備品購入報告について】

- ① 物品購入実績 なし
- ② 施設における共通経費は併設第2サンシャインビラと按分

【高齢者生きがい活動支援デイサービス 事業報告】

福生市からの委託事業で、おおむね65歳以上の自立の高齢者を対象に、生きがいづくりや心身機能の維持向上、介護予防及び閉じこもり防止を目的として事業活動を行った。今年度も緊急事態宣言をうけ、一時期、カラオケの提供を控える等、一定の制約がかかる事業活動となった。

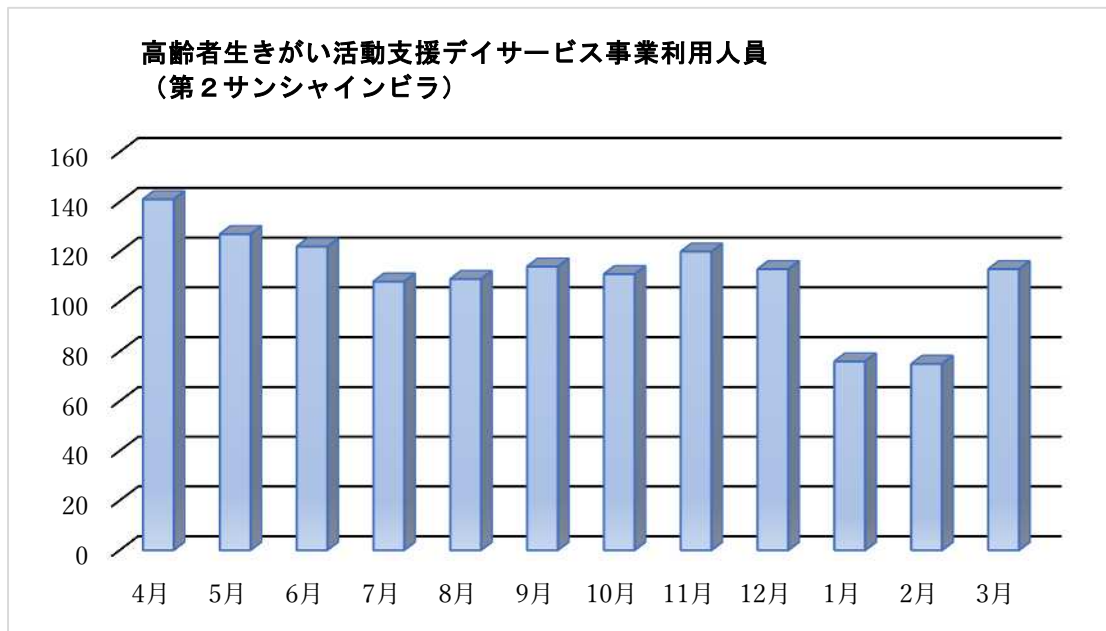
第2市営ではご近所の高齢者も多数参加し、活気ある生きがいデイサービス活動を行ってきた。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、屋内での活動が多くなったが、ドライブやクリスマス会等も実施してきた。

第2市営住宅での活動は今年度3月にて事業廃止。

高齢者生きがい活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第2サンシャインビル)

単位：人

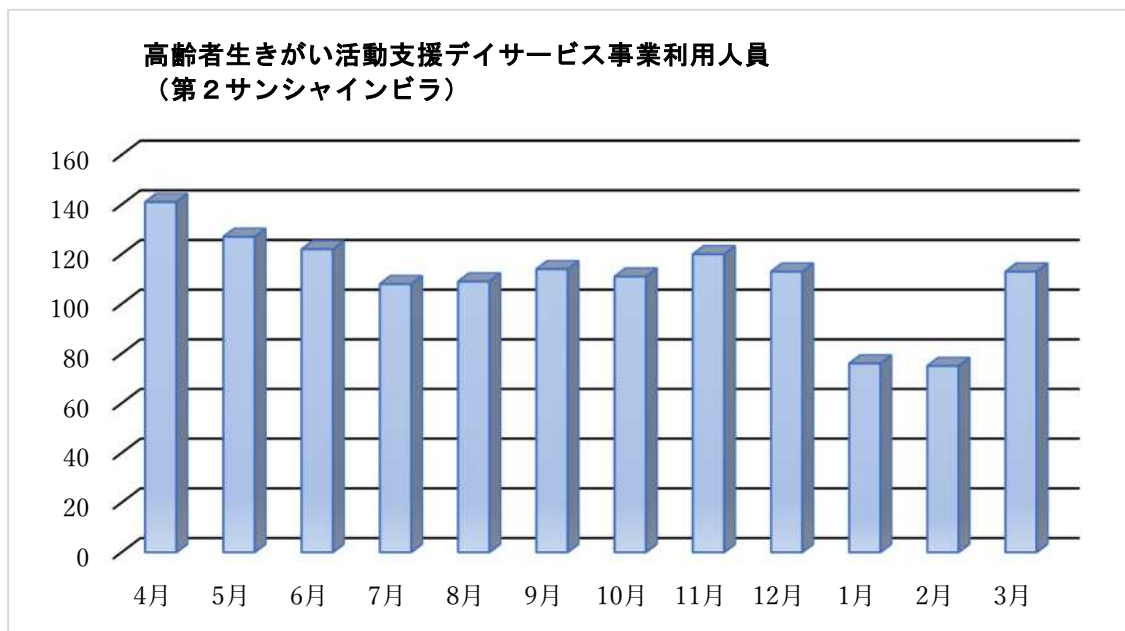
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	141	127	122	108	109	114	111	120	113	76	75	113	1329



高齢者生きがい活動支援デイサービス入浴サービス（一般浴）延べ利用人員実績簿

単位：人

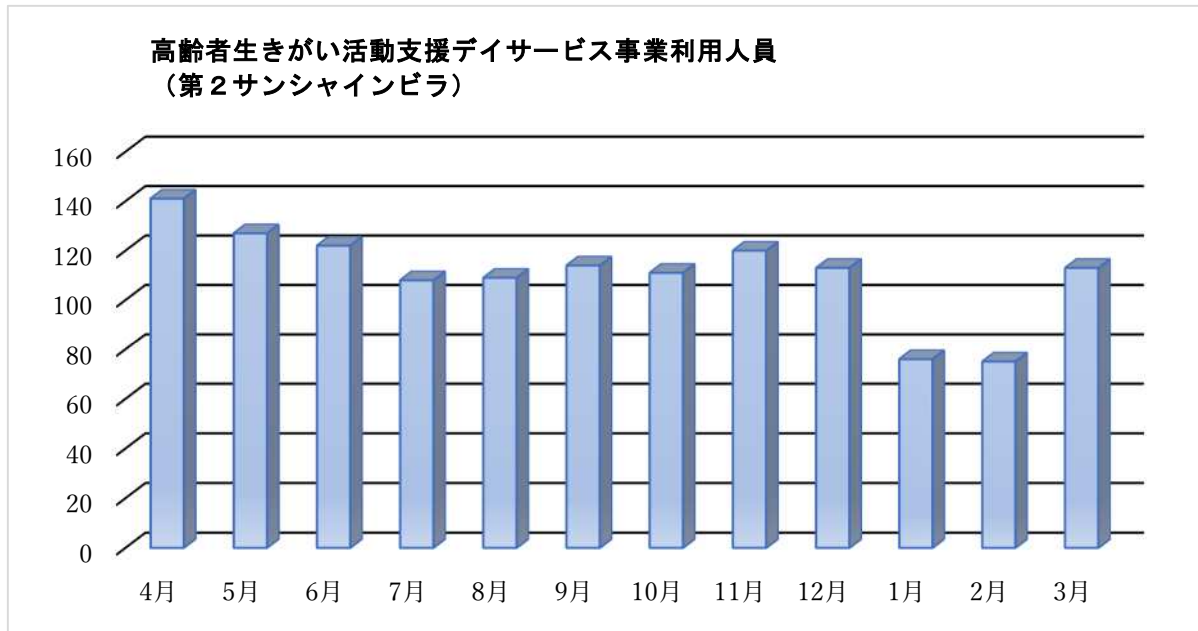
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	9	9	4	5	4	7	8	3	4	4	4	4	65



高齢者生きがい活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第2市営)

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	41	30	33	41	35	43	38	35	34	31	32	44	437



ふれあい 令和3年 4月の予定 在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736						
月	火	水	木	金	土	
		春	1日	2日	3日	
			田植えゲーム 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) CDカーリング カラオケ	
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 風船バレー	お手玉積み上げ 椅子玉乗せ	展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ 数えてベグ挿し	ヤクルト山積み 魚釣りゲーム ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ 紙血クラクラゲーム	展望風呂 (午前・午後) ペットボトルおこし カラオケ
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
	田植えゲーム 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 紙血クラクラゲーム	展望風呂 (午前・午後) CDカーリング イス玉乗せ	お手玉積み上げ スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) ペットボトルおこし ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ スカット玉入れ	CDカーリング 数えてベグ挿し 理髪の日	展望風呂 (午前・午後) ゆらゆら傘 CDボーリング	ペットボトルおこし 輪投げビンゴ 誕生会	展望風呂 (午前・午後) 魚釣りゲーム イス玉乗せ 移動美容室 誕生会	展望風呂 (午前・午後) 後向き玉入れ カラオケ 誕生会
25日	26日	27日	28日	29日	30日	
	展望風呂 (午前・午後) ペットボトルおこし CDカーリング	ゆらゆら傘 ロボお手玉入れ	展望風呂 (午前・午後) 大砲ボーリング 魚釣りゲーム	後向き玉入れ 風船バレー	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 田植えゲーム	

非常事態宣言解除となりましたが、油断せず引き続き感染予防をしていきましょう。

デイサービスセンターの時間を少し動かしたり手を動かして体力を付けていきましょう！

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生会の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルスやインフルエンザ感染症予防に所内ではうがい・手洗いを励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えてあります使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。



＜福生市高齢者生きがい活動支援サービス＞

☆ 4月の予定 ☆ 春

1日 ド ラ イ ブ(ご希望にて)
8日 のんびりしょうデイ
15日 来 園 日
22日 ド ラ イ ブ(ご希望にて)
29日 来 園 日

緊急事態宣言が解除されましたが、引き続き感染予防を行いましょう。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で桜まつりや宴会が中止となっています。花見や外出時には飲食せずに楽しんで下さい。

感染予防を強化し(手洗い・うがい・消毒・マスク・検温)

3密を避け、みんなで気を付けて活動しましょう!!

参加費:180円(市民税非課税の方は無料です)

昼食費:350円

＜お問合せ＞

高齢者在宅サービスセンター加美

電話 ☎ 042-553-3736

担当 森田まで



ふれあい

令和3年 5月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

主

1日

展望風呂
(午前・午後)
ペットボトルおこし
カラオケ

2日

3日

展望風呂
(午前・午後)
お手玉積み上げ
椅子玉寄せ

4日

スカット玉入れ
数えてペグ押し

5日

展望風呂
(午前・午後)
ヤクルト山積み
魚釣りゲーム

6日

ロボお手玉入れ
紙皿ケラケラゲーム

7日

展望風呂
(午前・午後)
ペットボトルおこし
風船パレー

8日

展望風呂
(午前・午後)
輪投げビンゴ
カラオケ

9日

10日

展望風呂
(午前・午後)
輪投げビンゴ
紙皿ケラケラゲーム

11日

CDカーリング
イス玉寄せ

12日

展望風呂
(午前・午後)
お手玉積み上げ
スカット玉入れ

13日

ペットボトルおこし
ゆらゆら傘
ひまわり美容室

14日

展望風呂
(午前・午後)
ロボお手玉入れ
田植えゲーム

15日

展望風呂
(午前・午後)
大砲ボーリング
カラオケ

16日

17日

展望風呂
(午前・午後)
ヤクルト山積み
スカット玉入れ

18日

後向き玉入れ
輪投げビンゴ
理髪の日

19日

展望風呂
(午前・午後)
ペットボトルおこし
CDカーリング

20日

魚釣りゲーム
イス玉寄せ

21日

展望風呂
(午前・午後)
スカット玉入れ
紙皿ケラケラゲーム

22日

展望風呂
(午前・午後)
ロボお手玉入れ
カラオケ

23日

24日

展望風呂
(午前・午後)
後向き玉入れ
数えてペグ押し
誕生会

25日

大砲ボーリング
魚釣りゲーム
誕生会

26日

展望風呂
(午前・午後)
ロボお手玉入れ
風船パレー
誕生会

27日

ヤクルト山積み
田植えゲーム

28日

展望風呂
(午前・午後)
輪投げビンゴ
CDカーリング
移動美容室

29日

展望風呂
(午前・午後)
スカット玉入れ
カラオケ

30日

31日

展望風呂
(午前・午後)
ロボお手玉入れ
ゆらゆら傘

みんなで感染症予防
不要不急の外出は控えて下さい。

- ★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ★ 誕生会の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ。
- ★ 地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時には「センタ」に備えてあります使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ茶としたり汚れた場合、交換が出来ます。

☆ 5月の予定 ☆

6日 来園日
13日 ドライブ(ご希望にて)
20日 のんびりしようデー
27日 来園日

五月晴れの空に鯉のぼりがひるがえる季節となりました

新型コロナウイルス感染拡大に伴い

緊急事態宣言が発令!!

不要不急の外出は控えてください

感染予防を強化し(こまめな手洗いや消毒・マスク着用・検温・うがい)

3つの密を避け、ソーシャルディスタンスの取り組み、引き続き感染拡大防止にご協力をお願いします。

参加費:180円(市民税非課税の方は無料です)

昼食費:350円

〈お問合せ〉

高齢者在宅サービスセンター加美

☎042-553-3736

担当 森田まで



ふれあい							令和3年 6月の予定				
							在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736				
月		火 1日	水 2日	木 3日	金 4日	土 5日					
		お手玉積み上げ 椅子玉寄せ	展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ 数えてベグ挿し	ヤクルト山積み 魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ 紙血クラクラゲーム	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 風船バレー					
6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日					
	展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ 紙血クラクラゲーム	輪投げビンゴ 魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) CDカーリング イス玉寄せ	お手玉積み上げ 数えてベグ挿し ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) ペットボトルおこし ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ 田植えゲーム					
13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日					
	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ 後向き玉入れ	ヤクルト山積み 田植えゲーム 理髪の日	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ゆらゆら傘	ペットボトルおこし CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) 魚釣りゲーム イス玉寄せ	展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ 紙血クラクラゲーム					
20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日					
	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 輪投げビンゴ	後向き玉入れ 数えてベグ挿し	展望風呂 (午前・午後) 大砲ボーリング 田植えゲーム	ロボお手玉入れ 風船バレー 誕生食	展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ お手玉積み上げ 誕生食 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) CDカーリング 魚釣りゲーム 誕生食					
27日	28日	29日	30日	 							
	展望風呂 (午前・午後) ペットボトルおこし 田植えゲーム	大砲ボーリング 魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ 紙血クラクラゲーム								
水無月 紫陽花の色が日ごと深まり楽しませてくれます。											

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ
地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセン
ターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い
致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ 蒸し暑くなってきました。ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆ 6月の予定 ☆

3日 来園日
10日 ドライブ(ご希望にて)
17日 のんびりしょうデイ
24日 来園日



雨に濡れた紫陽花が、一層つややかに咲きはこっています
蒸し暑い日が続いております。水分や栄養を摂りながら
体調管理を行っていきましょう。

感染予防を強化し(こまめな手洗いや消毒・マスク着用・検温・うがい)
3つの密を避け、ソーシャルディスタンスの取り組み、引き続き感染
拡大防止にご協力お願いします。

参加費：180円(市民税非課税の方は無料です)
昼食費：350円

〈お問合せ〉

高齢者在宅サービスセンター加美
電話 ☎ 042-553-3736
担当 森田まで



ふれあい 令和3年 7月の予定						
在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736						
月	火	水	木	金	土	
				1日	2日	3日
				スカット玉入れ 紙血クラクラゲーム	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) CDカーリング カラオケ
4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日
	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 数えてベグ挿し	展望風呂 (午前・午後) ペットボトルおこし ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ 田植えゲーム	展望風呂 (午前・午後) ピンポンゲーム CDカーリング ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) イス玉寄せ 風船パレ	展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ カラオケ
11日	12日	13日	14日	15日	16日	17日
	展望風呂 (午前・午後) ピンポンゲーム 輪投げビンゴ	展望風呂 (午前・午後) 後向き玉入れ 数えてベグ挿し	展望風呂 (午前・午後) 大砲ボーリング 魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ 後向き玉入れ	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 田植えゲーム	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ カラオケ
18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日
	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ 風船パレ	展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ お手玉積み上げ 理髪の日	展望風呂 (午前・午後) CDカーリング イス玉寄せ	展望風呂 (午前・午後) ペットボトルおこし 田植えゲーム	展望風呂 (午前・午後) 大砲ボーリング ピンポンゲーム 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) 紙血クラクラゲーム カラオケ
25日	26日	27日	28日	29日	30日	31日
	展望風呂 (午前・午後) ペットボトルおこし CDカーリング 誕生食	展望風呂 (午前・午後) 魚釣りゲーム ピンポンゲーム 誕生食	展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ 紙血クラクラゲーム 誕生食	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ 数えてベグ挿し	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カラオケ
文月 日に日に暑さがつのってまいります、お変わりございませんか						

- ★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ 蒸し暑くなってきました。ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



＜福生市高齢者生きがい活動支援サービス＞

☆ 7月の予定 ☆

1日 来園日
8日 ドライブ(ご希望にて)
15日 のんびりしょうデイ
22日 来園日
29日 ドライブ(ご希望にて)

暑さ厳しき折、ご一同様にはいよいよご壮健のことと拝察申し上げます。

感染力の強い変異ウイルスが広がりつつあります。
独り独りが取るべき対策はこれまでと変わりありません。
改めて基本的な対策を徹底していきましょう！

感染予防(こまめな手洗いや消毒・マスク着用・検温・うがい)
3つの密を避け、ソーシャルディスタンスの取り組み、引き続き
ご協力お願いします。

参加費：180円(市民税非課税の方は無料です)
昼食費：350円

＜お問合せ＞

高齢者在宅サービスセンター加美
電話 ☎ 042-553-3736
担当 森田まで



ふれあい 令和3年 8月の予定 在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736						
1日	月 2日	火 3日	水 4日	木 5日	金 6日	土 7日
	展望風呂 (午前・午後) イス玉乗せ 田植えゲーム	ペットボトルおこし カーリングゲーム	展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ 紙血グラグラゲーム	輪投げビンゴ 魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) CDカーリング ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 カラオケ
8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日
	展望風呂 (午前・午後) ペットボトルおこし ゆらゆら傘	ロボお手玉入れ 田植えゲーム	展望風呂 (午前・午後) ピンポンゲーム CDカーリング	イス玉乗せ 風船パレー ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ カーリングゲーム	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ カラオケ
15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日
	展望風呂 (午前・午後) 後向き玉入れ 数えてベグ挿し	大砲ボーリング 魚釣りゲーム 理髪の日	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉入れ 後向き玉入れ	ヤクルト山積み 田植えゲーム	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ペットボトルおこし	展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ カラオケ
22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日
	展望風呂 (午前・午後) スカット玉入れ お手玉積み上げ ピンポンゲーム	CDカーリング イス玉乗せ	展望風呂 (午前・午後) ペットボトルおこし 田植えゲーム	ゆらゆら傘 ピンポンゲーム	展望風呂 (午前・午後) 紙血グラグラゲーム 後向き玉入れ 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) 大砲ボーリング カラオケ
29日	30日	31日	誕生会			
	展望風呂 (午前・午後) 魚釣りゲーム ピンポンゲーム	お手玉積み上げ 後向き玉入れ				

気を付けましょう！！

★ 熱中症と間違いやすい夏の脳梗塞

★ 脱水は昼間だけじゃない、就寝前にも必ず水分補給をしましょ

★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。

★ 誕生会の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。

★ 新型コロナウイルス予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンダーに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。

★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)が洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。

★ 猛暑日が続きます、ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉



の予定 ☆

5日 来園日
12日 のんびりしょうデイ
19日 ドライブ(ご希望にて)
26日 来園日



暑さひとしお厳しい毎日が続いております。皆様ご機嫌いかがでしょうか。

気を付けましょう！！

熱中症と間違いやすい夏の脳梗塞

脱水は昼間だけじゃない、就寝時にも必ず水分補給を

感染予防(こまめな手洗いや消毒・マスク着用・検温・うがい)

3つの密を避け、ソーシャルディスタンスの取り組み、引き続き

ご協力をお願いします。

参加費：180円(市民税非課税の方は無料です)

昼食費：350円

〈お問合せ〉

高齢者在宅サービスセンター加美

☎ 042-553-3736

担当 森田まで



令和3年 9月の予定						
在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736						
月	火	水	木	金	土	
展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 カーリングゲーム	田植えゲーム 椅子玉乗せ	1日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し スカット玉入れ	2日 輪投げビンゴ 魚釣りゲーム	3日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ ゆらゆら傘	4日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ペットボトル起こし	
5日	6日 展望風呂 (午前・午後) 紙血クラクラゲーム ピンポンゲーム	7日 ロボお手玉 CDカーリング	8日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 後ろ向き玉入れ	9日 数えてベグ挿し 大砲ボーリング ひまわり美容室	10日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ スカット玉入れ	11日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カーリングゲーム
12日	13日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 椅子玉乗せ	14日 紙血クラクラゲーム スカット玉入れ	15日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 魚釣りゲーム	16日 田植えゲーム ゆらゆら傘	17日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し ペットボトル起こし	18日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ピンポンゲーム
19日	20日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ CDカーリング	21日 ヤクルト山積み 理髪の日	22日 展望風呂 (午前・午後) 紙血クラクラゲーム 大砲ボーリング	23日 ロボお手玉 スカット玉入れ	24日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム カーリングゲーム	25日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し 椅子玉乗せ
26日	27日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ スカット玉入れ 誕生食	28日 お手玉積み上げ 魚釣りゲーム 誕生食	29日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ゆらゆら傘 誕生食	30日 紙血クラクラゲーム ペットボトル起こし		

天高く馬肥ゆる秋、皆様にはますますご発展のほどお喜び申し上げます。
コロナ禍が長く続くなか、しっかりとした感染予防対策を行って頂き
感謝しております。引き続きご協力をお願いいたします。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ
地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗いを励行致しております。手洗いうがい時にはセン
ターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い
致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

秋

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆ 9月の予定 ☆

2日 来園日

9日 ドライブ(ご希望にて)

16日 のんびりしようデー

23日 ドライブ(ご希望にて)

30日 来園日

ぶどうの味覚にも秋が感じられる今日この頃

皆様ご機嫌いかがでしょうか？

※ ドライブ時には水分補給の為、水筒や飲み物をご持参下さい。

ここまでコロナ禍が長く続いていても、しっかりと感染予防
対策を続けて頂き感謝しています。
引き続き感染対策にご協力をお願いいたします。

参加費：180円(市民税非課税の方は無料です)

昼食費：350円

〈お問合せ〉

高齢者在宅サービスセンター加美

☎ 042-553-3736

担当 森田まで



ふれあい 令和3年 10月の予定						
在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736						
日	月	火	水	木	金	土
					1日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し スカット玉入れ	2日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 魚釣りゲーム
3日	4日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ ゆらゆら傘	5日 ヤクルト山積み ペットボトル起こし	6日 展望風呂 (午前・午後) 紙血クラクラゲーム ビンポンゲーム	7日 ロボお手玉 ODカーリング	8日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 後ろ向き玉入れ	9日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し 大砲ボーリング
10日	11日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ODカーリング	12日 お手玉積み上げ ドライブ	13日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 大砲ボーリング	14日 紙血クラクラゲーム スカット玉入れ ひまわり美容室	15日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ドライブ	16日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム ドライブ
17日	18日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し スカット玉入れ	19日 輪投げビンゴ 魚釣りゲーム 理髪の日	20日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ ゆらゆら傘	21日 ヤクルト山積み ペットボトル起こし 移動美容室	22日 展望風呂 (午前・午後) 紙血クラクラゲーム ビンポンゲーム	23日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ODカーリング
24日	25日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 後ろ向き玉入れ	26日 数えてベグ挿し 大砲ボーリング	27日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 魚釣りゲーム	28日 お手玉積み上げ カーリングゲーム 誕生食	29日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 椅子玉寄せ 誕生食	30日 展望風呂 (午前・午後) 紙血クラクラゲーム スカット玉入れ 誕生食
31日	虫の音が鳴き通す秋の夜長の候となりました。 ウイルスは目に見えない ウイルスはどこにでもいる ウイルスを支配することはできない					

- ★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 新型コロナウイルス予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時には**センタ**に備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には**新しいマスク**(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし物として汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ **ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。**



＜福生市高齢者生きがい活動支援サービス＞

☆ 10月の予定 ☆

7日 のんびりしようデー
14日 来園日
21日 のんびりしようデー
28日 ドライブ(ご希望にて)

うららかな秋晴れが続いておりますが、
 皆様お変わりございませんか？

※ ドライブ時には水分補給の為、水筒や飲み物をご持参下さい。



コロナの掌の上で転がされないように、人との接触は
 できる限り減らしつつ、健康的な食事と運動を心掛け
 るようにしましょう。

参加費：180円(市民税非課税の方は無料です)
 昼食費：350円

＜お問合せ＞

高齢者在宅サービスセンター加美
 電話 ☎ 042-553-3736
 担当 森田まで



ふれあい 令和3年 11月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
	1日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ペットボトル起こし	2日 紙血クラクラゲーム ピンポンゲーム 焼き芋大会	3日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 CDカーリング	4日 田植えゲーム 後ろ向き玉入れ	5日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し 大砲ボーリング	6日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ みんなで歌おう
7日	8日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ ゆらゆら傘	9日 ヤクルト山積み ペットボトル起こし	10日 展望風呂 (午前・午後) 紙血クラクラゲーム ピンポンゲーム	11日 ロボお手玉 CDカーリング ひまわり美容室	12日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 後ろ向き玉入れ	13日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し みんなで歌おう
14日	15日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 大砲ボーリング	16日 お手玉積み上げ ドライブ 理髪の日	17日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ドライブ	18日 紙血クラクラゲーム ゆらゆら傘	19日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ドライブ	20日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム ドライブ
21日	22日 展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し スカット玉入れ 誕生会	23日 輪投げビンゴ 魚釣りゲーム 誕生会	24日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ ゆらゆら傘 誕生会	25日 ヤクルト山積み ペットボトル起こし	26日 展望風呂 (午前・午後) 紙血クラクラゲーム ピンポンゲーム 移動美容室	27日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 みんなで歌おう
28日	29日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム CDカーリング	30日 数えてベグ挿し 後ろ向き玉入れ				



緊急事態宣言の解除及び都内感染者の減少等が見られている為、これまでの対策を一部緩和を実施していきます。今後の都内感染状況等により変更もありますのでご了承下さい。

- ☆ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ☆ 誕生会の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ☆ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセーターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ☆ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)が洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし物や汚れた場合、交換が出来ます。
- ☆ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆ 11月の予定 ☆

4日 来園日
11日 のんびりようデー
18日 ドライブ(ご希望にて)
25日 来園日



冬が駆け足で近づいて来る気配を感じるようになりました。



※ ドライブ時には温かいお飲み物をご持参下さい。



緊急事態宣言の解除及び都内感染者の減少が見られています。今後の活動も緩和するよう検討していきますので、もう少しお待ちください。

参加費: 180円(市民税非課税の方は無料です)
昼食費: 350円

〈お問合せ〉

高齢者在宅サービスセンター加美
☎042-553-3736
担当 森田まで



ふれあい 令和3年 12月の予定
在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
			1日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 大砲ボーリング	2日 数えてペグ押し 後ろ向き玉入れ	3日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ペットボトル起こし	4日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ みんなで歌おう
5日	6日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ピンポンゲーム	7日 紙皿クラクラゲーム CDカーリング	8日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 魚釣りゲーム	9日 田植えゲーム カーリング ひまわり美容室	10日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ押し 大砲ボーリング	11日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ みんなで歌おう
12日	13日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 後ろ向き玉入れ	14日 ヤクルト山積み ペットボトル起こし	15日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿クラクラゲーム ピンポンゲーム	16日 ロボお手玉	17日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム	18日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ押し
19日	20日 展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ODカーリング	21日 お手玉積み上げ ゆらゆら傘	22日 展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み カーリング	23日 紙皿クラクラゲーム 魚釣りゲーム	24日 展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 大砲ボーリング 水彩画クラブ 移動美容室	25日 展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム みんなで歌おう
26日	27日 展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ押し 後ろ向き玉入れ	28日 輪投げビンゴ ペットボトル起こし	29日 展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ CDカーリング	30日 ヤクルト山積み ピンポンゲーム	31日 展望風呂 (午前・午後) 紙皿クラクラゲーム 魚釣りゲーム	

★ 年明けは4日(火)から開所します。

日頃の感染予防対策を継続しながら、水分補給や栄養たっぷりの食事を摂って新しい年を元気に迎えましょう!!

- ★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ★ 誕生会の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンタ-に備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆ 12月の予定 ☆

2日 来園日
9日 のんびりしようデー
16日 ドライブ(ご希望にて)
※ドライブ時にも水分補給を!
23日 来園日
30日 お休み



「(これから) 寒くなることから、感染症が流行しやすくなる。
また、人の動きも年末年始で活発化することも想定される。
最大限の警戒をすることは、これは不可欠だと考える」
東京都・小池百合子知事



参加費:180円(市民税非課税の方は無料です)

昼食費:350円

〈お問合せ〉

高齢者在宅サービスセンター加美

☎042-553-3736

担当 森田まで



ふれあい 令和4年 1月の予定						
在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736						
日	月	火	水	木	金	土
				1/1~1/3までテイクサービスはお休みです。		
2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日
		ロボお手玉 カーリング	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 大砲ボーリング	数えてペグ押し 後ろ向き玉入れ	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ みんなで歌おう
9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日
	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み ピンポンゲーム	紙皿クラクラゲーム 魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 CDカーリング	田植えゲーム ゆらゆら傘 ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ押し スカット玉入れ	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ みんなで歌おう
16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日
	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ やり投げゲーム	ヤクルト山積み 椅子玉乗せ 理髪の日	展望風呂 (午前・午後) 紙皿クラクラゲーム カーリング	ロボお手玉 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 後ろ向き玉入れ 水彩画クラブ	展望風呂 (午前・午後) 数えてペグ押し みんなで歌おう
23日	24日	25日	26日	27日	28日	29日
	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ペットボトル起こし 誕生食	お手玉積み上げ ピンポンゲーム 誕生食	ヤクルト山積み 魚釣りゲーム 誕生食	紙皿クラクラゲーム CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ゆらゆら傘 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム みんなで歌おう
30日	31日	 新年あけましておめでとうございます 今年も宜しくお願い致します				
	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム スカット玉入れ	 寅				

★ 年明けは4日(火)から開所します。

今年も感染予防対策を継続しながら、楽しい活動を行っていきましょう！！
また、厳しい寒さが続きますのでお体をご自愛下さいませ。

- ★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 新型コロナウイルス予防に所内ではこまめな手洗い消毒を徹底行っております。手洗いという際にはセンターに備えてあります使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



＜福生市高齢者生きがい活動支援サービス＞

☆ 1月の予定 ☆

6日 来園日
13日 のんびりしょうデイ
20日 ドライブ(ご希望にて)
※ドライブ時にも水分補給を！
27日 来園日



新年明けましておめでとうございます。
本年も宜しくお願い致します。



今年も感染予防を継続し、楽しい活動を行っていきましょう！
また、厳しい寒さが続きますのでお体をご自愛下さいませ。

参加費：180円(市民税非課税の方は無料です)
昼食費：350円

＜お問合せ＞

高齢者在宅サービスセンター加美
電話 ☎ 042-553-3736
担当 森田まで



ふれあい 令和4年 2月の予定						
在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736						
日	月	火	水	木	金	土
		1日	2日	3日	4日	5日
		展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ押し 後ろ向き玉入れ	輪投げビンゴ ペットボトル起こし	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ カーリング	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み みんなで歌おう
6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
	展望風呂 (午前・午後) 紙皿クラクラゲーム 魚釣りゲーム	ロボお手玉 ピンポンゲーム	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム ゆらゆら傘	数えてベグ押し スカット玉入れ ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ CDカーリング	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ みんなで歌おう
13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 大砲ボーリング	紙皿クラクラゲーム 後ろ向き玉入れ 理髪の日	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ペットボトル起こし	田植えゲーム 椅子玉寄せ	展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ押し ピンポンゲーム 水彩画	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ みんなで歌おう
20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日
	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ やり投げゲーム	ヤクルト山積み ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) 紙皿クラクラゲーム 椅子玉寄せ	ロボお手玉 CDカーリング 書道 誕生食	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 後ろ向き玉入れ 移動美容室 誕生食	展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ押し みんなで歌おう 誕生食
27日	28日					
	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ペットボトル起こし					

オミクロン株に対しても基本的な感染対策が有効です。マスク着用や手洗い、3密・換気など基本的な感染症対策を徹底し、体調不良時は外出や移動を控えて下さい。

- ★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 新型コロナウイルス感染症予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落とし物として汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。



〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆ 2月の予定 ☆

3日 来園日
10日 のんびりしようデー
17日 ドライブ(ご希望にて)
※ドライブ時にも水分補給を!
24日 来園日



オミクロン株に対しても基本的な感染対策が有効です。マスク着用や手洗い、3密、換気など基本的な感染対策を徹底し、体調不良時は外出や移動を控えて下さい。

如月
春はまだ浅く、風の冷たさが身に沁みます

参加費: 180円(市民税非課税の方は無料です)
昼食費: 350円

〈お問合せ〉

高齢者在宅サービスセンター加美
☎042-553-3736
担当 森田まで



ふれあい 令和4年 3月の予定

在宅サービスセンター加美 ☎042-553-3736

日	月	火	水	木	金	土
		1日	2日	3日	4日	5日
		展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 後ろ向き玉入れ	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ ペットボトル起こし	お手玉積み上げ ひな祭り	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 魚釣りゲーム	展望風呂 (午前・午後) 紙血グラグラゲーム みんなで歌おう
6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日
	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 ピンポンゲーム	田植えゲーム 大砲玉入れ	展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し スカット玉入れ	割りばしゲーム CDカーリング ひまわり美容室	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ 大砲ボーリング	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み みんなで歌おう
13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日
	展望風呂 (午前・午後) 紙血グラグラゲーム 後ろ向き玉入れ	ロボお手玉 ペットボトル起こし 理髪の日	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム 大砲玉入れ	数えてベグ挿し ピンポンゲーム	展望風呂 (午前・午後) 輪投げビンゴ 大砲玉入れ 水彩画	展望風呂 (午前・午後) お手玉積み上げ みんなで歌おう
20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日
	展望風呂 (午前・午後) ヤクルト山積み 大砲玉入れ	紙血グラグラゲーム ゆらゆら傘	展望風呂 (午前・午後) ロボお手玉 椅子玉寄せ	田植えゲーム CDカーリング 書道	展望風呂 (午前・午後) 数えてベグ挿し 後ろ向き玉入れ 移動美容室	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム みんなで歌おう
27日	28日	29日	30日	31日		
	展望風呂 (午前・午後) 割りばしゲーム ペットボトル起こし 誕生食	数えてベグ挿し 魚釣りゲーム 誕生食	展望風呂 (午前・午後) 田植えゲーム 大砲玉入れ 誕生食	お手玉積み上げ ゆらゆら傘		

☆ お知らせ・・・4月より理髪の日カット料金が改定されます。¥800⇒¥1000です。
ようやく春めいてきました。少しずつでも身体を動かしていきましょう！！

- ★ 毎日、入浴(機械浴)・機能訓練(リハビリ)は実施しております。
- ★ 誕生食の日はお誕生月の方のお祝いとして、昼食にはお祝膳他、お楽しみおやつ・地元の和菓子等をお楽しみ頂いています。
- ★ 新型コロナウイルス予防に所内ではこまめな手洗い消毒を励行致しております。手洗いうがい時にはセンターに備えております使い捨てペーパータオルのご使用をお願い致します。
- ★ 来所時には新しいマスク(可能であれば使い捨ての不織布マスク)か洗濯をされたマスクの着用をお願い致します。予備のマスクをバックの中に持参して頂ければ落としたり汚れた場合、交換が出来ます。
- ★ ご自宅でも水分補給をこまめに行ってください。

〈福生市高齢者生きがい活動支援サービス〉

☆ 3月の予定 ☆



3日 来園日
10日 のんびりしようデー
17日 ドライブ(ご希望にて)
※ドライブ時にも水分補給を！
24日 来園日
31日 来園日



いつもご利用頂きありがとうございます。福生市からの通達により残念ではありますが、3月一杯をもちまして第2市営住宅での活動は終了となります。引き続きご利用を希望される方はセンターでの受け入れ対応となりますので、担当者へお声かけ下さい。
長い間ありがとうございました。 センター長 佐々木

孫生・・・桜のつばみもふくらみ、ようやく春めいてまいりました。
第2市営の活動も今月で最後となりました。感染対策を行いながら
楽しい時間をお過ごし下さい。



参加費：180円(市民税非課税の方は無料です)
昼食費：350円

〈お問合せ〉

高齢者在宅サービスセンター加美

電話 ☎ 042-553-3736

担当 森田まで



2021年度

高齢者在宅介護支援事業 事業報告書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅介護支援センター加美

事業報告

高齢者在宅介護支援事業（福生市からの委託事業）

事業計画基本方針に則り高齢者支援業務を行った。

近年、精神障害に関する相談、経済的、財産相談、成年後見制度関係、高齢者虐待関係の相談が目立って増えており、非常に困難なケースが増加しているが、地域包括支援センターとの協力により問題解決に取り組んでいる。

地域との関わり（民生委員、消防署、老人会、小地域活動等）だけでなく、保健所、医療機関との連携、他市の支援センターとの協力体制等、これまで以上に広がりを持ったネットワークづくりをしながら、対応に努められた。

高齢者や、その家族、近隣、地域からの多種多様な相談にも、それぞれのケースに応じた適切かつ早期対応に努めている。

また、事業計画重点施策については2-3ページにまとめた。

【職員配置・管理運営】

3.31現在

職名	職員配置人数と氏名（資格）	
管 理 者	1	佐々木 和仁
相 談 員	2	鈴木 敦子 : 介護福祉士 勝田 幸恵 : 介護福祉士

福生市在宅介護支援センター加美 運営報告書

令和3年度年間合計分

Ⅰ 安否確認

1- (1) 安否確認件数 (実人数)

	新	規	継	続	月	合	計
件数	101		832				933

年度合計	933
------	-----

1- (2) 安否確認件数 (延人数)

	訪	問	不	在	合	計
件数	1881		244			2125

80歳名簿	訪問人数	684
(訪問人数)	在 家	545
(在家内訳)	元 氣	155
	相 談	390

Ⅲ 相談件数

1- (1) 相談件数 (実人数)

	新	規	継	続	合	計
件数	532		1056			1588

1- (2) 相談件数及び内訳 (延人数)

	電	話	来	所	訪	問	合	計
本 人	992		160		1339			2491
家 族	配 偶 者	88		0	85			173
	実 子	139		4	88			231
	実子の配偶者	27		2	12			41
	そ の 他	24		1	8			33
知 人 ・ 隣 人	12		0		13			25
民 生 委 員	22		16		4			42
医 療 機 関	74		13		31			118
福祉関係機関 (施設)	124		0		25			149
行 政 機 関	747		4		225			976
そ の 他	291		2		17			310
合 計	2540		202		1847			4589

Ⅱ シルバーピア

	新	規	継	続	合	計
件数	2		41			43

(内 訳)	日	中	夜	間
電 話 対 応	181		0	
協 力 員 確 認	387		0	
訪 問 対 応	107		0	
不 在	31		0	
合 計	706		0	

2 相談への対応

情 報 提 供	1535
連 絡 調 整	414
ケ ー ス 検 討	344
状 況 確 認	1534
通 院 ・ 外 出 支 援	63
精 神 的 支 援	1441
合 計	5331

3 会議等の実施状況

支援センター連絡会	24
民生委員等情報交換	21
ケースカンファレンス	44
合 計	89

4 申請代行内訳

介 護 保 険 申 請	47
各種在宅サービス申請	124
そ の 他	0
合 計	171

(内 ・ 緊急キッド

5 夜間緊急時の対応

電 話 対 応	0
そ の 他	0
合 計	0

福生市在宅介護支援センター加美 運営報告書

令和3年度年間合計分

5 相談内容等

在宅サービス				施設サービス		その他	
種別		種別		種別		種別	
《介護保険サービス》				介護保険施設相談	128	介護全般に関する相談	1065
【介護保険関係の相談】	616	その他高齢者施策		養護老人ホーム	102	医療に関する相談	1032
		・ おむつ等の助成	46	その他(有料、ケアハウス等)	98	住宅に関する相談	517
《一般施策サービス》				計	328	経済的・財産に関する相談	346
高齢者の生活支援事業関係		・ 緊急通報・火災安全システム	30			家族関係相談	500
・ 寝具類等乾燥消毒サービス	21	・ 福祉バス	123			認知症に関する相談	345
・ 訪問理美容サービス	28	・ 老人杖の支給	67			消費相談関係	71
		・ 救急キット 災害時要援護者	148			成年後見制度関係	71
		・ その他	25			高齢者虐待関係	32
介護予防・地域支援支え合い事業		【一般施策サービス合計】	1626			シルバーピア関連相談	162
・ 生きがい活動支援デイサービス	360					他担当部署に関する相談	96
・ 生活支援ホームヘルプサービス	2	《包括的支援事業》				その他	28
・ 生活支援ショートステイ	8	・ 介護予防教室	405			計	4265
・ 徘徊高齢者家族支援サービス	20	【包括的支援事業合計】	405				
・ 配食サービス	330						
		《社会福祉協議会サービス》					
高齢者いきいき事業		【社会福祉協議会福祉サービス】	263				
・ 家具転倒防止装置設置	22						
・ 自立支援日常生活用具関係	203						
・ 自立支援住宅改修関係	193						

令和3年度

2021年度 福生市高齢者在宅介護支援センター会議等出席状況

日付	会議名称	出席職員
令和3年4月22日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和3年4月30日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和3年5月21日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和3年5月28日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和3年6月16日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和3年6月22日	家族介護者教室打ち合わせ（オンライン）	鈴木・勝田
令和3年6月25日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和3年7月16日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和3年7月30日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和3年8月13日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和3年8月27日	包括・在支連絡会（WEB）	鈴木・勝田
令和3年9月17日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和3年9月24日	包括・在支連絡会（WEB）	鈴木・勝田
令和3年10月21日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和3年10月29日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和3年11月5日	家族介護者教室	鈴木・勝田
令和3年11月18日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和3年11月24日	民生委員懇談会	鈴木・勝田
令和3年11月26日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和3年12月8日	青梅・秋川ブロック会	鈴木・勝田
令和3年12月16日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和3年12月24日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和4年1月19日	加美地区個別地域ケア会議	鈴木・勝田
令和4年1月21日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和4年1月28日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
令和4年2月8日	青梅・秋川ブロック会	中止（コロナ感染）

令和４年２月１８日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木
令和４年２月２５日	包括・在支連絡会	鈴木
令和４年３月１８日	在宅介護支援センター加美ケース検討会議	鈴木・勝田
令和４年３月２５日	包括・在支連絡会	勝田
		以上

2021年度

指定居宅介護支援事業
事業報告書

社会福祉法人福陽会

介護プランセンターサンシャインビラ

事業報告

- 本年度は年間延べ2,375件（前年度2,514件）のケアプラン作成業務を行った。
 - 福生市等からの委託業務である介護予防ケアプラン作成受託業務等を積極的に行った。
 - 併設事業である、訪問介護・通所介護・短期入所生活介護等への情報提供を積極的に行い、併設事業の人員確保に努めた。情報提供では連絡事項を文書化し、これにより適切かつ円滑な連絡につとめた。
 - 利用者個別ファイルを作成し、契約～アセスメント～ケアプラン作成～モニタリングと一元管理を徹底した。
 - よりよいケアプランを利用者に提供すべく、資質向上・情報収集のため、積極的に研修に参加した。
 - 東京都介護支援専門員実務研修実施機関として登録し、実習生を受け入れた。
- 今期の居宅支援事業所収入実績：43,464,518円

【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のとおり成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

職員配置（3月31日現在）

職名	当センター職員配置人数と氏名（資格）	
センター長	1	佐々木 和仁
管 理 者	1	新橋 和枝
介護支援専門員	6	新橋 和枝（主任介護支援専門員 管理者兼務） 鈴木 俊哉（介護支援専門員） 中川 祥子（主任介護支援専門員） 大谷 真澄（介護支援専門員） 鳥巢 紀久美（介護支援専門員） 下田 政勝（介護支援専門員） 小泉 宏登（主任介護支援専門員） 野元 剛（介護支援専門員） 江村 希実（介護支援専門員）

人件費実績：40,726,451円

福利厚生費実績：99,050円

ケアプラン

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	total
ケアプラン作成	202	199	198	202	203	202	194	190	201	194	194	196	2,375

要支援受託

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 受託	33	33	33	33	36	35	38	35	37	32	34	36	415

認定調査実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定 調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	2	5

研修・会議等出席状況

月 日	研修名称等	出席職員
4 月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング6回・事業所内部研修「利用者のプライバシー保護の取組に関する研修」・経営改善会議	佐々木・新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
	第1回 福生市主任介護支援専門員連絡会	新橋・小泉
5 月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング6回	新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
6 月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング7回	新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
	第2回 福生市主任介護支援専門員連絡会	新橋
7 月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング6回・事業所内部研修「倫理及び法令遵守に関する研修」	新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
8 月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング5回・経営改善会議	佐々木・新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
	第3回 福生市主任介護支援専門員連絡会 zoom	中川・新橋
	令和3年度 介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修 動画視聴	新橋
	福生市地域包括支援センター福生・熊川主催 オンライン研修「つくろうBCP」	新橋
9 月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング4回・事業所内部研修「成年後見制度について」・経営改善会議	佐々木・新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
	福生市介護保険事業者連絡協議会 令和3年度制度改正後の通知等について研修	下田・鳥巢・新橋
10 月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング7回・事業所内部研修「高齢者虐待防止に関する研修」	新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
	第4回 福生市主任介護支援専門員連絡会 zoom (傍聴・相談者含む)	中川・小泉・大谷
11 月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング5回・事業所内部研修「認知症及び認知症ケアに関する研修」	新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
	福生市地域包括支援センター 社会福祉士連絡会主催研修会	大谷・鳥巢・野元
12 月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング7回	新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
	第5回 福生市主任介護支援専門員連絡会	中川
	福生市介護保険事業者連絡協議会「リハビリ職から見た多職種連携の重要性」研修	新橋・中川・鈴木
1 月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング5回	新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
	青梅成木台病院主催 東京都かかりつけ医認知症オンライン研修	中川
	併設施設による内部研修 (シューズ勉強会)	野元・江村・鈴木
2 月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング5回	佐々木・新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
	東京都国民健康保険団体連合会主催 令和3年度 介護サービス事業者支援研修 (動画)	新橋
	第6回 福生市主任介護支援専門員連絡会 (傍聴・相談者含む)	中川・野元
3 月	利用者の近況報告、事業所内ミーティング6回	佐々木・新橋・小泉・中川・下田・鈴木・大谷・鳥巢
	併設施設による内部研修 福祉施設避難所	野元・江村・下田・大谷
	併設施設による内部研修 防災訓練	下田・江村・野元・鈴木
	青梅成木台病院主催 認知症介護実践リーダー層 研修 zoom	野元
	福生市地域包括支援センター熊川 地域ケア会議	新橋
	福生市地域包括支援センター福生・熊川主催「ハラスメントを知る、加害をせず、被害から身を守るために」オンライン研修	新橋・大谷
＊新人ケアマネジャー入職時研修実施 (11月～1月) ＊感染拡大防止の観点から未実施の研修あり		

研修費・旅費実績：67,060円

その他の経費予算額 (併設第2サンシャインビルと面積按分等で計上しています)

令和3年度

福生市地域包括支援センター加美

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

【配置職員】※令和4年度4月配置予定者

センター長兼主任介護支援専門員	小泉 宏登
社会福祉士	中川 祥子
保健師兼認知症地域支援推進員	松下 歩
第2層生活支援コーディネーター兼事務員	勝田 幸恵

令和3年9月に福生市から正式に地域包括支援センター業務を受託。

令和3年度は、令和4年4月1日のセンター事業開始に向け福生市並びに既存の地域包括支援センターと協議を重ね、担当する高齢者の方々のデータベースの構築、担当利用者宅へのあいさつ回り、関係各署への開設報告など、4月のオープンに向け、事務所内装工事、備品選定など、様々な事柄について準備してきた。またこれからの業務に必要な専門知識を得るために各種研修に積極的に参加した。

2021 年 度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第3サンシャインビラ
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

事 業 報 告 目 次

項 目	ページ
事業報告	
1. 事業報告(総括)	1-2
2. 職員構成	2
3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書	2-4
4. 処遇報告	4-5
1) 2F 事業報告・活動報告	
2) 3F 事業報告・活動報告	
3) 4F 事業報告・活動報告	
4) 移動理美容	
5) 日用品費・介護用品費・被服費等事業費報告	
5. 厨房事業報告	6-7
6. 医務室利用者健康管理報告	8-9
7. リハビリテーション報告	10
8. 生活相談員・介護支援専門員	11-12
9. クラブ活動実績報告	13-14
10. 年間行事実施報告	15
11. 事務費・固定資産物品報告	15
12. 事故報告・ヒヤリ・ハット報告	16
13. 職員研修報告	17
14. ボランティア・慰問 受け入れ状況報告	18
15. 消防訓練実施結果	18
16. ショートステイ事業報告	18

1. 事業報告（総括）

1. 中長期経営計画

(1) 福陽会の基本理念を毎朝唱和する事で、全職員が基本理念を基本としたサービス提供に努めた。利用者様を始め、ご家族様、地域の皆様と共に大きな家族として「こころある介護」を行うことができた。

(2) 中期基本方針

①利用者様、ご家族様、地域の方々から評価して頂けるサービス提供ができるよう、他部署で連携を取り、各部署風通しの良い関係性が構築できた。「こころある介護」を提供する事で、利用者様の笑顔を多く引き出す事ができた。

②業務検討委員会にて毎月の稼働率の報告を行い、各部署の所属長が経営に対する意識を持ち業務を行う事ができた。

2. 基本目標

福陽会の基本理念については、毎日基本理念の唱和を行うと共に、理事長、統括施設長、施設顧問医師、副理事長に来園頂き、都度相談を行い、職員に対し理念、法人としての考えを伝えて頂く事で福陽会の職員としての意識向上を図った。新入職員については、入職時に統括施設長の思いが書かれた文章から福陽会基本理念について説明を行う事で基本理念の浸透に努めた結果、新人であっても理念に共感でき、それを基としてケアを行う職員が増えている。

3. 基本方針について

加齢に伴って生ずる心身の変化に起因する疾病等により要介護状態となり、入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練並びに看護及び療養上の管理、その他の医療を要する方等について、これらの利用者様が尊厳を保持し、その有する能力に応じ自立した日常生活を営む事が出来るよう、施設顧問医師指導の下、各部署連携し必要な介護サービスを提供し、地域福祉の増進を図る事を目的として事業を行った。

(1) 利用者様の健康状態、身体状況を充分考慮に入れ、各部署の職員による情報の共有と連絡、相談を密に行い、職員1人1人が利用者様を良く観察し、介助が必要な利用者様が最低限度の援助で快適な生活が送れる為の環境作りに努めた。

4. 2021年度の重点目標

法人理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を念頭に、感染予防に配慮しつつ、ご利用者様に、ここが自宅だと感じていただけるような雰囲気作りに努めました。

稼働率については特養が99.24%、ショートステイが34.22%、平均介護度は4.1でした。特養に関しては目標を達成しましたが、ショートステイに関しては大幅に目標を下回りました。原因としては、新型コロナウイルスにより、利用者が減少している事が大きく影響しております。

加算に関しては、新たな加算である科学的介護推進体制加算（LIFE）への取り組みも行い、サービスの向上及び、加算の算定を行いました。

感染対策については、マニュアルの整備やシミュレーションにも力を入れました。繰り返し訓練を行う事で初動を早くし、感染対応に対しての意識を高めることで、感染症の蔓延を防止することが出来ました。外部研修に関しては受講した職員に偏りがあった為、次年度は多くの職員が外部研修に参加できるよう調整していきます。

看取り介護に関しては21名の方のお看取りをさせていただきました。ご本人様、ご家族様のご意向に沿ったケアを行いました。ご利用者様が大好きだった食べ物を提供したり、音楽を流したり、整容や声掛けにも気を配り、ご利用者様が安心できる環境づくりに努めました。ご家族様への連絡も密に行い、感染対策をしっかり行った上で直接面会も行っていました。ご家族様からは多くの感謝のお言葉をいただくことができました。

今年度は委員会を通して他部署からの意見を聞き、感染症マニュアル、身体拘束等適正化のための指針、事故発生防止及び発生時の指針の見直しを行いました。排泄委員会に関しては介護職員が中心となり運営を行いました。ユニット間で情報交換ができ、施設として統一した対応が行えるようになりました。

内部研修は、今までリーダー層が講師を行っていましたが、一般職員を講師としました。講師になる事で改めて知識をつけ、人に教えることを学び、講師、受講者双方で学び合う事ができました。

コロナ禍で外部との接点が減っている中、ご利用者様に施設での生活を楽しんでいただけるよう行事やレクリエーションにも力を入れました。蜜を避けるため、ユニット単位で介護職員が中心となり、コロナ禍だからこそできる事を考え様々な工夫を凝らしました。

ボランティアとの直接的な交流は図れませんでした。ボランティア委員会を中心に、リモートでの傾聴ボランティアを行いました。ご利用者様も、地域の方と交流することができ喜ばれていました。

2022 年度もより良い施設づくりが行えるよう、職員一同力を合わせて取り組んで参ります。

2. 職 員 構 成 3 月 31 日現在

担当職	職 名	職員	非常勤
施 設 長		1	
顧問医師			1
産業医			1
事 務 長		1	
事 務 員		1	2
生活相談員		2(1)	1(1)
介護支援専門員		1(1)	2(1)
介護職員		27	30
医務	医 師		3
	看護主任	1	
	看護職員	3	1
機能訓練指導員	機能訓練指導員	1	
	P T		1
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	4	4
保守管理・宿直	介助員	1	4

* 兼務職員は主たる職務に記載し、兼務している職務では（ ）内に記載

人件費実績：333,336,640 円

福利厚生費実績：2,540,452 円

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

委員会

会議は毎月第2木曜日とし開催した。施設顧問医師、副理事長の指導、助言のもと、各部署が連携し委員会活動を円滑に行うことができた。

1) 苦情・拘束委員会

毎月、意見箱の意見、ご利用者様やご家族様等から受けた苦情に関して話し合い、今後の対応について検討した。委員会で話し合った内容については、職員に周知徹底してきた。

身体拘束に関しては、拘束することなくご利用者様が安全に生活することができるよう話し合い、拘束は行わなかった。また委員会の中で研修やプリントを配布し、身体拘束について勉強する機会を増やした。その研修を通し、普段の何気ない行動も身体拘束にあたるのではないかと考えながらケアをすることで、より良いケアに繋ぐことができたと考える。今後も研修を継続し、より知識を深めていく。

2) 行事計画委員会

コロナ禍の為、施設全体での活動を自粛しユニット単位での行事を行った。小規模のイベントであったが、職員が催し物を行うことでユニットの特色を活かし、利用者様に寄り添う暖かみのある活動を行う事が出来た。次年度もユニット単位での活動を取り入れ、利用者様に楽しんでいただけるよう活動していく。

3) 虐待防止委員会

虐待の芽アンケートを4カ月に一度実施し、現状を把握するとともに、その結果を評価し、改善できるよう注意喚起を行った。苦情・拘束委員会と連携を取り、上がってきた苦情が虐待にあたらないか検討した。内部研修委員会とも連携し、研修内容を検討した。スピーチロックや他施設で実際にあった虐待の例を挙げ、勉強会を実施し施設全体で虐待に対する意識を高められるよう努めた。

4) 事故防止委員会

介護事故の事例をあげ、同様の事故が起こらないように危険意識の向上に努めた。転倒や滑落の施設内のアクシデント件数は前年度と比較し減少しており、意識の向上に繋がったと考える。一方で内出血や剥離等についてはやや増加傾向であった為、来年度はケアを見直すなどして減少させられるよう努める。前年度からヒヤリハットには力を入れていたが、今年度は前年に比べ減少している。フロアでショートミーティングの時間を設け、今一度ヒヤリハットの重要性を周知していき、重大事故を未然に防ぐ取り組みを行っていく。

5) 研修委員会

他の委員会とも連携して内容を決定し、内部研修を開催した。ZOOMでの内部研修は課題もあり、11月より通常通り地域交流室で研修を行った。より利用者様に寄り添った介護ができるよう、車いすから動けない体験や、ストレッチャー・チェア入浴などのシミュレーションを交えた研修を行った。

6) 褥瘡予防委員会

褥瘡アセスメント評価表からリスク度集計表を作成し、職員へ情報共有を行った。褥瘡発生者の個別計画書を各部署へ配布し、現状や対応方法の周知徹底を行った。皮膚トラブル発生時は相談員、機能訓練指導員、フロア職員と創部の確認を行い、褥瘡発生時は管理栄養士と共に、栄養面でのケアも検討した。また、褥瘡委員会や必要時にカンファレンスを行い、エアマット使用者や必要者の見直しを適宜行った。年1回、機能訓練指導員と共に内部研修を行い、利用者様の状態に合わせた個別ケアの研修を行った。毎年褥瘡ケアの指針を見直し、新しいケアを取り入れた。

7) 感染症委員会

前年度に比べ、新型コロナウイルスに対する危機感を持ち業務にあたることができた。新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、隔離マニュアルに沿って演習を行い、評価した。シミュレーションを取り入れたことにより、フロア隔離の練度を向上させることができた。また、各業種でチェックリストを作成し対応の統一化を図った。感染隔離マニュアルを随時改定し、職員に周知徹底し知識と技術の向上に努めた。

8) 衛生委員会

職員の定期健康診断を実施した。また、産業医の指導のもと労働者の健康管理の維持に努めた。

衛生管理者等による施設内巡回を定期的に実施し、職員が仕事しやすい環境整備に努めた。

職員のストレスチェックを実施し、従業員のメンタルヘルス不調を未然に防止した。

9) 業務検討委員会

法人の基本理念を基盤に、経営、人事、業務内容等、各部署から議題を出し、改善に向け話しあった。各部署の状況を知ることでお互いの理解を深め、業務が円滑に進むよう取り組んだ。今年度は新たな加算であるLIFEの取り組みを行い、サービスの向上及び、必要な加算の算定を行った。

10) 栄養会議

体重測定の結果や食事摂取状況について各部署と情報の共有を行った。食行動の問題や低栄養のリスクがある利用者様のケアの方法についての話し合いを実施し、改善に向け取り組んだ。

11) リーダー会議

月に一度、各ユニットより問題点や相談などを提議し、話し合いを行った。ユニットの現状や人員配置にも目を向け、各ユニット連携してご利用者様へより良いサービスを提供出来るよう努めた。また、リーダー同士意見交換を行い、ユニットリーダーとしての質の向上にも努めた。

12) ボランティア委員会

新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティアの新規受入れやボランティアの方と施設職員の交流を図るための交流会は中止とした。

直接施設での活動ができない為、リモートでの傾聴ボランティアを行い交流を図った。今後も利用者様に少しでも楽しんで頂ける時間を作り、出来ることから一つずつ行っていきたい。

13) 接遇委員会

「言葉遣い」を接遇年間目標に掲げ、利用者様に対してだけでなく、職員間での言葉遣いにも気を配った。また、「身だしなみチェック」を2か月に1度実施し、より良い職場環境の整備を行い、接遇に対する意識向上とサービスの質の向上を図った。

接遇委員会を設置したことにより改善に向け、意識を高めることが出来た。「言葉遣い」「身だしなみ」共に更なる改善を目指し施設全体で取り組んでいく

4. 処 遇 報 告

1) 2F 事業報告・活動報告

(1) あやめユニット

利用者様の生活歴や情報を職員間で共有し、その人らしい生活が出来るよう支援した。

利用者様同士の関係づくりや生活の活性化を図るため、リハビリ体操や動画鑑賞を行った。

季節ごとの行事など様々なレクリエーションを行い、利用者様の笑顔を引き出すことができた。利用者様の身心の変化にすぐ気づけるよう、日々の状態観察や声掛けに気を配り、ご本人の思いに寄り添ったケアを心掛け、安心して生活できる環境づくりに努めた。利用者様の身体状況や食事状態に変化があった際には、他部署と連携し改善に向け速やかに対応した。

(2) さゆりユニット

個々の既往歴や生活歴を把握し、ケアプランに沿った個別ケアを行う事ができた。また、利用者様の体調観察に気を配り、些細な変化であっても各部署に報告、連携しケアを行った。

利用者様とこまめにコミュニケーションをとり、利用者様の信頼を得る事ができた。信頼関係を築くことで、自宅で暮らすように安心して生活して頂く事が出来た。

利用者様の嗜好に沿ったレクリエーションを実施し、生き生きとした生活を送っていただけるよう支援した。職員間のチームワークを大切にし、情報の共有を行う事で、ケアの統一を徹底した。

(3) さくらユニット

日々利用者様の状態観察に努め、個別ニーズに合わせたケアを行い、安心して生活していただけるよう支援を行った。フロア内や居室内の清掃を行い、利用者様が気持ち良く過ごして頂けるよう努めた。利用者様の笑顔を引き出せるよう声掛けやコミュニケーションを図り、レクリエーションや体操を行う事で活気ある生活が送れるよう支援した。

職員間で情報共有し、他部署とも意見交換をすることで、サービスの質の向上に努めた。

(4) みもぎユニット

利用者様一人一人に寄り添い、安心して生活をして頂けるよう支援を行った。

ユニットの特性に合わせたフロアーレクリエーション、行事を開催し、小規模ではあるが、利用者様に楽しんでいただくことができた。引き続きフロアーレクリエーションと行事を取り入れ、利用者の方が楽しめる環境を増やしていく。次年度の課題として、職員間の情報の共有、チームワークの強化と職員の知識、技術のスキルアップを行い、統一したサービス提供に努める。

2) 3F 事業報告・活動報告

(1) すみれユニット

コミュニケーションをとりながらケアにあたるよう心掛け、利用者様が安心して快適に過ごせるよう、一人一人のペースに合わせた支援を行った。充実した生活が送れるよう、毎月ユニット内で行事を計画し、余暇時間には利用者様ごとに趣味を楽しんでいただいた。

朝礼後にショートミーティングを行い、利用者様の身心の状態を把握しケアの統一を図った。来年度はヒヤリハットを増やし、アクシデントを未然に防げるよう努める。

(2) つばきユニット

毎日の声掛けや状態観察などから、利用者様それぞれのニーズを把握し、一人一人に合ったケアを行った。利用者様の居室や共同スペースを整理整頓し事故防止に努めた。また、ヒヤリハットを上げ、職員間で情報を共有し再発防止に努めた。ユニット内で月ごとに小規模のレクリエーションを行い、運動会や納涼祭なども開催し季節感を味わって頂くことができた。

(3) つつじユニット

利用者様の表情の観察や、体調の変化に気を配り、心身ともに安心して生活できるよう支援を行った。日々のレクリエーションや行事計画を立て、職員が一丸となって季節ごとのレクやフロアの飾り付けを行い、利用者様と交流を深めることができた。フロア内の清掃、整理整頓を行い、感染予防に努め利用者様が安心して生活できるよう配慮した。挨拶から始まり、職員間での声掛けや意見を交わし、より良いチームワークを築くことができた。

(4) あじさいユニット

日々の生活を快適に安心して過ごせるよう、利用者様1人ひとりのニーズに合わせた生活の支援と事故防止のため、環境整備を行った。利用者様とコミュニケーションを細目にとりながら状態観察を行い、心身の変化を感じた場合は他部署とも連携しケアを行った。また、職員間で情報を共有し、ケアの統一を図ることでより良いサービスの提供に努めた。

ユニットで毎月行事を行い、日々のレク活動は音楽鑑賞や、紙芝居、輪投げなど趣向を凝らし、利用者様に楽しんでいただいた。また、季節ごとに工夫を凝らして壁の装飾を行い、季節感を感じ取ってもらうことができた。

3) 4F 事業報告・活動報告

(1) ひまわりユニット

利用者様一人一人のニーズや、生活リズムに合わせたケアや支援ができるよう努めた。日課のリハビリ体操で、楽しみながら体を動かし残存機能の維持に努めた。利用者様と一緒に、折り紙などで季節に合わせた作品を作成・展示し、ユニットを常に明るく、季節感のある雰囲気にすることができた。

(2) コスモスユニット

利用者様一人ひとりの個性やニーズを把握し、個々にあったケアが出来るよう努めた。コロナウイルスの影響で外出は出来なかったが、ユニット内で季節感のある行事やレクリエーションを行い利用者様に喜んで頂く事が出来た。今後も職員同士協力して利用者様の笑顔を多く引き出し、明るく楽しい生活を送って頂けるよう努めていく。

4) 移動理美容

理容が第4月曜日の月1回、美容が第1金曜日の月1回行っている。

利用者様、ご家族様の希望により、理容・美容を選択していただき、利用して頂いている。

5) 日用品費・介護用品費・被服費等事業費報告

勘定科目	内容	金額	勘定科目	内容	金額
介護用品費	オムツ	10,781,602	日用品費	トイレットペーパー、ティッシュペーパー	191,116
	タオル	5,185		ブラシ	185,339
				煎茶	178,637
				その他	410,906
	小計	10,786,787		小計	965,998
被服費	寝具設備	4,204,860			
	食事用エプロン	244,208			
	小計	4,449,068			
				合計	16,920,703

○給食費実績：26,774,956円

○介護用品費実績：10,786,787円

○医薬品費実績：2,698,339円

○日用品費実績：965,998円

○被服費実績：4,449,068円

○消耗器具備品費実績：982,983円

○保健衛生費実績：859,540円

○車両費実績：410,972円

○水道光熱費実績：19,897,643円

5. 厨房事業報告

《衛生管理・食事提供》

- ・手指の洗浄・消毒や衣服の清潔保持、厨房内の衛生管理を衛生マニュアルに従って確実に実施し、非加熱食材の取扱方法、加熱温度と時間の徹底を行い利用者様に安全で衛生的な食事を提供した。
- ・体調不良時や感染症発生時に備えた連絡経路のマニュアルの周知の徹底を行った。
- ・掃除チェック表の活用と清掃する時間を設定し、厨房衛生に対する意識の向上を図った。
- ・適宜、新型コロナウイルス発生時のマニュアルの見直しと周知徹底を行い、感染対応実施時でも円滑な食事提供に努めた。
- ・感染対策の為、感染対応者へは使い捨て食器での食事提供を行った。また、少しでも食事を適温で楽しんでもらえるように使い捨て食器での提供方法を工夫した。

《食事提供》

- ・調理マニュアルの見直しを随時行い、味や食材の形態、嚥下調整食の統一を図った。
- ・食事時間のフロアラウンドと聞き取り、嗜好調査を行い、利用者様のニーズに出来る限り対応した食事を提供した。
- ・食事満足度向上の為、ユニットと協力し食事に関するイベントを開催し、満足度の向上に努めた。
- ・故郷の味を懐かしんでもらう為に、各地の郷土料理を献立に取り入れた。

《行事食・麺の日・出前の日・喫茶の日・誕生日会・選択おやつ・希望おやつ・手作りおやつ実施内容》

- ・行事食：月 1 回(正月は三が日)実施。カード装飾や、旬な食材を使用し季節感を取り入れ、食欲が増すようなきれいな盛り付けを行う等工夫を凝らした。月に 1 度の行事食は利用者様に特に喜んで頂くことが出来た。今後もバリエーションを増やし、さらに利用者様のニーズに添えていく。
- ・麺の日：うどんやそば、ラーメン、冷やし中華、そうめん、スパゲティ、焼きそば、ちゃんぽん等を実施した。
- ・出前の日：鰻…形態に合わせて食べやすい大きさに調理して提供した。寿司…原則として米飯の方は握り寿司、粥の方には刺身、粥、極菜・ペーストの方は刺身を細かく刻んでたたきにして提供した。生ものが苦手な方には、助六の提供を行った。
- ・喫茶の日：毎月第 4 日曜日に実施。デザートとコーヒーを提供した。
- ・誕生日会：毎月第 3 水曜日に実施。誕生月の利用者様には手作りケーキを楽しんでもらうことが出来た。
- ・選択おやつ：月に 2 回を目安に実施。複数のおやつを準備し、利用者様 1 人 1 人に食べたいものを選んで頂き、提供を行った。
- ・希望おやつ：月に 2 回を目安に実施。利用者様から食べたいおやつを伺い、希望に沿ったものを提供した。
- ・手作りおやつ：利用者様の聞き取りの際に出た希望をフロア職員と協力し、企画・提供を行った。

《代替食実施状況》

魚・青魚・鯖・鶏・豚・牛・ハンバーグ・納豆・牛乳 刺激物・カレー・汁・麺・パン・生食・あんこ 揚げ物・ゴマ・貝類・太刀魚	他の料理で対応
--	---------

《希望おやつ実施内容》

4月	・あんみつ ・桜餅	10月	未実施
5月	・あんみつ ・スイートポテト	11月	・スイートポテト ・焼き芋
6月	・フレンチトースト ・カステラ	12月	未実施
7月	・水ようかん	1月	・あんみつ ・クレープ
8月	・スイートポテト ・豆腐団子	2月	・あんみつ ・たこやき
9月	・おはぎ ・マンゴープリン	3月	・ケーキ選択 ・クレープ

《手作りおやつ実施内容》

4月	・三色ようかん ・スイートポテト	10月	未実施
5月	・アイスクリーム ・クレープ	11月	・おでん ・焼き芋 ・たこ焼き
6月	・梅干し ・ホットケーキ ・梅ジュース ・ミルクプリン	12月	・干し大根 ・たくあん
7月	・水ようかん ・梅ジュース ・梅干し ・葛饅頭	1月	・焼き芋 ・アイスクリーム
8月	・バニラムース ・梅干し ・水ようかん	2月	・クレープ ・おしるこ
9月	・南瓜プリン ・味噌ポテト	3月	未実施

《給食懇談会・厨房会議・嗜好調査アンケート結果》

- ・毎月各ユニットにて給食懇談会を実施し、食事についての意見・要望や食べやすさ(形状・硬さ等)、食べたい献立についての聞き取りをおこなった。
- ・厨房会議を毎月必ず行い、その月に発生した取り組み課題をまとめ、部署全体での問題解決に努めた。業務の検討や反省・意見交換を行い、意識の統一を図った。
- ・嗜好調査アンケート結果からリクエスト献立として積極的に人気メニューの提供を行い、喫食率向上に努めた。
- ・嗜好調査アンケート結果から新たに郷土料理の日を設け、様々な地方の料理を提供した。

《療養食・栄養ケアマネジメント実施状況》

- ・医師の指示のもと、療養食が必要な利用者様に提供を行った。献立や調理を工夫し、なるべく常食と差異を感じずに、おいしくお食事が提供できるよう努めた。
- ・多職種と連携して利用者様ひとりひとりの状態を把握し、適切にスクリーニング、アセスメント、モニタリングを実施することが出来た。

6. 医務室利用者健康管理報告

総括

状態異常時、スムーズに医師へ上申しご本人様の健康管理が出来るよう医療介入を行った。生活の場であることから、ご家族様にどのような指示がでたのか報告を行い、今後の方針などを相談員とともにいった。また、ターミナルなどで生活の質を上げていくために、ご自身で意思疎通が不可能な方は相談員と連携してご家族様へ相談し、その想いを聞き取りケアに反映させていった。しかし、医療の介入が増えるほど生活という場面から遠ざかることもあり、ご利用者様がどこまで何を望むのか考え、その人らしい最期が看取れるような看護を実践していくことを今後の目標とする。

フロアナース制は2年が経過し、担当ナースの持つ情報も深みを増すようになってきている。しかしケアに個別性を反映させるまでには至っておらず、引き続き今後の目標としたい。看護間での情報共有はショートカンファなどを通じある程度共有できていたが、統一した認識を全員が共有できるよう検討していく必要性も感じた。他職種間でも上手く連携がとれない場面もみられたことから、次年度はより密に情報共有できるよう努めていきたい。

<医務目標>

1. 生活を第一に考え寄り添いながら健康状態を把握していく。

担当フロア異動に伴い、以前のフロアの知識を新しいフロアナースへと繋げ共有し、より情報に深みが増したと感じた。知識をケアに変換することが未熟であることから、今後も個別性をケアに繋げられるよう努めていく。

2. ご利用者様の生活をサポートするため、ご家族様との関りを大切にしていく。

状態異常時、提携先病院の医師の指示をもとに相談員へ報告し、現状態をご家族様へ連絡できるよう努めた。ターミナル中の利用者様は相談員が抽出してくれた情報をもとにご利用者様のケアに反映できるよう努めていった。

3. 多職種連携を図るため報告、連絡、相談を密に行っていく。

各々の部署で利用者様へのケアの視点は違うため、各部署の考え方や方法論などを共有し統合していく必要性を感じた。包括的に利用者様を看ていくためにも各部署バラバラではなく、一貫性のある方法論を構築できるよう次年度も努める。

4. 状態の変化や異常を早期発見し安定した生活をサポートしていく。

状態異常時は早期に提携病院へFAX 上申を行い、指示を仰いだ。緊急を要さない場合でも往診時に報告し利用者様の健康維持に努めた。

5. 専門職として日々新しい知識を学び、看護の質の向上を図る。

新しい知識や情報は医務室内で話し合うことで共有していく事が出来た。ケアの方法論などは医務内でカンファレンスを行い統一した方法論を考えていった。今後も、コロナ渦で日々変わる情報があるなか、新しい知識と情報を持てるよう互いに啓発していく。

通院・入院履歴

	通院	入院	退院
4 月	10 名	0 名	0 名
5 月	7 名	1 名	0 名
6 月	4 名	2 名	1 名
7 月	11 名	3 名	1 名
8 月	16 名	5 名	2 名
9 月	11 名	1 名	2 名
10 月	15 名	2 名	1 名
11 月	10 名	2 名	1 名
12 月	4 名	0 名	2 名
1 月	13 名	1 名	0 名
2 月	11 名	1 名	1 名
3 月	5 名	2 名	2 名
	年間通院者数 117 名	年間入院者数 20 名	年間退院者数 13 名

3 月 31 日現在の医療ケア介入必要者

胃瘻からの経管栄養実施者	4 名
点滴施行者	0 名
血糖測定者	0 名
在宅酸素使用者数	0 名
常時、口腔・鼻腔内からの喀痰吸引が必要となる利用者	0 名
褥瘡処置施行者	0 名
褥瘡以外の皮膚処置施行者	16 名
ターミナルケア対応者	6 名
合計	26 名

2021 年度死亡退所者

入院先での死亡者	4 名
施設内での死亡者	4 名
施設内ターミナルケア対応 死亡者	20 名
合計	28 名

7. リハビリテーション報告

(1) 総括

利用者様とコミュニケーションを密にとり、楽しみながらリハビリを実施できるように努めた。また、利用者様の身体状況の把握、他職種との情報共有などを行い、より安全にリハビリを実施できるように努めた。

顧問医師、理学療法士の指導の下、利用者様の身体状況、日常生活におけるニーズなどを考慮し、個別的で実効性のある訓練計画の策定を目指した。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、リハビリ器具の使用前後の消毒等の感染予防対策に努めた。

(2) 実施事項

- ①機能訓練計画書の作成・生活リハビリの作成
- ②関節可動域訓練
- ③筋力訓練・歩行訓練
- ④体位交換や除圧方法の検討
- ⑤車椅子の整備
- ⑥利用者様とのコミュニケーション
- ⑦靴の選定
- ⑧センサー・エアーマットの管理

(3) 結果

①顧問医師、理学療法士の指導の下、利用者様の身体状況に合わせた機能訓練の計画書・生活リハビリの作成を行った。身体状況の変化に合わせ利用者様のADLの再評価・計画書の見直しを行った。

②利用者様の関節を他動運動にて動かし、関節可動域の維持、拘縮の予防に努めた。既往歴を把握し身体への負担をかけ過ぎないように配慮を行いながら関節運動を行った。また、声掛けを行い、協力動作を得ることで残存機能を引き出しながらリハビリにあたることができた。

③立位動作訓練や歩行訓練を通して筋力の向上に努め、歩行訓練時には無理せずに身体状況に合わせながら実施し、日常生活でのニーズを考慮した筋力トレーニングを行った。

④褥瘡についての内部研修を行い、体位交換の重要性の周知を行った。また、理学療法士の指示の下、利用者様が安楽な姿勢を保持する為のポジショニングの検討を行った。

⑤車椅子のブレーキの調整、不良部位の改善を行い、利用者様に安全に使用していただけるよう努めた。

⑥利用者様とリハビリを通してコミュニケーションを図り、笑顔を多く引き出し楽しみながら参加していただくことで、リハビリへの意欲の向上に努めた。

⑦利用者様の足に合わせた靴の選定を行った。足のサイズ、浮腫の状態に合わせて靴の選定を行うと共に、利用者様と好みの色を一緒に検討した。

⑧センサー・エアーマットの管理を行った。医務、介護職員と相談をしながら使用を開始した。

(4) 課題

今年度は褥瘡の悪化により、下腿切除になってしまったケースがあった。今後、他部署との連携をより密に図り、早期発見、改善に努めていくと共に、褥瘡形成時には悪化させないようにポジショニングの徹底を行う。次年度は施設でも褥瘡ゼロを目指している為、褥瘡を形成しないよう他部署と連携し、ポジショニングの難しい場合には理学療法士に助言をいただきながら安楽な姿勢の保持に努める。

引き続き利用者様の笑顔を引き出していきながらリハビリを行い、楽しみながら機能訓練を実施できる環境を整えていく。

8. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

1、利用者様支援、多職種連携の調整役

福陽会の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を常に考えながら、各階に相談員を配置している。日頃から利用者様の状態などを把握するため、介護職員をはじめ、医務・リハビリ・栄養等各部署と細目に情報共有をしている。またご家族からも利用者様の情報を集めて各部署へ発信し、利用者様の環境整備に努めた。

生活相談員がユニットを回り、利用者様への声掛けや職員から情報をもらい、直接ご様子を確認しニーズを把握する。そのニーズに対し多職種でアプローチできるよう調整を行い、支援を行った。また、利用者懇談会を適宜実施し、利用者様の生活への良い点や悩みや要望等の意見を聞く機会を設けた。コロナ禍という事もあり、集合してではなく担当相談員が各自聞き取りを行ったが、より細かくご利用者様からお話を伺うことが出来た。

ターミナルケア開始時のカンファレンスは、ご家族のご意向などを踏まえて、今まで以上により細かく、多職種で話し合いをしてケアに当たるよう努めた。利用者様はもちろんのこと、ご家族様のケアにも重点を置いて取り組んだ。中でもお食事が進まないターミナルケア中のご利用者様に対して、ご家族様よりレシピをいただき、お好きだった野菜スープを厨房で作ってもらい提供するなど、ご利用者様やご家族様の気持ちを形にできた。

今年度も生活相談員が調整役となり、情報の伝達・共有を行い、利用者様、そしてご家族様へのチームケアができるように心がけていく。また、医療面でのご利用者様の状態に関するご家族様への連絡は看護職員と生活相談員で行っており、職種間でより多くの連携の必要性を感じた。今後も『報告・連絡・相談』を多職種間で徹底をして、より良い多職種連携のシステムを作っていきたい。

2、ご家族様、施設間調整

施設とご家族様との橋渡し役と考え動いてきた。ご利用者様のご様子を都度お伝えし、ご家族様との関係調整役となり、より安心してご利用者様を任せていただけた。

コロナ禍ということもあり、面会が窓越し面会やリモートでの対応となっている中でも、利用者様の状態を細目にお電話をするなどして、信頼関係を今まで以上に築くことが出来た。今後もご家族様への連絡等をしっかり行い、安心していただけるよう努めていく。医療面でのご家族様への連絡は担当看護職員と生活相談員の二名で行う体制をとっているため、ご家族様も安心されている様子である。今後も細かく連携していきたい。

3、利用者様の入所前、入所時の支援について

入所を希望する方にとって、当施設が提供するサービスを本当に必要としている方なのかどうか、その人のニーズは何かを見極めて情報提供を行った。また、利用者様入所時にはご本人、ご家族より聞き取りを行い、これまでの生活歴、趣味、嗜好等々ご本人の情報を収集して各部署へ共有してケアができるようにした。

ご利用者様の事前面接は、今後も可能な限り相談員と多職種にて実施していき、入所前の情報共有を進めていく。

4、介護職員へのスーパーバイズについて

各ユニットリーダーの現場指導とは別に各フロアの相談員が職員のスーパーバイザーとなり、フロアをラウンドする際等に利用者様に対するケアや他職員への対応等の確認を行い、指導、評価を行った。職員の職場環境の変化や日頃の様子等にも目を向けて、ストレスやメンタルの面での職員の相談役としても担えた。

5、営業について

コロナ禍ということもあり、営業については電話でのやり取りしかできなかったが、近隣の居宅サービス事業者との関係性は良好である。また『西多摩特養ガイド』より、都区内からの問い合わせや見学、申し込みも増えてきている。資料請求の方に対しては、分かりやすいように料金表に

一言付け加え、施設見学などはリモート見学を随時承り、施設をアピールすることに努めた。その結果、「色々なところを問い合わせたけれど、ここまでやってくれた施設はなかった」等の声をご家族様よりいただき、好評な様子だった。今後もひと手間を惜しまずに、ご家族様に寄り添った相談を行って、施設をアピールしていきたい。

*介護支援専門員事業報告について

①入所前の情報収集について

入所前に生活環境を聞き取り把握することで、リロケーションダメージを最小限に抑え、施設での生活に移行できるよう支援した。24時間シート作成も継続して行い、注意点を指摘し、他職種に発信して情報を共有出来るように努め、新規ご利用者様を支援した。

入所後も継続して情報収集を行い、その人にあった支援を出来るように努めた。

②ケアプラン作成について

聞き取りを行った情報を元に、施設サービス計画書を作成し、ご家族様・ご本人様に説明・同意をしていただいた。そして1か月後に初回カンファレンスを開催し、その人らしい生活を送ることが出来るよう、新規プランを作成した。またADLの変化が著明に表れた時には、緊急カンファレンスを開催し、状態に応じたプランを作成すると共に支援できるように努めた。目標に関してはより具体的な言葉で、作成するよう努めた。

新規プランに関しては、ADLに変化がなかった場合には3か月、更新に関しては6か月と設定。ADLに変化があった場合には期間は3か月とするも、その都度様子を観察し作成した。

ターミナルケア開始になった方に関しては、状況把握に努め3か月に1度の見直しを行い、計画書を作成することになった。

③モニタリングについて

1か月ごとに支援経過としてモニタリングを行い、ご利用者様の状態を把握していた。介護職員は『ケアカルテ』の中にある支援経過に記入をしている。また介護支援専門員は『ケアカルテ』のモニタリング用紙に3か月後・6か月後の2回行い、項目に合わせて観察事項を記入して、継続するか変更するかの資料とした。またターミナルケアの方については、3か月ごとのモニタリングを行い、より細かに観察を行っていった。

④ケース会議について

毎月第2火曜日・第3火曜日・第4火曜日の午後に開催予定とし、ケース会議を行った。職種間の情報共有にて、利用者様の状況を把握。プラン作成に繋げた。またケース会議のコーディネート・進行役として、各職種の専門性を尊重するよう努めた。今後も多職種で情報を共有して、ケアに繋げていきたい。

⑤介護職員へのスーパービジョンの展開

施設サービス計画書についての内部研修や、モニタリング時に介護職員に対し、施設サービス計画書の必要性についてスーパービジョンを展開した。記録の書き方や観察の注意点などを都度介護職員に話をし、利用者のニーズに沿えるように注意を払っていった。

今後も引き続きスーパービジョンの展開を図り、意識を向上していくよう努める。

⑥アセスメントについて

居室担当制を強化したことで、アセスメントの向上も図れているように感じる。提出されたアセスメント表を介護支援専門員が確認、添削をすることで、ご利用者様を見つめ直す機会が増えたように感じる。今後も確認、添削を行うことで、アセスメント力の向上を図り、より良くご利用者様を知るようにしていきたい。

9. クラブ活動実績報告

① クラブ活動について

新型コロナウイルス感染症の影響により華道クラブのみ、職員を中心にユニットごとに活動を行った。

② クラブ活動名と講師名

クラブ名	講師名
華 道	根守 和子先生
茶 道	大野先生・森田先生
書 道	石井 亮子先生
音 楽	澤田 康次先生

華道クラブ活動報告						
活動回数	3 回	参加延人数	59 名	平均参加人数	19 名	担当：井上
【活動報告】 1. 施設職員が講師となり、活動を行った。 2. 四季折々の花を自由に生け、素晴らしい作品を作ることができた。 3. 久しぶりの活動で、利用者様に大変喜んでいただけた。						
【月別活動報告】						
月	内容			月	内容	
4 月	感染症対応のため、活動なし			10 月	文化祭用の作品・フラワーアレンジメント	
5 月	〃			11 月	感染症対応の為、活動なし	
6 月	〃			12 月	お正月用の作品	
7 月	〃			1 月	感染症対応の為、活動なし	
8 月	〃			2 月	〃	
9 月	〃			3 月	〃	
職員担当フロア：各フロア職員						

茶道クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人数	0 名	担当：柴田
【活動報告】 1. 感染症対応のため、活動はすべて中止となった						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4 月	感染症対応の為、活動なし		10 月	感染症対応の為、活動なし		
5 月	〃		11 月	〃		
6 月	〃		12 月	〃		
7 月	〃		1 月	〃		
8 月	〃		2 月	〃		
9 月	〃		3 月	〃		
職員担当フロア：3F 東						

書道クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人数	0 名	担当：清水
【活動報告】						
1. 感染症対応の為、活動はすべて中止となった						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4 月	感染症対応の為、活動なし		10 月	感染症対応の為、活動なし		
5 月	〃		11 月	〃		
6 月	〃		12 月	〃		
7 月	〃		1 月	〃		
8 月	〃		2 月	〃		
9 月	〃		3 月	〃		
職員担当フロア：2F 東						

音楽クラブ活動報告						
活動回数	0 回	参加延人数	0 名	平均参加人数	0 名	担当：清水
【活動報告】 1. 感染症対応の為、活動はすべて中止となった。						
【月別活動報告】						
月	内容		月	内容		
4 月	感染症対応の為、活動なし		10 月	感染症対応の為、活動なし		
5 月	〃		11 月	〃		
6 月	〃		12 月	〃		
7 月	〃		1 月	〃		
8 月	〃		2 月	〃		
9 月	〃		3 月	〃		
職員担当フロア：2F 西						

フラサークル

- ・感染症対応の為、活動は中止となった。

クラブ活動費実績：58,409 円

10. 年間行事実施報告

第3サンシャインビル 2021年度「年間行事計画実施表」

日 時	曜 日	行 事 名	内 容
4 月		観桜会	ユニット単位で「お花見」を実施。施設周辺の桜の下でおやつを食べる。
5 月		運動会	ユニット単位で「運動会」行う輪投げ、玉入れを行う。
7 月		納涼祭	ユニット単位で「納涼祭」を実施。すいか割りや盆踊りを行う。
8 月		夕涼み会	ユニット単位で「夕涼み会」を実施。 アイスを食べ、花火、ヨーヨーすくいを行う。
9 月 11 日	土	敬老会	ユニット単位で「敬老会」を実施。各ユニットにて敬老のお祝いを行う。
9 月 26 日	日	八幡神社例大祭	新型コロナウイルス対策の為中止。
9 月・10 月中		ドライブレク	新型コロナウイルス対策の為中止。
10 月		日の出町敬老会	新型コロナウイルス対策の為中止。
11 月		文化祭	ユニット単位で「文化祭」を実施。地域交流室にご利用者様が作った作品を 展示。外で焼きそばなどを作り、お祭り気分を味わい、展示品を見学する。
11 月		日の出文化祭	新型コロナウイルス対策の為中止。
12 月		クリスマス会	ユニット単位で「クリスマス会」を実施。職員が催し物を行う。
1 月 2 日	土	元旦式典	ユニット単位で「元旦式典」を実施。各ユニットにて新年の挨拶を行う。
1 月 1・2・3 日		初詣	新型コロナウイルス対策の為中止。
1 月 19 日	水	餅つき	ユニット単位で「餅つき」を実施。各ユニットにて餅つきを行う。
2 月		節分	ユニット単位で「節分」を行う。職員が鬼に変装し、豆まきを行う。
3 月		ひな祭り	ユニット単位で「ひな祭り」を行う。 各ユニットでひな人形等の装飾品を作って飾り、おやつ作りを行う。

行事費実績：215,264 円

11. 事務費・固定資産物品報告

事務費報告

○事務消耗品費：8,704,291 円
○通信運搬費：1,040,456 円
○手数料：5,575,990 円
○土地・建物賃借料：90,000 円
○渉外費：21,831 円

○印刷製本費：228,609 円
○広報費：2,385,545 円
○保険料：867,680 円
○租税公課：243,900 円
○諸会費：201,600 円

○修繕費：922,257 円
○業務委託費：6,758,860 円
○賃借料：4,102,418 円
○保守料：2,806,495 円
○雑費：382,986 円

12. 事故報告・ヒヤリ・ハット報告

自治体への事故報告

	転倒	転落	その他	計
4 月				
5 月				
6 月			1	1
7 月	1			1
8 月	1		1	2
9 月				
10 月	2			2
11 月				
12 月				
1 月				
2 月	2			2
3 月	1			1
合計	7	0	2	9

アクシデント報告

	転倒・転落	誤飲・誤食	誤薬・未薬	その他	計
4 月	4		1	11	16
5 月	4	2		11	17
6 月	3			14	17
7 月	4			17	21
8 月	6			19	25
9 月	1	1		11	13
10 月	6			9	15
11 月	2			10	12
12 月	3		1	14	18
11 月	3			8	11
2 月	2			7	9
3 月	6			6	12
合計	44	3	2	137	186

ヒヤリハット報告

4 月	27
5 月	25
6 月	23
7 月	17
8 月	19
9 月	25
10 月	23
11 月	28
12 月	32
11 月	26
2 月	21
3 月	35
合計	301

13. 職員研修報告

【外部研修】

研 修 日	研 修 内 容	参 加 者
6 月 19 日	新しい食物繊維の選択肢	木村公紀
6 月 25 日	食べられない時どうする？ 多職種連携による栄養ケアの実践	木村公紀
8 月 30 日	リブドゥフレンズオンライン育成講座	許貞愛 岩崎慎也 栗原啓嘉
9 月 13 日	リブドゥフレンズオンライン育成講座	許貞愛 岩崎慎也 栗原啓嘉
10 月 19 日	令和 3 年度食品衛生講習会	杉田保
11 月 11 日	第 3 回ヘルシーフード W E B セミナー ちゃんと作れる嚥下調整食	竹岡実穂
11 月 28 日	ミールラウンドでの食事観察 評価・観察のポイントをおさえて食事形態につなげよう	木村公紀
12 月 16 日	看取り期に望まれる実際のケア	久保山昭
12 月 17 日	JDA-DAT スキルアップ研修	木村公紀
12 月 24 日	動画で解説 学会分類 2021 勉強会 とろみ勉強会	木村公紀
12 月 29 日	摂食嚥下プラクティスセミナー	木村公紀

【内部研修】

開 催 月	研 修 内 容	講 師
随時	新人教育研修	
4 月	褥瘡予防について	谷合祥悟
5 月	身体拘束について	三好賢
6 月	看取り介護について	篠崎哲一
〃	食事について	木村公紀
7 月	事故防止・緊急時の対応について	許貞愛
〃	入浴について	栗原啓嘉
8 月	ケアプランについて	中嶋弘美
9 月	身体拘束・人権擁護について	松原美保子
10 月	感染症について	芝田一
11 月	認知症について	金坂亘晃
〃	口腔ケアについて	岩崎慎也
12 月	虐待について	宮田聖洋
1 月	事故防止・身体拘束について	坂口連太郎
〃	排泄について	嶋崎和美
2 月	メンタルヘルスについて	久保山昭
3 月	看取り介護について	仲谷昇
〃	プライバシーについて	大谷俊光
〃	接遇マナーについて	川杉美枝

※毎月 福陽会理念に対する研修を行う

旅費・研修費実績：92,960 円

14. ボランティア・慰問 受け入れ状況報告

2021 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、ボランティアの新規受入れが中止となり、リモートを活用した傾聴ボランティアでの交流を図った。今後も利用者様に楽しんで頂けるよう、出来ることから準備をしていきたい。

- ・2021 年度新規ボランティア活動登録者
なし

15. 消防訓練実施結果

2021 年度は震災への対応も含めた避難訓練に重点をおく訓練を行った。また、消防訓練参加者チェック表を作成し、一人でも多くの職員に参加してもらうようにしたことにより、防災に対する意識づけができた。しかしながら、新型コロナウイルス感染防止の観点から、職員が集まって行う訓練を極力控えた。

【2021 年度訓練内容】

実施日	訓練種別	内容
7 月	その他訓練	「ネットで自衛消防訓練」を活用し、避難訓練、初期消火、避難誘導の要領を確認した。
8 月	その他訓練	「ネットで自衛消防訓練」を活用し、避難訓練、初期消火、避難誘導の要領を確認した。
12 月	消火通報訓練	消火器及びスプリンクラー設備の取扱い訓練・119 番通報要領訓練 参加者全員が消火器を使用した訓練を行った。
1 月	その他訓練	夜間帯に地震による火災が発生したことを想定し、緊急連絡網による連絡訓練を行い、全員に連絡が行き届くまでの所要時間を計測した。
3 月	通報訓練	夜間帯に非常ベルが鳴動したことを想定し、宿直者と共に火災受信機にて場所の確認および音響の停止方法、消防署との電話対応等を確認した。

16. ショートステイ事業報告

コロナ禍ということもあり、引き続きショートステイの稼働率は伸びなかった。受け入れに関しては今までと同様、土日・祝日問わずに受け入れ態勢を整え、夕食後の送迎、事前にご自宅へ訪問して面接・契約などを行い、ご家族様の負担軽減を図るように努めた。ご家族様やケアマネからは、使い勝手が良いと好評だったが、稼働率に反映しなかった。繰り返し利用して下さる利用者様の獲得は出来ているが、3 日間の居室隔離対応など、感染予防対策を実施しているため、利用するまでに至らないケースが多かった。特養の利用者様の入院やご逝去なども多く、特養入所を見据えた利用者様が特養に移行してしまったケースが多く見られていた。特養入所を見据えた利用者様確保をして、稼働を大幅に戻していきたい。今後も施設の『使いやすさ＝売り』をアピールできるよう居宅介護支援事業所等への営業活動を増やし、ケアマネジャーとのつながり・連携を強めていきたい。

2021 年度稼働率

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
20.67%	45.48%	39%	52.26%	35.16%	48.67%

10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
28.39%	28%	22.9%	44.84%	35%	26.13%

介護報酬収入等年間実績 17,847,549 円

2021 年度

指定訪問介護事業
指定介護予防訪問介護事業
指定居宅介護(障害者自立支援法)
指定重度訪問介護(障害者自立支援法)
事業報告書

社会福祉法人福陽会
ヘルパーステーション サンシャインビラ

ヘルパーステーションサンシャインビラでは「人がその人らしく生活できる環境づくり」をモットーに利用者が健康で生活感あふれる日常を過ごせるよう援助することを基本目標とし、事業活動を行った。

サービス提供時間数は本年度延べ 23013.3 時間（前年度 22861.1 時間）、派遣回数延べ 29960 回（前年度 28,201 回）、月平均にすると 1917.7 時間（前年度 1,905 時間）、2496 回（前年度 2,350 回）の訪問介護サービスを提供しました。利用者数は延べ 1116 人（サービス終了分を含む。3 月 31 日現在実利用者数 92 名）となっています。

障害者自立支援法に基づく指定居宅介護は延べ 276 時間、派遣回数延べ 518 回、月平均にすると 23.0 時間、43 回のサービス提供でありました。重度訪問介護のサービス提供は本年度はありませんでした。

なお、市区町村の支援事業として実施している移動支援事業のサービス提供時間数は本年度延べ 104.5 時間、派遣回数は延べ 157 回、月平均では 8.7 時間、訪問回数は 13 回、利用者数は現在 1 名です。

重点を置いた活動内容として、利用者や家族に対するコミュニケーションの重要性とサービスに対する満足度の調査、ヘルパーの援助方法の向上を目的とし、利用者宅への頻繁な訪問を心掛けた。

利用者の「自立支援」をいかに提供し、また、利用者に満足していただけるサービスをいかに提供するかを、ヘルパー個人への指導、教育、そして基本理念の十分な理解と心のこもった暖かい対応を通してすすめていった。

同時に経験の少ないヘルパーや、資格を得て間もないヘルパーに対し、技術面での具体的な研修や、精神的な援助の方法、コミュニケーションの図り方の相談を行うことで、フォローやバックアップの体制を築いていき、利用者への満足度の増加と危険性の減少、そしてヘルパーの不安解消、実力向上に努めた。

来年度以降も新規利用者の獲得とサービス提供時間数を増やすことを目標とし、また登録ヘルパー全体での研修やチームミーティング等も積極的に取り入れ、ヘルパー個人の対応能力を幅広く持てるようにし、より良いサービスの提供に尽力していく。

(1) 中期経営計画(2018 年度～2022 年度)の達成について

- I 利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかってきた。
- II 中期基本方針に基づき、利用者に満足してもらえる質の高いサービスが提供できた。
またサービス向上への取り組み、職員教育にも力を注いだ。
- III 安定した介護報酬収入を目指し、新規利用者獲得へ向け努力した。

研修実施報告書

今年度実施した研修について以下のとおり報告する。

開催日	研修内容	参加者 (人数)
4月20-23日	新人職員研修（随時） 新型コロナウイルス感染症の老人を狙った犯罪 訪問先への責任者同行実施研	46
5月25-28日	新人職員研修（随時） 高齢者虐待について	46
6月22-25日	薬について	46
7月27-30日	薬の基礎知識 事例検討 熱中症対策と感染症について	47
8月26-31日	認知症について 事例検討	47
9月27-30日	医療との連携について 介護の専門用語 事例検討	48
10月27-30日	高齢者虐待について プライバシー保護の取り組み	48
11月24-27日	状況の観察と緊急時の対応	48
12月27-30日	事故発生、再発防止に関する研修 ヒヤリハット事例検討	47
1月27-30日	介護職員のコミュニケーションスキル 事例検討	47
2月24-26日	認知症について 口腔ケア・排泄介助について 事例検討	46
3月23-25日	職員倫理 法令遵守 令和元年度を振り返り 自己反省・自己評価	47

職 員 配 置

(2022年3月31日現在)

職 種	人 数	常 勤 非常勤	専任・兼務状況
管理者	1	常勤	サービス提供責任者・訪問介護員 を兼務
サービス提供責任者	4	常勤	管理者・訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
訪問介護員	48	(常勤兼務4名) 常勤9名 非常勤37名	

令和 3 年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院
〈介護職員初任者研修事業〉

事業報告書 目次

事業報告(総括)	1
地域別受講人数一覧表	2
教育課程の実施報告	3～4

事業報告

令和 3 年度の「介護職員初任者研修講座」は、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の中、計画通りに 3 回実施した。

受講理由は家族の介護に役立てるため、今後の高齢化社会に貢献するため等様々であったが、研修の終盤には資格取得後すぐに介護の現場で仕事をしてみたい、と希望する受講生が多数みられた。

また、高齢者の事故や介護に関する報道を見聞きして、超高齢化社会における様々な問題に深い関心を持つ受講生が多かった。

修了評価試験の導入により座学の講義中も緊張感が漂い、各自が工夫してメモやノートを作成するなど、グループワークの際も積極的に発言する様子が見え、活気に満ちた研修内容であった。

講師を務めた当法人の職員は、研修カリキュラムを基に如何にして受講生に解り易い講義・演習を実施できるかを課題とし、各自の創意工夫により受講生からの評価も高く充実した研修であった。

令和 3 年度の研修において、当法人の教育方針である「介護職員初任者研修事業を通じて、高齢者介護に対する知識、技術の向上を図り地域社会に貢献する」という目標は概ね達成された。

令和 3 年度 地域・年齢別受講人数一覧表

	第 1 回 3/4/13～9/14	第 2 回 10/5～12/21	第 3 回 4/1/11～3/26	合 計
福生市	4	2	2	8
羽村市	1	0	0	1
青梅市	2	0	2	4
あきる野市	4	5	1	10
昭島市	1	2	0	3
瑞穂町	0	4	0	4
武蔵村山市	2	1	1	4
八王子市	1	1	0	2
日の出町	0	1	0	1
他県	1	0	0	1
合 計	16(3)	16(6)	6(3)	38(12)

※()内は男性

教育課程の実施報告

(募集手続き)

募集手続きは次の通りとした。

- (1) 当法人指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。
ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (2) 当法人は書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 当法人は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 当法人は、受講申し込み時または受講日初日、公的証明書にて本人確認を実施する。

(科目の免除)

科目の免除についてはこれを認めない。

(修了の認定)

修了の認定は、すべてのカリキュラムを履修し、次の修了評価を行った上、修了認定会議において基準に達したと認められた者に対して行う。

- (1) 修了評価は、担当講師が科目ごとに行い、その評価をまとめて項目全体の評価を行う。
- (2) 修了評価は、筆記試験により行う。ただし、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価については、併せて実技試験も行う。
- (3) 認定基準は、次の通り、理解度の高い順に A、B、C、D の 4 区分で評価した上で、C 以上の評価の受講者を、評価基準を満たしたものとして認定する。

評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講等を行い、基準に達するまで再評価を行う。

認定基準（１００点を満点とする）

A＝９０点以上、B＝８０～８９点、C＝７０～７９点、

D＝７０点未満

（公表する情報の項目）

東京都介護職員初任者研修事業実施要綱８に規定する情報の公表に基づき、当法人ホームページ（URL：<http://www.fukuyokai.com>）において開示する内容は、以下の通りとする。

（１）研修機関情報

法人情報（法人格、法人名称、住所、電話番号、代表者名）

研修機関情報（事業所名称・住所、理念、学則、研修施設、設備、在籍講師数（専任・兼任別））

（２）研修事業情報

研修の概要（対象、研修スケジュール（期間、日程、時間数）、定員、実習の有無、研修受講までの流れ（募集方法、申込方法等）、費用（受講料、テキスト代）、留意事項、研修担当責任者、研修の特色）研修カリキュラム（科目別シラバス（科目別学習計画）、担当講師一覧）

実習（協力実習機関の名称・住所等、実習プログラム内容、プログラムの特色、協力実習機関における延べ実習人数）

修了評価（修了評価の方法、評価者、再履修等の基準）

実績情報（過去の研修実施回数（年度ごと）、研修修了者数（年度ごと）、

過去の研修延べ参加人数、卒業後の相談・支援）

連絡先等（申し込み・資料請求先、法人の苦情対応者名・役職・連絡先、事業所の苦情対応者名・役職・連絡先）

質を向上させるための取り組み（実習の質の向上のための取り組み、研修機関と実習機関との連携）

令和 3 年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院

〈介護福祉士実務者研修事業〉

事業報告書 目次

事業報告(総括) 1

地域受講人数一覧表 2

教育課程の実施報告 3～6

事業報告

令和 3 年度の「介護福祉士実務者研修講座」は、コロナウイルス感染拡大防止に伴う緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の中、計画通りに 4 回実施した。

介護福祉士国家試験は、実務経験 3 年以上であることに加え、実務者研修の修了という受験要件であるため、限られた期間で受講を完了させようという受講生の強い意気込みを感じた。

各科目の講師は、一定時間の教員講習会を修了した介護福祉士、並びに医療的ケア講習会を修了した正看護師が担当し、念入りな授業案の作成、最新介護技術の導入、評価の方法を研究する等工夫を凝らした結果、充実した研修内容となった。

そして、受験対策直前講座は、内容の多くが試験活用でき、参加して良かったと大変好評だった。特に職員は無料とした事で、多数の合格者輩出や職場のスキルアップに大きく貢献することができた。

また、サンシャインビラ介護学院における実務者研修は、卒業生や紹介による受講生が増えるなどだいぶ浸透すると共に、担当講師の情報交換・研修の活性化・レベルアップで、高齢者介護に対する知識・技術の向上を図り地域社会にも貢献することができた。

令和 3 年度 地域・男女別受講人数一覧表

	第 1 回 3/4/12-9/13	第 2 回 5/15-10/2	第 3 回 9/2-12/9	第 4 回 4/1/20-6/23	合計
福生市	5	8	0	0	13
羽村市	1	0	0	0	1
青梅市	6	3	3	2	14
あきる野市	1	4	2	2	9
昭島市	1	1	4	0	6
立川市	0	0	0	0	0
瑞穂町	3	0	1	0	4
武蔵村山市	0	0	0	1	1
東大和市	0	0	0	1	1
東村山市	0	0	0	0	0
八王子市	1	0	1	1	3
日の出町	2	2	2	0	6
府中市	0	0	0	0	0
奥多摩町	0	0	0	0	0
その他	1	2	0	0	3
合 計	21(6)	20(3)	13(4)	7(2)	61(15)

※()は男性

教育課程の実施報告

○実務者研修に係る授業時数及び履修認定については以下の通り実施した。

研修科目	時間数	無資格	訪問介護員研修			介護職員 初任者研修	介護職員 基礎研修	認知症 実践者研修	喀痰吸引 等研修
			1 級	2 級	3 級				
人間の尊厳と自立	5	○						○	○
社会の理解Ⅰ	5	○						○	○
社会の理解Ⅱ	30	○		○	○	○		○	○
介護の基本Ⅰ	10	○			○			○	○
介護の基本Ⅱ	20	○			○	○		○	○
コミュニケーション技術	20	○		○	○	○		○	○
生活支援技術Ⅰ	20	○						○	○
生活支援技術Ⅱ	30	○			○			○	○
介護過程Ⅰ	20	○			○			○	○
介護過程Ⅱ	25	○		○	○	○		○	○
介護過程Ⅲ（スクーリング）	45 8日間	○	○	○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅰ	10	○		○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
認知症の理解Ⅰ	10	○		○	○				○
認知症の理解Ⅱ	20	○		○	○	○			○
障害の理解Ⅰ	10	○		○	○			○	○
障害の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
こころとからだの しくみⅠ	20	○			○			○	○
こころとからだの しくみⅡ	60	○		○	○	○		○	○
医療的ケア	50	○	○	○	○	○	○	○	
医療的ケア（スクーリング）	12 2日間	○	○	○	○	○	○	○	○
合計受講時間数	462	462	107	332	432	332	62	432	412

※○印は受講必須科目

○教職員組織

本学院の教職員組織は、以下の通りで実施した。

- (1) 教 員 24名
- (2) 事務員 1名

○入所資格、入所選考、入所手続、休学、受講の取り消し、補講、修了認定は、以下の通りで実施した。

(入所資格)

多様化する高齢者等のニーズに対応した専門的な知識、技術を有する介護福祉士の資格取得を目指す、東京都内及び東京都近郊在住・在勤で通学可能な者。

(入所選考、入所手続)

- (1) 本学院の入所選考については、書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (2) 本学院の入所手続は、指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 本学院は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 本学院は、受講申し込み時または開講日初日、以下の公的証明書の提示または提出により、本人確認を実施する。なお、本人確認ができない場合は、入所を拒否できることとする。
 - ・運転免許証の提示 ・健康保険証の提示 ・パスポートの提示
 - ・年金手帳の提示 ・住民基本台帳カードの提示 ・在留カード等の提示
 - ・戸籍謄本、戸籍抄本または住民票の提出 等

(研修欠席者の扱い)

理由の如何にかかわらず、研修開始から 5 分以上遅刻した場合は欠席とする。

また、やむを得ず欠席する場合には必ず「欠席届」を提出する。

(休学について)

やむを得ない事情があり休学する場合の期間は、最長で 6 ヶ月とする。

(受講の取り消し)

次に該当する者は、受講を取り消すことができる。

- (1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者
- (2) 研修の秩序を乱し、受講者としての本分に反した者
- (3) 法令違反等、社会通念上、受講者として相応しくない者

(補講の取扱い)

研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、当該課程教科時間数の概ね 1 割を上限とし、本学院主催の他のクラスにて同科目の振替受講をすることにより、科目の履行を完了とする。

なお、振替受講は事前の申し出を原則とする。その際の受講料は無料とする。

(修了の認定)

修了の認定は、第 9 条の教育課程の定めるところにより、科目ごとに修了認定を行う。ただし、各科目の出席時間数が本学院の規定に定める時間数の 3 分の 2 に満たない者については、修了の認定をしない事とする。

認定方法については、以下の通りである。

- (1) 添削科目については、科目ごとにレポート（課題）を提出し、課題の理解度及び記述の的確性・論理性に応じて、担当講師が添削指導、評価を行う。

修了認定基準は、理解度の高い順に A、B、C、D の 4 区分で評価した上で、C 以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は、必要に応じて添削指導、評価を再度行う。

認定基準（１００点を満点とする）

A＝９０点以上、B＝８０～８９点、C＝７０～７９点、

D＝７０点未満

（２）介護過程Ⅲについては、講義・演習で小テストやチェックシート等を用いて、総合的評価を行う。

（３）医療的ケアについては、下記の通りとする。

- ・基本研修（講義）：講義終了後、筆記試験を実施する。認定基準 A を合格として、認定基準に満たない者については追試を行う。
- ・基本研修（演習）：省令で定める実施回数以上の演習を実施後、技能習得判定を行う。演習評価基準で示す手順通りに実施できれば修了を認めることとする。なお、演習の修了が認められない者については、演習評価基準に達するまで演習を継続し、再度技能習得判定を行う。

（使用教材）

研修に使用する教材は、以下の通りである。

『実務者研修テキスト』 株式会社日本医療企画 全８巻セット

（修了者管理の方法）

修了者管理については、次により行う。

- （１）修了者を修了者台帳に記載し永久保存する。
- （２）修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。

（その他事項）

研修事業の実施に当たり、次の通り必要な措置を講じることとする。

- （１）研修に関して下記の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。
- （２）事業実施により知り得た受講者等の個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しない。
- （３）受講者等が実習等で知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用することのないよう受講者の指導を行う。

2021年度

サービス付き高齢者向け住宅
高齢者マンションサンシャインビラ
事業報告書

社会福祉法人福陽会

地域の高齢者に良好な居住環境を備えた高齢者向けの賃貸住宅の供給を提供し、併せて高齢者に適した良好な居住環境が確保され高齢者が安定的に居住することができる賃貸住宅について提供することで、福祉の増進に寄与することを目指し、事業展開を行った。

職員配置（3月31日現在）

職名	職員配置	
管 理 者	1	常勤
事 務 員	1	常勤
調 理 員	6	非常勤
夜間待機職員	7	非常勤
介護スタッフ	8	非常勤若干名

【入居者入退去状況一覧】

(人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規入居者		1	1	2	2			2		1			9
退去者	1	1	3			1			2	1		1	10

【入居年数分布】

(人数)

1年未満	1年～2年	2年～5年	5年～7年	7年以上
6	5	10	7	8

【退去先】

(人数)

サンシャインビラ入所	
第2サンシャインビラ入所	6
第3サンシャインビラ入所	1
転居・入院	1
死亡	2

【入居者の状況】（3.31現在）

介護度

（人数）

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
			6	10	7	7	6	36

男・女 年齢分布

（人数）

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上
男		2	2	4	2
女				14	12
合 計		2	2	18	14

【年間行事実績】

催し	日程
マンションエントランス前で すいか割り（第1回）	8/5
マンションエントランス前で すいか割り（第2回）	8/6
敬老のお祝い（茶話会、B1食堂にて）	9/19
クリスマス会（B1食堂にて）	12/23
お花見会（マンションエントランス前にて）	3/29
短時間レク（B1食堂にて）	2/18 2/25 3/4 3/11 3/18 3/25
消防訓練及び火災通報装置の説明他	4/13

【クラブ活動】新型コロナウイルス感染症の予防のため中止

毎週木曜日	体操
第2、第4火曜日	書道
第1、第3金曜日	手芸
第1、第3火曜日	折紙